



ユーザーズガイド ユーザーズガイド ユーザーズガイド ユーザーズガイド ユーザーズガイド

GoVault™ データプロテクションソフトウェア、バージョン 1.0

GoVault™

GoVault™ データ プロテクション ソフトウェア、バージョン 1.0 ユーザーズガイド, P/N 20013143-001, 2007 年 6 月 Product of USA.

Quantum Corporation は、この出版物を「現状のまま」提供しており、商品性や特定目的への適合性を含む明示または黙示の保証は一切含まれていません。Quantum Corporation は予期なく、通知なしでこの出版物を改定することがあります。

著作権情報

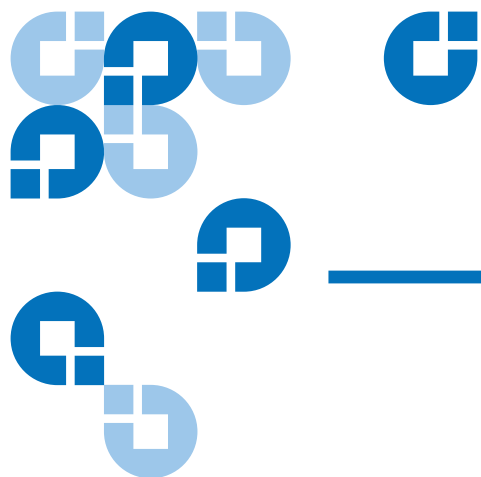
Copyright 2007 by Quantum Corporation. Copyright 2005-2007 by Data Storage Group. All rights reserved.

このマニュアルのコピー権は、著作権法により限定されています。Quantum Corporation の書面による事前の許可なしに、コピーや適応品を作成することは法律により禁じられており、法侵害として処罰の対象となります。

商標情報

Quantum と Quantum ロゴは Quantum Corporation の登録商標で、GoVault は同社の商標です。

ここで言及されるその他の商標は、各社に属します。



目次

前書き		xii
<hr/>		
第 1 章	はじめに	1
	概要	1
	機能の説明	2
	動作機能	5
<hr/>		
第 2 章	インストール	7
	システム要件	7
	GoVault データ プロテクション ソフトウェアのインストール	8
<hr/>		
第 3 章	操作	15
	GoVault カートリッジの登録、削除、インポート	16
	カートリッジの登録	17
	カートリッジの取り出し	18
	カートリッジのインポート	19
	保護プランの作成	21

開始点の選択	22
保護するファイル、フォルダ、ドライブ、ユーザーの指定	23
保護プラン名の指定	29
使用するカートリッジの指定	30
実行スケジュールの指定	31
詳細スケジュール機能の実装	34
保護プランの実行、編集、削除	39
保護プランの実行	39
保護プランの編集	40
保護プランの削除	42
保護プランの結果の確認	43
ファイルやフォルダの検索とリストア	48
単一ファイルの検索とリストア	49
複数のファイルやフォルダの検索と検索とリストア	52
特定の時点でのリストア	54
GoVault カートリッジとデータ保護の管理	57
カートリッジのステータスの確認	57
カートリッジを取り出す	58
カートリッジの消去	59
データ暗号化の実装	60
新しいメディア操作オプションの設定	62
カートリッジ交替通知スケジュールの設定	63
GoVault カートリッジの追加購入	64
警告状態に対する応答	64

第 4 章

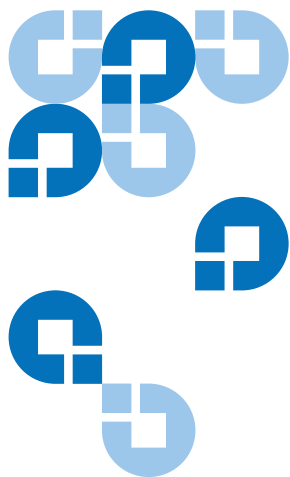
機能の説明

67

ホーム ページの機能	67
保護プランの作成ページの機能	71
開始タブの機能	72
選択タブの機能	73
プラン名タブの機能	79
カートリッジタブの機能	81
スケジュールタブの機能	82
検索ページの機能	92
カートリッジ ページの機能	98
オプションページの機能	103
結果ページの機能	106
警告ページの機能	109
ヘルプ ページの機能	110

第 5 章	推奨される実践方法	113
	GoVault カートリッジの選択	113
	データ セット サイズの考慮	114
	データ セットの構成の考慮	114
	カートリッジ交替の考慮	115
	長期アーカイブの考慮	115
	保護プランの作成	116
	2 回目以降のリストア操作のサポート	116
	複数の GoVault カートリッジのサポート	117
	ネットワーク接続ファイルの保護	117
	Windows システム復元の使用	118

付録 A	よくある質問	119
-------------	---------------	------------



表

表 1	ソフトウェア機能の説明.....	3
表 2	結果詳細画面の説明.....	45
表 3	結果の詳細ログ ファイルの説明.....	46
表 4	警告状態と対応処置.....	65
表 5	ホーム ページの機能.....	68
表 6	保存した保護プランの機能.....	70
表 7	開始タブの機能.....	72
表 8	保護するユーザーの選択機能.....	74
表 9	保護するファイルやフォルダの選択機能.....	76
表 10	除外するファイル タイプの選択機能.....	77
表 11	保護するハードドライブの選択機能.....	78
表 12	プランの名前と説明の設定機能.....	80
表 13	GoVault カートリッジの選択機能.....	82
表 14	保護プラン実行スケジュールの選択機能.....	83
表 15	スケジュール済みタスク ダイアログの機能.....	86
表 16	スケジュール タスクのスケジュール タブ機能.....	87
表 17	詳細スケジュール オプション ダイアログ.....	89

表 18	スケジュール タスク設定タブ機能	90
表 19	検索ページの機能	93
表 20	すべてのカートリッジ検索結果機能	95
表 21	一時点に戻ってリストア機能	97
表 22	カートリッジ ページの機能	99
表 23	設定タブの機能	103
表 24	オプションページの機能	104
表 25	結果ページの機能	107
表 26	全般ヘルプ機能	111
表 27	「バージョン情報」ヘルプ機能	112

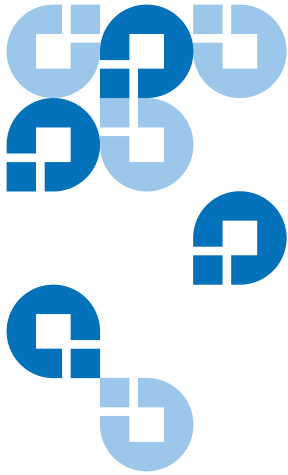
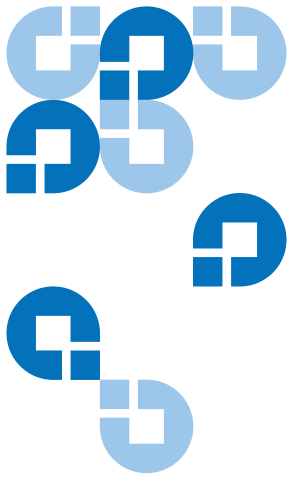


図 1	ソフトウェア機能ブロック図.....	3
図 2	GoVault データ プロテクション ソフトウェア セットアップ ウィザード.....	10
図 3	使用許諾契約 ダイアログ.....	10
図 4	Select Installation Folder (インストール フォルダの選択) ダイアログ.....	11
図 5	Confirm Installation (インストールの確認) ダイアログ.....	12
図 6	GoVault データ プロテクションのインストール画面.....	12
図 7	Installation Complete (インストール完了) 画面.....	13
図 8	GoVault データ プロテクション ソフトウェア ホーム ページ....	14
図 9	新しいメディア検出プロンプト.....	14
図 10	メディアの準備ダイアログ.....	18
図 11	カートリッジプロンプトの削除.....	19
図 12	カートリッジのインポート警告メッセージ.....	20
図 13	カートリッジのインポート警告および通知メッセージ.....	20
図 14	保護プランの作成ページ.....	23
図 15	個人のデータと設定の選択タブ.....	25
図 16	カスタム選択 タブ.....	26

図 17	除外するファイルタイプダイアログ	27
図 18	すべての選択タブ	28
図 19	プラン名タブ	29
図 20	カートリッジタブ	30
図 21	スケジュール タブ	31
図 22	ログオフ時の実行プロンプト	33
図 23	ユーザー名とパスワードのダイアログ	33
図 24	保存した保護プラン画面	34
図 25	詳細スケジュールの実装	34
図 26	スケジュール タスクのスケジュール タブ	35
図 27	詳細スケジュール オプション ダイアログ	37
図 28	設定タブのスケジュール タスク	38
図 29	保存した保護プランの今すぐ実行ボタン	39
図 30	保護プランの実行ステータス画面	40
図 31	実行中止ボタン	40
図 32	保存した保護プランの設定の編集ボタン	40
図 33	保存した保護プランの設定ページ	42
図 34	プランの削除ボタン	42
図 35	結果ページ	44
図 36	保護プランの結果の詳細画面	44
図 37	結果の詳細ログ ファイル一覧	46
図 38	検索ページ	49
図 39	単一ファイルの検索結果	50
図 40	必要なカートリッジ メッセージ	51
図 41	複数ファイルの検索結果	53
図 42	必要なカートリッジ メッセージ	53
図 43	アーカイブ検索ウィンドウ	54
図 44	一時点でのリストア	55
図 45	フォルダの参照ダイアログ	56

図 46	カートリッジ ページ	58
図 47	カートリッジ消去の確認プロンプト	59
図 48	暗号化タブ画面	61
図 49	新しいカートリッジ タブ	62
図 50	カートリッジ交替通知の設定ダイアログ	63
図 51	最初のホーム ページ画面	68
図 52	保存した保護プラン画面	70
図 53	開始タブ画面	72
図 54	保護するユーザーの選択画面	74
図 55	保護するファイルやフォルダの選択画面	75
図 56	除外するファイルタイプの選択画面	77
図 57	保護するハードドライブの選択画面	78
図 58	プランの名前と説明の設定画面	80
図 59	GoVault カートリッジの選択画面	81
図 60	保護プラン実行スケジュールの選択画面	83
図 61	スケジュール済みタスク ダイアログ	85
図 62	スケジュール タスクのスケジュール タブ画面	87
図 63	詳細スケジュール オプション ダイアログ	88
図 64	スケジュール タスク設定タブ画面	90
図 65	検索ページ画面	92
図 66	すべてのカートリッジ検索結果画面	94
図 67	保護プランのステータス表示	95
図 68	アーカイブ検索ウィンドウ	96
図 69	一時点に戻ってリストア ダイアログ	96
図 70	リストア処理ログ ファイル一覧	97
図 71	カートリッジ ページ画面	99
図 72	カートリッジの暗号化ダイアログ	102
図 73	設定タブ画面	102
図 74	オプション ページ画面	104

図 75	カートリッジ交替通知の設定ダイアログ	106
図 76	結果ページ画面	107
図 77	アーカイブ処理結果の詳細	108
図 78	アーカイブ処理ログ ファイラー一覧	109
図 79	警告ページ画面	110
図 80	ヘルプ ページ画面	111



前書き

対象読者

このマニュアルは、小企業、ホーム オフィス、支社などの環境で GoVault™ データ プロテクション ソフトウェアを使用して重要な業務データや個人のファイルのデータ保護プランを作成および実装する情報技術 (IT) 担当者やコンサルタント、独立の専門職向けに作成されています。

目的

このマニュアルには、GoVault データ プロテクション ソフトウェアについての以下の情報が含まれています。

- 概要
- インストール手順
- 操作手順
- 機能の説明
- 推奨されるデータ保護の実践
- よくある質問

本書の構成

この文書は次のように構成されています。

- [第1章「はじめに」](#)では、GoVault データ プロテクション ソフトウェアの概要 (機能や仕組み) を説明しています。
- [第2章「インストール」](#)では、GoVault データ プロテクション ソフトウェアのインストール手順をステップごとに説明します。
- [第3章「操作」](#)では、データ保護プランを作成して実装する方法と、GoVault データ プロテクションのアーカイブからファイルを検索して復元する方法について詳しく説明します。
- [第4章「機能の説明」](#)では、GoVault データ プロテクション ソフトウェアの機能について概説します。
- [第5章「推奨される実践方法」](#)では、データ保護環境全体を最適化する一般的なテクニックについて説明します。
- [付録 A、よくある質問](#)では、GoVault データ プロテクション ソフトウェアについてよくある質問の回答が記載されています。

表記上の規則

このマニュアルでは以下の表記規則が使用されています。

注： 主要項目に関する重要情報を強調します。

技術ヒント： 手順を行う際に役立つと思われる技術情報を提供します。

注意： 「注意」は、機器損傷の可能性を示し、機器への損傷を防ぐために記載されています。

警告： 人体に危険が及ぶ可能性を示し、事故を未然に防ぐために記載されています。

連絡先

以下に Quantum の連絡先を記載します。

Quantum 本社

GoVault Tabletop またはその他の製品のマニュアルを注文する場合は、下記までご連絡ください。

Quantum Corporation
P.O. Box 57100
Irvine, CA 92619-7100
(949) 856-7800
(800) 284-5101

技術出版

既存のマニュアルについてのご意見・ご感想は下記まで電子メールでお寄せください。

doc-comments@quantum.com

Quantum のホームページ

Quantum のホームページをご覧ください。

www.quantum.com

追加情報・サポート情報の入手先

この製品に関する追加情報は、サービスとサポートのウェブサイト www.quantum.com/support をご覧ください。サービスとサポートのウェブサイトには、よくある質問 (FAQ) の回答を始め、さまざまな情報が掲載されています。このサイトからは、ソフトウェア、ファームウェア、ドライバにアクセスすることもできます。

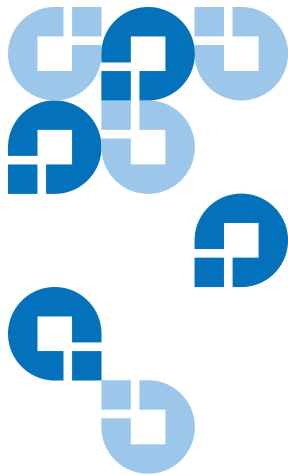
さらにサポートが必要な場合やトレーニングをご希望の場合は、下記までご連絡ください。

Quantum テクニカル アシスタンス センター (米国) : 800-284-5101

その他の連絡先 : www.quantum.com/support

サービス リクエストを開始する場合 :: www.quantum.com/esupport

Quantum グローバル サービスの最新情報は、www.quantum.com/support をご覧ください。



第 1 章 はじめに

この章では、GoVault™ データ プロテクション ソフトウェアの概要を紹介합니다。以下のトピックが含まれます。

- [概要](#)
- [機能の説明](#)
- [動作機能](#) (5 ページ)

概要

GoVault データ プロテクション ソフトウェアは強力で使いやすいバックアップとリストアのアプリケーションで、容量最適化ストレージ (COS) と呼ばれる高度なデータ デデュープ テクノロジーを GoVault ドックとカートリッジディスク ドライブに組み込みます。バックアップデータの特性にも依りますが、アーカイブ可能なデータ量を 10 倍から 20 倍増大できます。

単一ユーザー / 単一サーバー アプリケーションとして実装され、GoVault リムーバブルディスク サブシステムに直接アクセスできる GoVault データ プロテクション ソフトウェアは COS テクノロジーを次の市場向けに提供しています。

- スモール ビジネス / ホーム オフィス (SOHO) 環境

- 個々の部署やクライアントのためにバックアップ / リストア機能の設定とサポートを行う情報技術 (IT) 担当者やコンサルタント
- 自分のビジネスや個人情報を保護する責任のある独立プロフェッショナルやその他の人々

GoVault データ プロテクション ソフトウェアは次の Microsoft Windows 搭載ワークステーションとサーバー システム上で実行します。

- Windows XP (32 ビットまたは 64 ビット)、SP2
- Windows Server 2003 (32 ビットまたは 64 ビット)、SP1、または R2
- Windows Vista (全エディション、32 ビットまたは 64 ビット)

機能の説明

[図 1](#) に示すように、GoVault データ プロテクション ソフトウェアは主要な 6 種類の機能サービスを実装して、ワークステーションやサーバー システム上のハードディスク、フォルダ、ファイルと GoVault カートリッジ間のバックアップおよびリストア操作を最適化します。

- デバイス対応
- 保護プランの管理
- カートリッジの管理
- カートリッジ容量の最適化
- 検索とリストア
- 警告と通知

[表 1](#) に、GoVault データ プロテクション ソフトウェアの各機能サービスを簡単に説明します。

図 1 ソフトウェア機能ブロック図

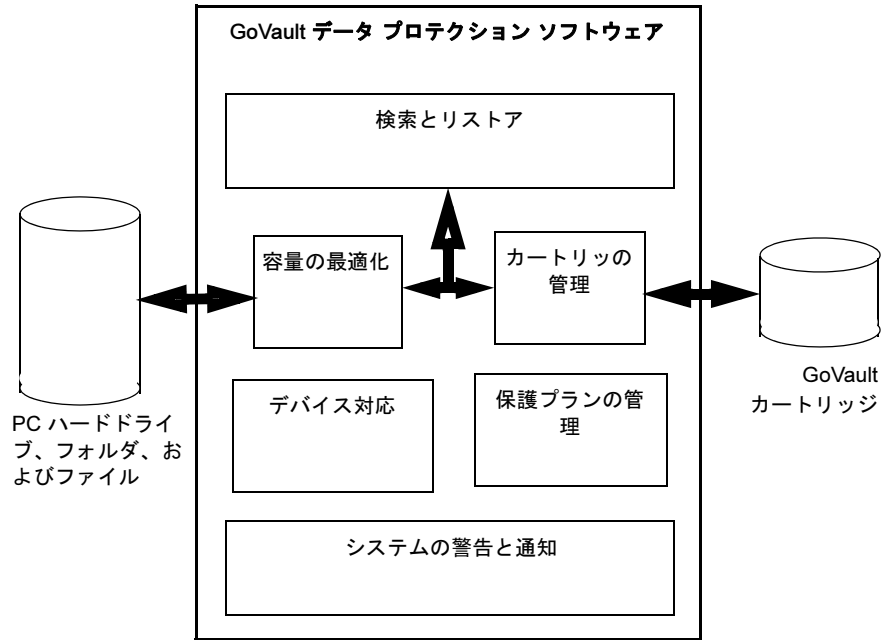


表 1 ソフトウェア機能の説明

機能	説明
デバイス対応	<p>ソフトウェアのインストール、設定、操作が Microsoft™ Windows プラットフォームの標準アプリケーションの規則に準拠することを確認します。例：</p> <ul style="list-style-type: none"> • インストール前のシステムのハードウェアおよびソフトウェア要件の確認 • 標準的な Windows インストーラ ウィザードによるインストールと設定 • バックアップまたはリストア処理を起動する前の使用可能リソースの確認

機能	説明
保護プランの管理	<p>データ保護アーカイブの作成用に指定された動作パラメータの取得、管理、実行。 例：</p> <ul style="list-style-type: none"> • どのディスク ドライブ、フォルダ、ファイルを保護するか • どこでアーカイブを作成して更新するか • いつアーカイブの更新処理を行うか
カートリッジの管理	<p>データ保護アーカイブ デバイスとしての GoVault カートリッジの識別と検証を実行します。例：</p> <ul style="list-style-type: none"> • カートリッジ名とハードディスク ドライブのシリアル番号 (HDD S/N) • カートリッジ挿入の追跡と交替の通知 • カートリッジデータの整合性とオンライン / オフラインのカタログ化
容量の最適化	<p>保存しなければならないデータ量を最小限にする高度なデータ デデュープ エンジンを実装して、アーカイブの長期的な整合性と維持します。</p>
検索とリストア	<p>次のいずれかを使って、簡単にオンラインおよびオフラインのアーカイブからファイルを検索してリストアできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 使い慣れたドラッグ アンド ドロップまたはコピー / 貼り付け機能 • 従来の完全リストア機能 • ファイル検索リストア機能

機能	説明
システムの警告と通知	<p>アーカイブ操作のステータスに関する継続的な通知と警告。例：</p> <ul style="list-style-type: none"> • カートリッジの状態と可用性 • カートリッジの交替スケジュール • ファイルまたはネットワークのアクセス状況 • 動作の不具合やエラー

動作機能

GoVault データ プロテクション ソフトウェアをインストールすると、GoVault のドックとカートリッジディスク ドライブが、画期的なデータ デデュープ テクノロジーにシンプルで簡単な GUI が融合した革新的な最新データ保護システムに早代わりします。結果は、強力かつ使いやすいデータ バックアップ / リカバリ / アーカイブ システムです。

GoVault データ プロテクション ソフトウェアはヒューリスティックなアルゴリズムとコンテンツ ファクタリング ルーチンを使用して、各データ セグメントを最適に分割して固有に識別し、元のデータの再構築に必要なメタデータと一緒に一度だけ保存します。共通データを分析して除去すると、特定のデータセットに保存される冗長な情報がほぼ完全に除去されます。これによって、GoVault カートリッジの有効な容量が著しく増え、アーカイブ システムの性能が向上します。その結果、超高速で使いやすく経済的なディスクベースの長期アーカイブ システムとなります。

GoVault データ プロテクション ソフトウェアを使用すると、以下の操作がすばやく簡単にできます。

- カスタム スクリプト「保護プラン」を複数作成して、指定したファイルの容量最適化アーカイブ バージョンを GoVault カートリッジに保存する
- ローカル ハードディスク ドライブやネットワーク接続しているディスク ドライブのいずれかまたはすべてにあるファイルやフォルダを個別または全部指定してバックアップする

- バックアップ保護プランから除外するファイル タイプを指定する
- 保護プランごとに特定の GoVault カートリッジを指定するか、どれでも空いている GoVault カートリッジを使用する
- Windows ファイル システムの暗号化を使用して、保護されたファイルやフォルダの暗号化と復号を自動的に行う
- 各保護プランが指定した時刻、曜日、週、月に自動的に実行されるようにスケジュールする (1 日に複数回も可)
- GoVault カートリッジの交替時期になると自動的に通知するようにスケジュールする
- 保護プランを作成するのと同じくらい簡単に編集または削除する
- 使い慣れた Windows エクスプローラ形式のダイアログで、以下のことができます。
 - 保護プランのアーカイブから特定のファイルやフォルダを見つける
 - コピー / 貼り付けや、ドラッグアンドドロップのファイル操作を実行して、ファイルを元の場所または別の場所にリストアする
 - 特定の時点に戻ってリストアする



第 2 章 インストール

この章では、システム要件を記載し、GoVault™ データ プロテクション ソフトウェアをワークステーションやサーバー システムにインストールする手順を説明します。

システム要件

GoVault データ プロテクション ソフトウェアをインストールする前に、ワークステーションまたはサーバー システムが以下のハードウェアおよびソフトウェア要件を満たしていることを確認してください。

ハードウェア	<ul style="list-style-type: none">• 以下のいずれかの CPU :<ul style="list-style-type: none">• Intel Pentium 4 またはそれ以上• AMD K6 またはそれ以上• CD-ROM ドライブ• ハードディスク空き容量 33 メガバイト• GoVault ドックとカートリッジディスク ドライブ
---------------	---

ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none">• 次のいずれかのオペレーティング システム：<ul style="list-style-type: none">• Windows XP (32 ビットまたは 64 ビット)、SP2• Windows Server 2003 (32 ビットまたは 64 ビット)、SP1、または R2• Windows Vista (全エディション、32 ビットまたは 64 ビット)• Microsoft .Net Framework*• GoVault for Windows システム アプリケーション ソフトウェア
---------------	--

*.NET Framework ソフトウェアは『GoVault Product Documentation and Resource CD』に収録されており、システムにまだインストールされていない場合は、自動的にインストールされます。

GoVault データ プロテクション ソフトウェアのインストール

以下の手順でワークステーションまたはサーバー システムに GoVault データ プロテクション ソフトウェアをインストールします。

- 1 システムが「[システム要件](#)」サブセクションに記載したハードウェアとソフトウェアの要件を満たしていること、つまり、以下の操作が完了していることを確認します。
 - a GoVault ドックとカートリッジ ディスク ドライブのインストール
 - b GoVault システム アプリケーション ソフトウェアの正しいバージョンのインストール

- c システムの再起動、および GoVault ドックとカートリッジディスクドライブ、システム アプリケーション ソフトウェアが正常に機能することの確認

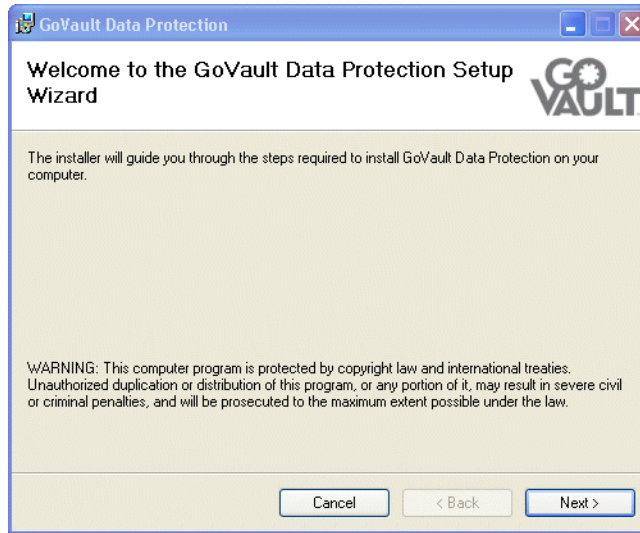
GoVault ドックとカートリッジディスク ドライブと GoVault システム アプリケーション ソフトウェアのインストールが完了するまでは、GoVault データ プロテクション ソフトウェアをインストールできません。まだの場合は、GoVault をインストールする前に、『GoVault for Windows ユーザーズ ガイド』または『GoVault for Windows クイック スタート ガイド』のインストール手順に従ってこれらのインストールを済ませてください。

- 2 管理者または管理者特権を持つユーザーとしてシステムにログオンします。管理者特権のあるユーザーか管理者でなければ、GoVault データ プロテクション ソフトウェアをインストールできません。

注： 管理者アカウントまたは管理者特権のあるユーザー アカウントに有効なパスワードが含まれている必要があります。空白パスワードの管理者アカウントを使用して GoVault データ プロテクション ソフトウェアをインストールした場合は、システムにログインしたときに、ネットワーク接続しているリソースにアクセスしてバックアップ操作を実行することはできません。([ネットワーク接続ファイルの保護](#) (117 ページ) を参照してください。)

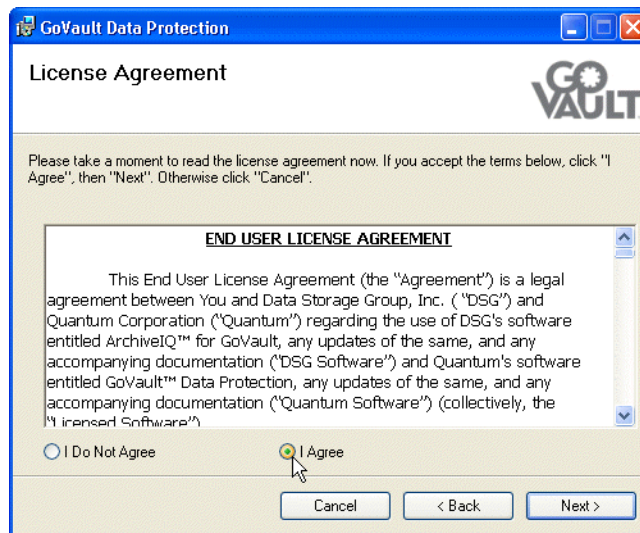
- 3 CD-ROM ドライブに『GoVault Product Documentation and Resource CD』を挿入します。
- 4 CD-ROM を自動的に起動する機能がシステムで有効かどうかによって、以下のどちらかの方法で GoVault データ プロテクション ソフトウェアのセットアップ ウィザードを起動します ([図 2](#) を参照)。
 - a GoVault データ プロテクション ソフトウェアのインストール用リンクをクリックする
 - b CD のコンテンツを参照して **setup.exe** ファイルをダブルクリックする

図 2 GoVault データ プロテクション ソフトウェア セットアップ ウィザード



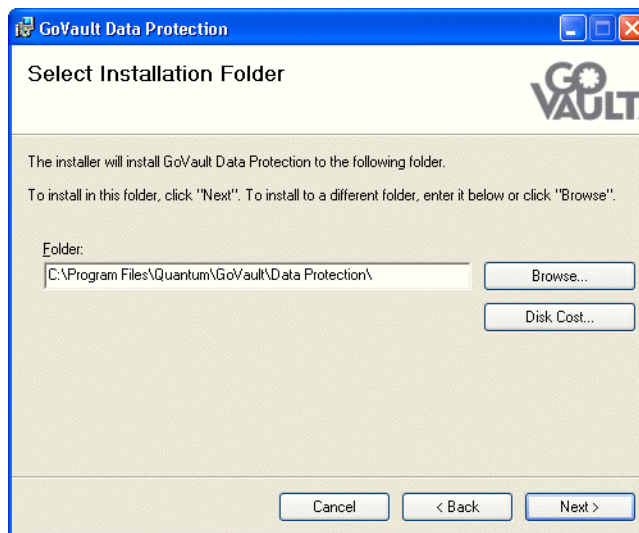
- 5 **次へ**をクリックして、**使用許諾契約** ダイアログを表示します (図 3 を参照)。

図 3 使用許諾契約 ダイアログ



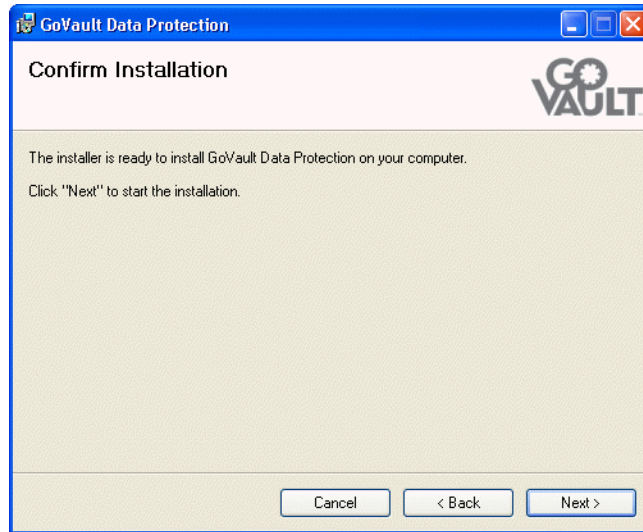
- 6 使用許諾契約を読んで、**同意する** を選択し、**次へ** をクリックすると、**Select Installation Folder (インストール フォルダの選択)** ダイアログが開きます ([図 4](#) を参照)。

図 4 Select Installation Folder
(インストール フォルダの
選択) ダイアログ



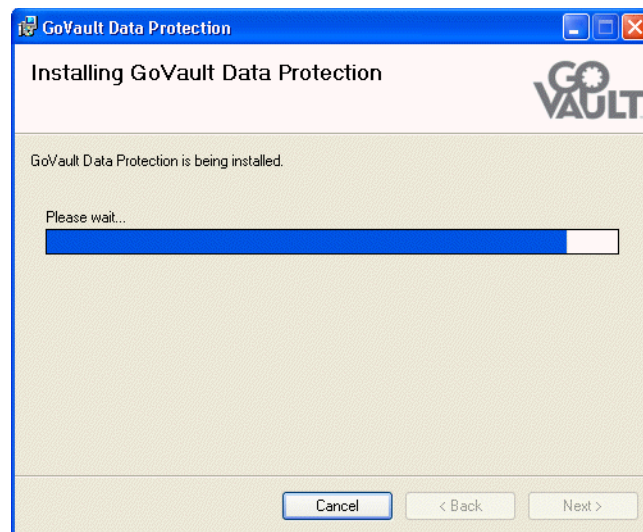
- 7 **インストール フォルダの選択** ダイアログで GoVault データ プロテクション ソフトウェアのインストール先を指定します。
デフォルト場所を [図 4](#) に示します。別の場所を指定するには、**参照** をクリックして目的の場所に移動します。
- 8 **次へ** をクリックして、**Confirm Installation (インストールの確認)** ダイアログを表示します ([図 5](#) を参照)。

図 5 Confirm Installation (インストールの確認) ダイアログ



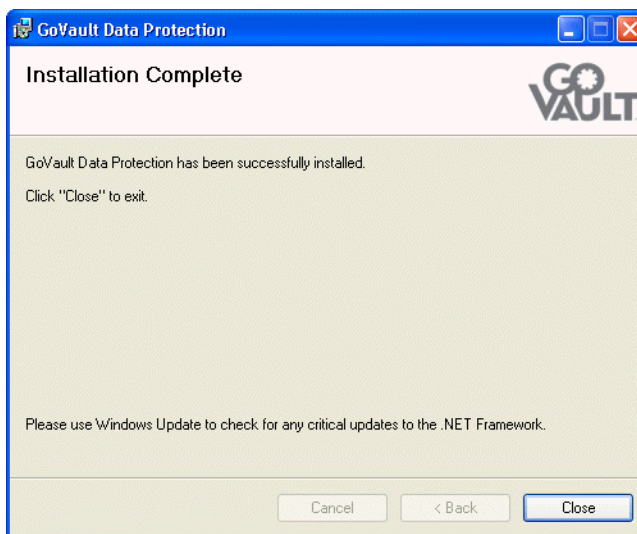
- 9 **次へ** をクリックしてインストールを開始し、**GoVault データ プロテクションのインストール** 画面 (図 6) で進行状況を確認します。

図 6 GoVault データ プロテクションのインストール画面



- 10 **インストール完了** 画面が表示されたら、GoVault データ プロテクション ソフトウェアのインストールに成功したことがわかります ([図 7](#) を参照)。

図 7 Installation Complete
(インストール完了) 画面



- 11 表示される指示に従って **終了** をクリックして、GoVault データ プロテクション ソフトウェア セットアップ ウィザードを終了し、『GoVault Product Documentation and Resource CD』を CD-ROM ドライブから取り出します。
- 12 GoVault データ プロテクション ソフトウェアを開始するには、**スタート** をクリックし、**プログラム ==> Quantum GoVault ==> GoVault Data Protection** の順に選択して、GoVault データ プロテクション ソフトウェアの **ホーム** ページを表示します ([図 8](#) を参照)。
- 13 GoVault データ プロテクション ソフトウェアをインストールしたときに GoVault ドックにカートリッジが入っていた場合は、新しいメディア検出プロンプトも表示され、カートリッジの名前と説明を入力するかどうかを問われます ([図 9](#) を参照)。

この時点で、次のどちらかを選択します。

- a プロンプトを無視して、カートリッジハードディスク ドライブのシリアル番号 (HDD S/N) を使ってカートリッジを識別するには、**いいえ** をクリックします。
- b **メディアの準備** ダイアログの **設定** タブを表示して、[カートリッジの登録](#) (17 ページ) の説明に従って GoVault の名前と説明を指定するには、**はい** をクリックします。

図 8 GoVault データ プロテクション ソフトウェア ホーム ページ

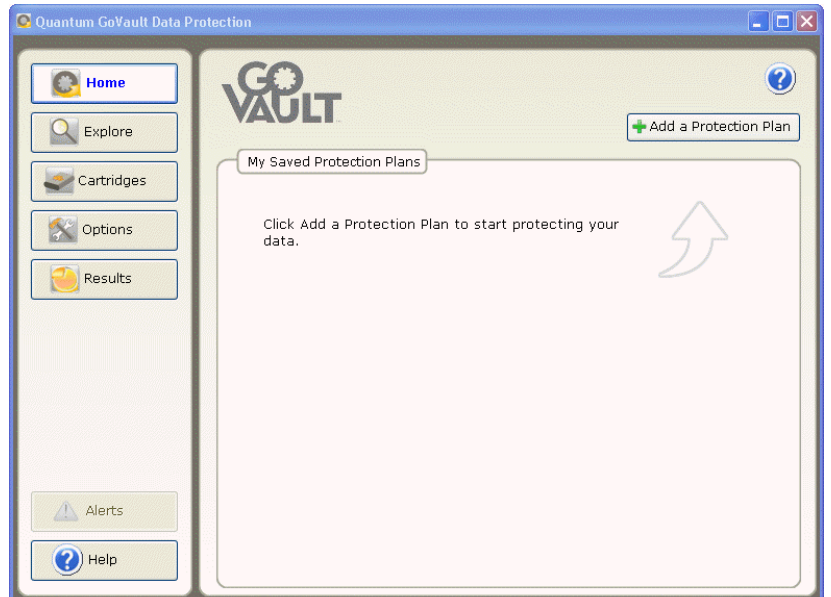
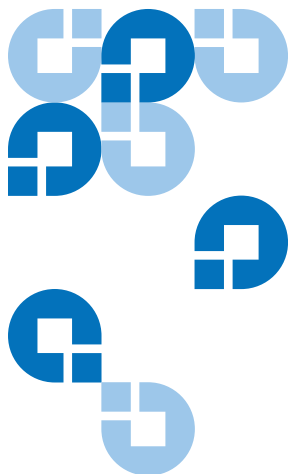


図 9 新しいメディア検出プロンプト





第 3 章 操作

この章では、GoVault™ データ プロテクション ソフトウェアを使用して以下の操作を行う方法を説明します。

- [GoVault カートリッジの登録、削除、インポート](#)
- [保護プランの作成](#)以下のトピックが含まれます。
 - [開始点の選択](#) (22 ページ)
 - [保護するファイル、フォルダ、ドライブ、ユーザーの指定](#) (23 ページ)
 - [保護プラン名の指定](#) (29 ページ)
 - [使用するカートリッジの指定](#) (30 ページ)
 - [実行スケジュールの指定](#) (31 ページ)
- [保護プランの実行、編集、削除](#) (39 ページ)
- [保護プランの結果の確認](#) (43 ページ)
- [ファイルやフォルダの検索とリストア](#) (48 ページ)
- [GoVault カートリッジとデータ保護の管理](#)以下のトピックが含まれます。
 - [カートリッジのステータスの確認](#) (57 ページ)
 - [カートリッジを取り出す](#) (58 ページ)
 - [カートリッジの消去](#) (59 ページ)
 - [データ暗号化の実装](#) (60 ページ)

- [新しいメディア操作オプションの設定](#) (62 ページ)
- [カートリッジ交替通知スケジュールの設定](#) (63 ページ)
- [警告状態に対する応答](#) (64 ページ)

GoVault カートリッジの登録、削除、インポート

GoVault カートリッジを GoVault データ プロテクション ソフトウェアのアーカイブ デバイスとして使用する前に、カートリッジを GoVault データ プロテクション ソフトウェアのアーカイブ環境に登録する必要があります。

登録プロセスでフォーマットのヘッダーがカートリッジに配置され、ホスト コンピュータの Windows レジストリにエントリが作成されます。

登録手順では、カートリッジの識別に固有の名前と説明を入力するか、デフォルトのハードディスク ドライブ シリアル番号 (HDD S/N) を使用するかなどを指定します。以降、指定を変更しない限り、GoVault データ プロテクション ソフトウェアは自動的に以下のことを実行します。

- カートリッジ名または HDD S/N によってカートリッジを識別する
- カートリッジに保存されているアーカイブ ファイルすべてを追跡管理する
- カートリッジの使用可能な領域を監視し、容量に達してアーカイブ操作の追加に適さなくなったときに通知する

カートリッジが一杯になったとき、耐用年数の終わりに達したとき、またはアーカイブ ストレージ デバイスとしてのサービスを中止する時期がきたときには、GoVault データ プロテクション ソフトウェア環境から削除する必要があります。

その後、除去されたカートリッジを元のアーカイブ環境や他の GoVault データ プロテクション ソフトウェアのアーカイブ環境に再登録または再インポートすることもできます。ただし、別の GoVault データ プロテクション ソフトウェアのアーカイブ環境にインポートする前に、元の環境からカートリッジを取り除く必要はありません。つまり、GoVault データ プロテクション ソフトウェアのアーカイブ環境間でいつでもカートリッジをインポートできます。

カートリッジの登録

新しいカートリッジを GoVault dock に最初に挿入したとき、または GoVault データ プロテクション ソフトウェアをインストールしたときにカートリッジが挿入されていた場合に、新しいメディア検出プロンプトが表示され、カートリッジの名前と説明を入力するかどうか問われます ([図 9](#) on page 14 を参照)。

クリックする...	「カートリッジの登録」 ...
はい	カートリッジ設定 ページの 設定 タブに 名前と説明 ダイアログが表示されます (図 10 を参照)。
いいえ	カートリッジのシリアル番号でカートリッジが識別されます。

今後この質問を表示しない チェック ボックスをオンすると、続く **はい** または **いいえ** の選択によってデフォルトの動作が決まり、別の新しいカートリッジを挿入してもこのプロンプトは表示されません。

注： 今後この質問を表示しない チェックボックスの選択は永久的なものではありません。 [新しいメディア操作オプションの設定](#) (62 ページ) の説明に従って、いつでもこのプロンプトを有効にできます。

カートリッジの名前と説明を指定する場合は、**はい** をクリックして、以下の操作を行います。

- 1 **名前** テキストボックスにカートリッジの名前を入力します。
- 2 **説明** テキストボックスにカートリッジの説明を入力します。
- 3 **完了** をクリックすると、カートリッジに名前と説明が割り当てられます。

Windows ファイル システム暗号化 (EFS) を使用して、保護したファイルやフォルダの暗号化と復号を自動的に行う場合は、保護プランでカートリッジを使用する前に、[データ暗号化の実装](#) (60 ページ) の手順に従って、データ暗号化機能を実装します。

注： 保護プランで最初に GoVault カートリッジを使う前に、データ暗号化を実装する必要があります。保護プランで使用した後で、カートリッジにデータ暗号化を実装することはできません。

図 10 メディアの準備ダイアログ

Cartridge Settings

1. Settings

Set Cartridge Name and Description

The name you specify will be used when a cartridge is required to retrieve a file from an offline cartridge. If you do not specify a name, you will be prompted for a cartridge by its hard disk drive serial number (HDD S/N).

Name:

Description:

HDD S/N: 3PJ0FNCC

Previous Finish Cancel

カートリッジの取り出し

GoVault データ プロテクション ソフトウェアは、登録された GoVault カートリッジすべてのアーカイブ ファイルの設定を保存しています。GoVault ドックからカートリッジを取り出しても、ステータスが [使用可能] から [オフライン] になるだけです。カートリッジは GoVault データ プロテクション ソフトウェアのアーカイブ システムの一部であり続け、そのステータスがシステム画面に残ります。

カートリッジを GoVault データ プロテクション ソフトウェアのアーカイブ環境から削除するには、以下の手順に従ってください。

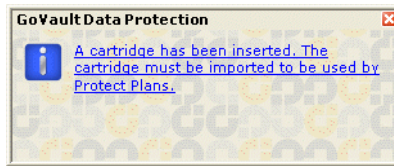
- 1 GoVault データ プロテクション ソフトウェアの **ホーム** ページで **カートリッジ** をクリックして、**カートリッジ** ページを表示します ([図 46](#) on page 58 を参照)。
- 2 **カートリッジのステータス** 画面で、削除するカートリッジが GoVault ドックに挿入されていないこと、そのステータスが「オフライン」になっていることを確認します。

削除するカートリッジが GoVault ドックにあり、そのステータスが「使用可能」の場合は以下の操作を行います。

- a 削除するカートリッジを選択 / ハイライトします。

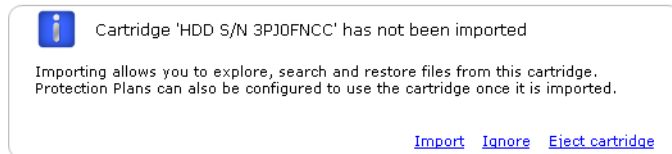
- Windows システム トレイ内の GoVault データ プロテクション ソフトウェア アイコンの上に短い警告メッセージが表示される ([図 12](#) を参照)
- ホーム ページの **警告** ボタンがアクティブになり、表示が **Alerts (1)** に変わって警告および通知メッセージがあることを示す

図 12 カートリッジのインポート警告メッセージ



- 2 カートリッジのインポート警告メッセージ内のリンクをクリックするか、**警告** コマンド ボタンをクリックして、関連付けられている警告および通知メッセージを表示します ([図 13](#) を参照)。

図 13 カートリッジのインポート警告および通知メッセージ



- 3 プロンプトが表示されたら、**インポート** をクリックして、カートリッジを GoVault データデータ プロテクション ソフトウェアのアーカイブ環境にインポートします。

カートリッジ上のアーカイブ データのインデックスがインポートされ、**カートリッジ** ページの **カートリッジのステータス** 画面が更新されます。これで、カートリッジが GoVault ドックから削除されても、GoVault データ プロテクション ソフトウェアの検索機能を使用してカートリッジ上のファイルを見つけ、独自の保護プランで作成した新しいアーカイブをカートリッジに保存することができます。

無視 をクリックした場合、GoVault データ プロテクション ソフトウェアはカートリッジを使用不可として扱うため、そのアーカイブ ファイルにアクセスしたり、新しいアーカイブ ファイルを書き込んだりできなくなります。

保護プランの作成

保護プランとは、指定したファイルの容量最適化アーカイブバージョンを GoVault カートリッジに保存する自動スクリプトのことです。保護プランを作成するとき、以下を指定します。

- 保護するファイル

使い始めやすくするために、GoVault データ プロテクション ソフトウェアでは次の3種類のファイル保護を選択できるようになっています。

- **個人のデータと設定** では、ローカルのハードディスク ドライブ (通常はCドライブ) の **Documents and Settings** フォルダにある生産性ファイルが自動的に指定されます。生産性ファイルとしては、次のようなファイルがあります。

- Microsoft Outlook 電子メールの設定と .pst ファイル
- デスクトップ設定
- アプリケーションデータ設定
- インターネットのお気に入り
- **マイドキュメント** および **マイピクチャ** フォルダ

このオプションで作成したアーカイブを使用して、深刻なシステム障害の後で電子メール ファイルを復元したり、デスクトップの「ルック アンド フィール」を再現することができます。

- **カスタム** では、ファイルの事前選択は実行されず、アーカイブするファイル、フォルダ、およびドライブをユーザーが明示的に指定する必要があります。
- **すべて** では、すべてのローカル ディスク ドライブにあるすべてのファイルとフォルダが自動的に指定されます。
- 保護プランの名前と短い説明
- 保護プランで使用する GoVault カートリッジ

デフォルトでは、新しいカートリッジのすべてに各保護プランが自動的に割り当てられますが、特定のカートリッジを各保護プランに割り当てすることもできます。

- 保護プランの実行スケジュール

プランは自動的に実行されるようにスケジュールすることも (1 日 1 回、週 1 回、月 1 回など)、必要なときに手動で実行することもできます。

バックアップとリストア要件が複雑な場合は、[推奨される実践方法](#) (113 ページ) の説明に基づいて、必要な保護プランの種類を決定し、カートリッジの交替スキームを示す命名規則を使用することをお勧めします。

新しい保護プランを作成する準備ができたなら、以下の手順に従ってください。

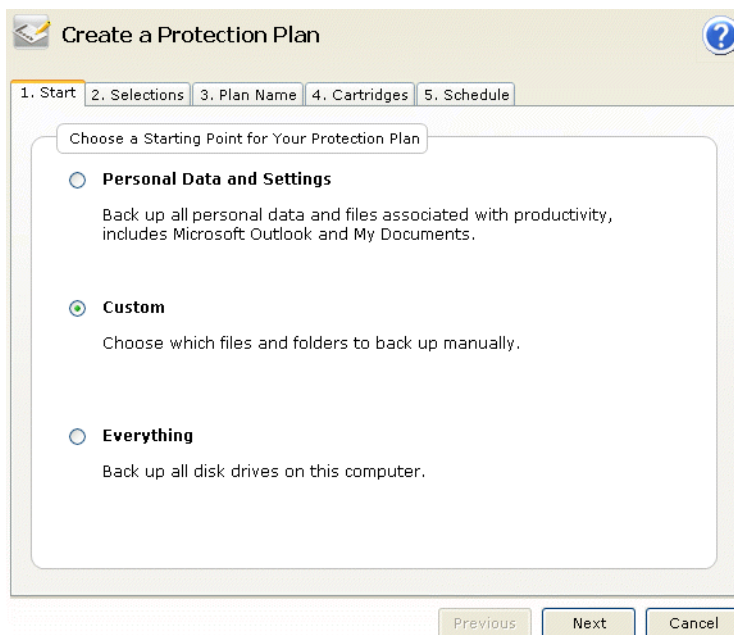
- 1 [開始点の選択](#)
- 2 [保護するファイル、フォルダ、ドライブ、ユーザーの指定](#)
- 3 [保護プラン名の指定](#) (29 ページ)
- 4 [使用するカートリッジの指定](#) (30 ページ)
- 5 [実行スケジュールの指定](#) (31 ページ)

開始点の選択

新しい保護プランの開始点を指定するには

- 1 GoVault データ プロテクション ソフトウェアの **ホーム** ページで **保護プランの追加** をクリックして **保護プランの作成** ページを表示します ([図 14](#) を参照)。
- 2 プロンプトが表示されたら、**開始** タブの選択項目を使用して、以下の方法に保護プランの開始点を (保護するファイル) を指定します
 - a 事前選択されているユーザー生産性ファイルの設定を保護する場合は、**個人のデータと設定** を選択します。この保護プランは、深刻なシステム障害の後で電子メール ファイルを復元したり、デスクトップの「ルック アンド フィール」を再現するときを使用できます。
 - b ローカル ディスクとネットワーク 接続ディスクから手動で選択したファイルやフォルダの設定を保護するには、**カスタム** を選択します。デフォルトでは **カスタム** が選択されます。
 - c すべてのローカル ディスク ドライブにあるすべてのファイルとフォルダを保護するには、**すべて** を選択します。
- 3 **次へ** または **選択** タブをクリックして、指定した開始点の選択オプションを表示し、「[保護するファイル、フォルダ、ドライブ、ユーザーの指定](#)」に進みます。

図 14 保護プランの作成ページ



保護するファイル、フォルダ、ドライブ、ユーザーの指定

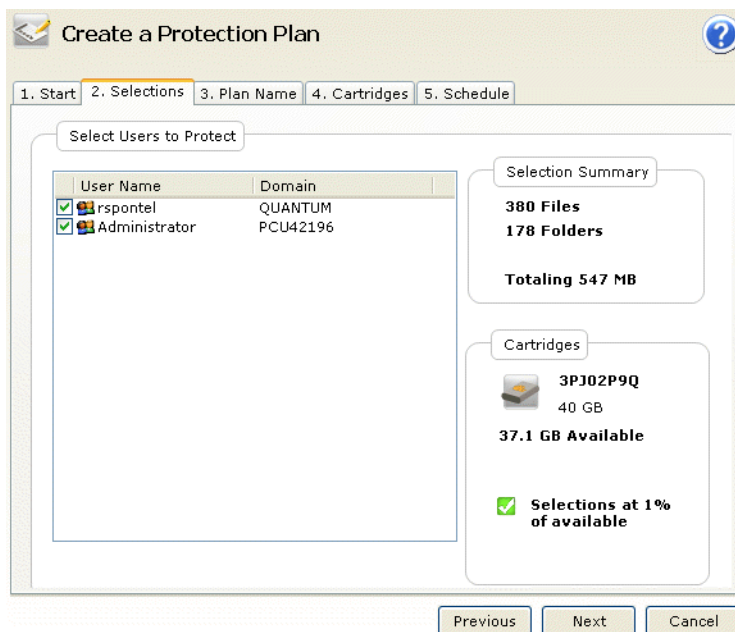
プランの開始点を選択した後、**選択** タブのダイアログを使用して、保護するファイル、フォルダ、ドライブなどを指定します。

指定した開始点 ..	選択タブに表示される項目 ..
個人のデータと設定	<p>保護するユーザーを選択 リストボックスが表示され、システムに定義されている全ユーザーが事前に選択されています。</p> <p>図 15 を参照して「保護するユーザーの選択 (25 ページ)」に進んでください。</p>

指定した開始点 ..	選択タブに表示される項目 ..
カスタム	<p>保護するファイルとフォルダを選択 リストボックスが表示され、ローカルのディスクドライブと、コンピュータに接続しているすべてのネットワークドライブがエクスペローラ形式のファイル構造で表示され、ファイル、フォルダ、ハードディスクドライブなどは事前に選択されていません。</p> <p>図 16 を参照して「保護するファイルやフォルダの選択 (26 ページ)」に進んでください。</p>
すべて	<p>保護するハードドライブを選択 リストボックスが表示され、システム内のローカルハードドライブがすべて事前に選択されています。</p> <p>図 18 を参照して「保護するハードドライブの選択 (28 ページ)」に進んでください。</p>

保護するユーザーの選択

図 15 個人のデータと設定の選択タブ



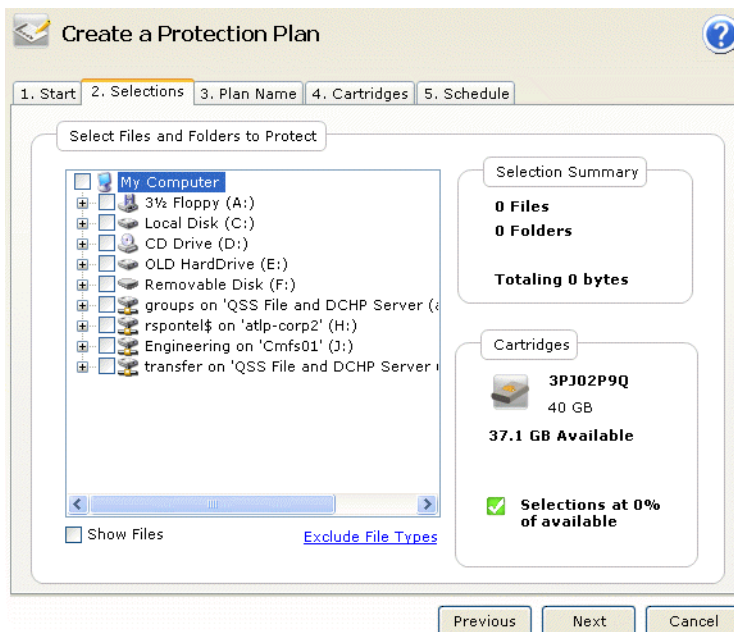
個人のデータと設定を開始点として保護するための **選択** タブでは、以下の操作ができます。

- 1 関連付けられたファイルを保護プランから削除するには、ユーザーのチェックボックスをオフにします。
- 2 選択すると、**選択の概要** 画面が自動的に更新されて、保護されるファイルとフォルダの合計数と総データ量が表示されます。
- 3 **次へ** または **プラン名** タブをクリックすると、**Plan Name (プラン名)** 画面が表示されます。

[図 19](#) を参照して「[保護プラン名の指定 \(29 ページ\)](#)」に進んでください。

保護するファイルやフォルダの選択

図 16 カスタム選択 タブ



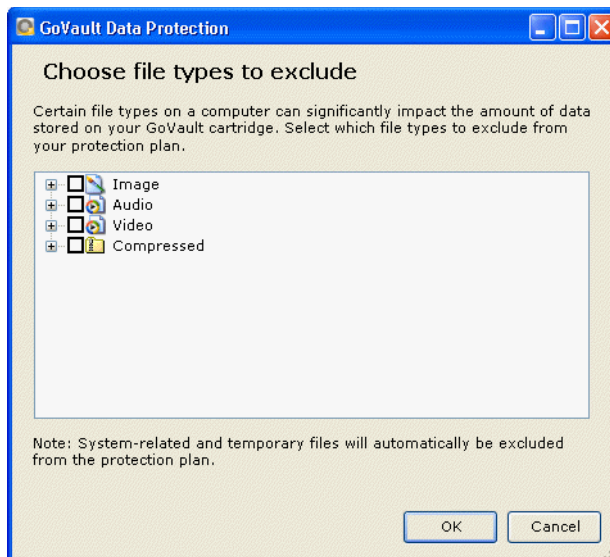
カスタム開始点を使用して保護するための **選択** タブでは、表示されたファイル構造を手動で参照して、保護するファイルやフォルダのチェックボックスをオンにする必要があります。

- 1 個々のファイルを指定する場合は、**ファイルを表示** チェックボックスをオンにして、ファイル構造を個々のファイルレベルまで展開します。
- 2 Windows エクスプローラに似たコントロールを使用して、ディスクとフォルダを展開し、保護するファイルとフォルダのチェックボックスをオンにします。

チェックボックスの選択 ...	保護プランに追加される項目
ディスク ドライブ	選択したディスク ドライブのすべてのフォルダとファイル
フォルダ	選択したフォルダ内のすべてのファイル
ファイル	選択したファイル

- 3 特定のファイルタイプを保護プランから除外する場合は、**除外するファイルタイプ**リンクをクリックして**除外するファイルタイプの選択**ダイアログを表示します ([図 17](#) を参照)。

図 17 除外するファイルタイプダイアログ



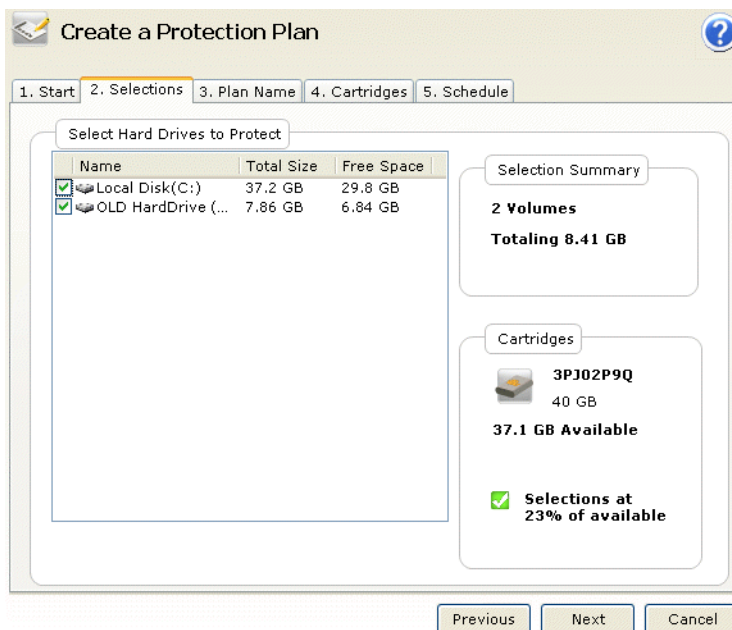
画像、音声、映像など、特定のファイルタイプを除外すると、GoVault カートリッジに保存されているデータ量を大幅に減らして保護プランの実行を加速できます。

- a ファイルタイプの構造を展開し、保護プランから除外する各ファイルタイプのチェックボックスをオンにします。
 - b OK をクリックして、選択したファイルタイプを保護プランから除外し、**除外するファイルタイプの選択**ダイアログを閉じます。
- 4 選択すると、**選択の概要**画面が自動的に更新されて、保護されるファイルとフォルダの合計数と総データ量が表示されます。
 - 5 **次へ** または **プラン名** タブをクリックすると、**Plan Name (プラン名)**画面が表示されます。

[図 19](#) を参照して「[保護プラン名の指定 \(29 ページ\)](#)」に進んでください。

保護するハードドライブの選択

図 18 すべての選択タブ



すべての開始点を使用して保護プランを作成するための **選択** タブでは、以下の操作ができます。

- 1 保護プランから全ファイルを削除するディスク ドライブのチェックボックスをオフにします。
- 2 選択すると、**選択の概要** 画面が自動的に更新されて、保護される合計ボリューム数と総データ量が表示されます。
- 3 選択した後、**次へ** または **プラン名** タブをクリックすると、**プラン名** 画面が表示されます。

[図 19](#) を参照して「[保護プラン名の指定](#)」に進んでください。

保護プラン名の指定

プランの開始点を選択し、保護する、フォルダ、ドライブ、ユーザーなどを選択した後、**プラン名** タブのダイアログを使用して、名前と短い説明を以下のように指定します (図19を参照)。

- 1 **名前** テキストボックスのデフォルト名を上書き入力して、保護プランの名前を指定します。
- 2 **説明** テキストボックスのデフォルトの説明を上書き入力して、保護プランに短い説明を指定します。
- 3 **次へ** または **カートリッジ** タブをクリックすると、**カートリッジ** 画面が表示されます。

図20を参照して「[使用するカートリッジの指定](#)」に進んでください。

図19 プラン名タブ

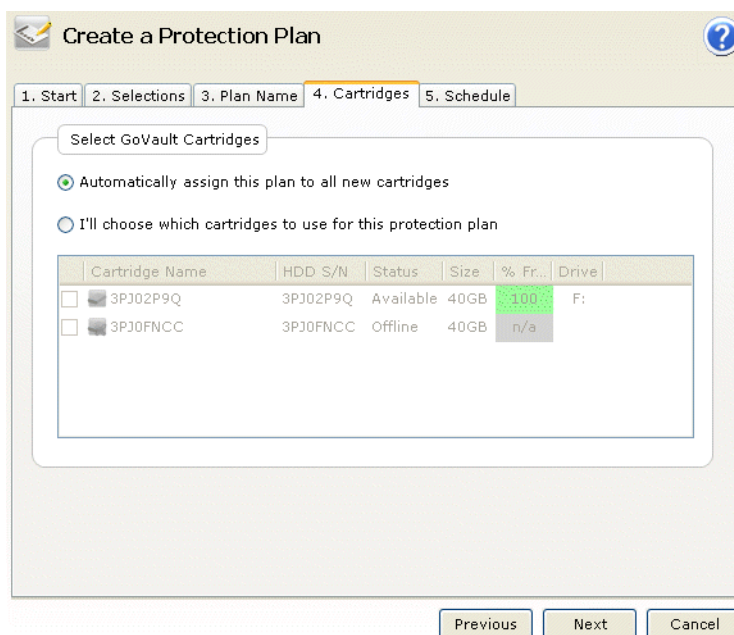
The screenshot shows a window titled "Create a Protection Plan" with a question mark icon in the top right. Below the title bar is a progress indicator with five steps: "1. Start", "2. Selections", "3. Plan Name", "4. Cartridges", and "5. Schedule". Step 3 is highlighted. The main area is titled "Set Plan Name and Description". It contains two text input fields: "Name:" with the value "Everything Plan" and "Description:" with the text "This plan protects all hard drives on this computer to GoVault. If a hard drive is added or removed the files on those drives will be protected automatically." At the bottom right, there are three buttons: "Previous", "Next", and "Cancel".

使用するカートリッジの指定

カートリッジタブには、GoVault データ プロテクション ソフトウェア環境に登録されたすべての GoVault カートリッジが一覧になり、保護プランを関連付ける次のオプションが提供されます。

- すべての新しいカートリッジ
- 1つまたは複数の特定のカートリッジ

図 20 カートリッジ タブ



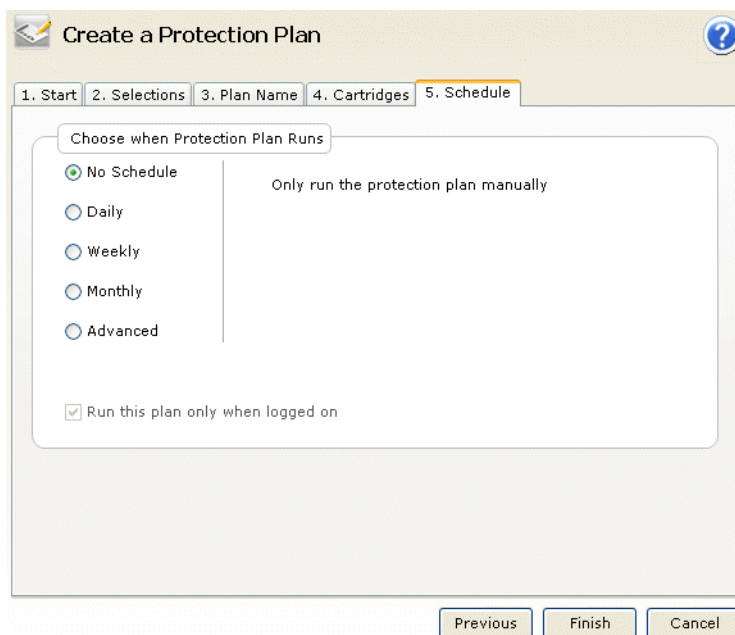
- 1 使用可能ないずれかの GoVault カートリッジにファイルをバックアップする場合は、**このプランをすべての新しいカートリッジに自動的に割り当てる** をクリックします。
- 2 特定の GoVault カートリッジにファイルをバックアップする場合は、**このプランに使用するカートリッジを選択する** をクリックし、リストボックスからカートリッジを選択します。
- 3 使用する GoVault カートリッジを指定した後、**次へ** または **スケジュール** タブをクリックして、**スケジュール** 画面を表示します。

[図 21](#) を参照して「[実行スケジュールの指定](#)」に進んでください。

実行スケジュールの指定

保護プラン作成の最終ステップは、**スケジュール** タブを使用して、プランを実行する日時を指定する作業です ([図 21](#) を参照)。

図 21 スケジュール タブ



- 1 [スケジュール] オプションとリスト ボックスを使用して、保護プランを実行する方法と日時を指定します。

<p>選択するオプション..</p>	<p>GoVault データ プロテクション ソフトウェアで保護プランを自動実行する場合..</p>
<p>スケジュールしない</p>	<p>GoVault データ プロテクション ソフトウェアの ホーム ページから手動で起動した場合のみ</p> <p>この場合は、保護プランはスケジュールに従って実行しません。</p>

<p>選択するオプション..</p>	<p>GoVault データ プロテクション ソフトウェアで保護プランを自動実行する場合..</p>
<p>Daily (1 日 1 回)</p>	<p>時刻 リスト ボックスに指定した時刻に毎日 1 回自動的に実行</p> <p>At: <input type="text" value="1:00 AM"/></p>
<p>Weekly (週 1 回)</p>	<p>時刻 および 曜日 リスト ボックスに指定した曜日と時刻に毎週 1 回自動的に実行</p> <p>At: <input type="text" value="1:00 AM"/></p> <p>On: <input type="text" value="Monday"/></p>
<p>Monthly (月 1 回)</p>	<p>時刻 および 日付 リスト ボックスに指定した日時に毎月 1 回自動的に実行</p> <p>At: <input type="text" value="1:00 AM"/></p> <p>Day: <input type="text" value="1"/> of each month</p>
<p>Advanced (詳細)</p>	<p>詳細スケジュール機能の使用 (詳細スケジュール機能の実装 (34 ページ) を参照)。</p>

- 2 **ログオン時のみにこのプランを実行する** チェック ボックスのデフォルト選択で示したように、デフォルトでは、システムにログオンしているときに GoVault データ プロテクション ソフトウェアで保護プランが実行されます。

ログオンしていない可能性のある時間に実行をスケジュールした場合は、以下の手順に従ってユーザー名とそれに関連付けるパスワードを指定し、GoVault データ プロテクション ソフトウェアが自動的にログオンしてプランを実行できるようにする必要があります。

- a **ログイン時のみにこのプランを実行する** チェックボックスをオフにし、プロンプトで **Yes (はい)** をクリックして (図 22 を参照)、ユーザー名とパスワードのダイアログを表示します (図 23 を参照)。

図 22 ログオフ時の実行プロンプト

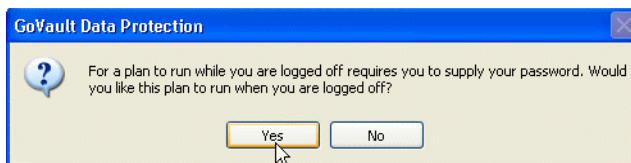


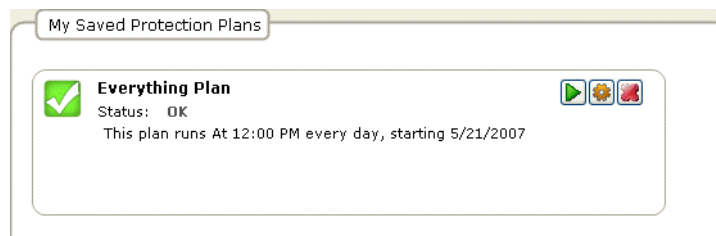
図 23 ユーザー名とパスワードのダイアログ



- b プロンプトに従って、**ユーザー名** リスト ボックスで、ログオフ時の保護プランの実行に使用するユーザー名を指定します。
 - c 指定したユーザー名に関連付けるパスワードを **パスワード** テキスト ボックスに入力します。
 - d **OK** をクリックして指定を保存し、ユーザー名とパスワードのダイアログを閉じます。
- 3 **OK** をクリックして保護プランを保存し、(**保護プランの作成** ダイアログを閉じて、GoVault データ プロテクション ソフトウェアの **ホーム** ページに戻ります。

保護プランとそのステータスおよびスケジュールが **保存した保護プラン** 画面に追加されます (図 24 を参照)。

図 24 保存した保護プラン画面

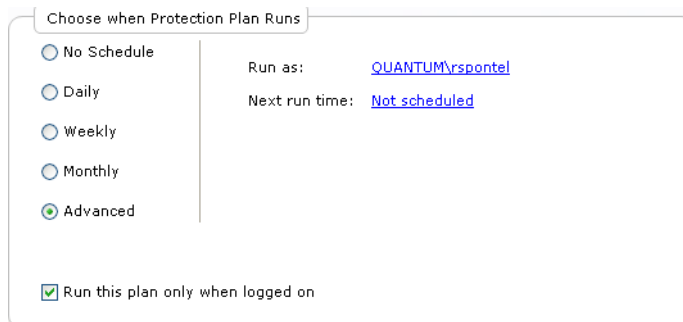


詳細スケジュール機能の実装

保護プランの詳細スケジュール機能にアクセスして実行するには、以下の手順に従ってください。

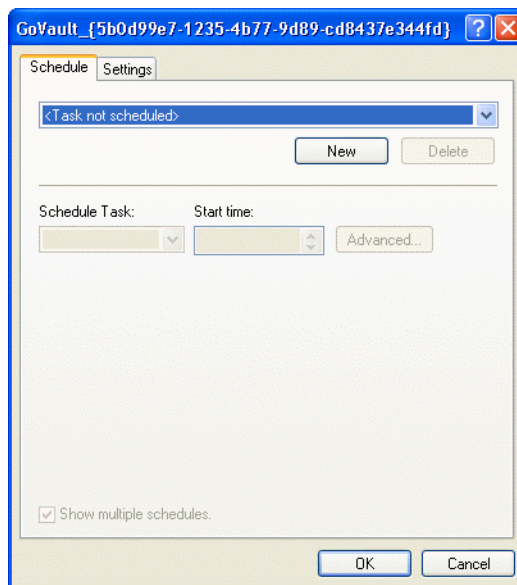
- 1 **保護プランの作成** ページの **スケジュール** タブで、**詳細** タブを選択します (図 25 を参照)。

図 25 詳細スケジュールの実装



- 2 **実行するユーザー** リンクを実行してユーザー名とパスワードのダイアログを表示し (図 23 を参照)、以下の操作を行います。
 - a プロンプトに従って、**ユーザー名** リスト ボックスで、保護プランの実行に使用するユーザー名を指定します。
 - b 指定したユーザー名に関連付けるパスワードを **パスワード** テキスト ボックスに入力します。
 - c **OK** をクリックして指定を保存し、ユーザー名とパスワードのダイアログを閉じます。
- 3 **次回実行時** リンクをクリックして、Windows 標準の **タスクのスケジュール** ダイアログの **スケジュール** タブを表示します。ここで保護プランの詳細スケジュール タスクを指定できます (図 26 を参照)。

図 26 スケジュール タスクの
スケジュール タブ



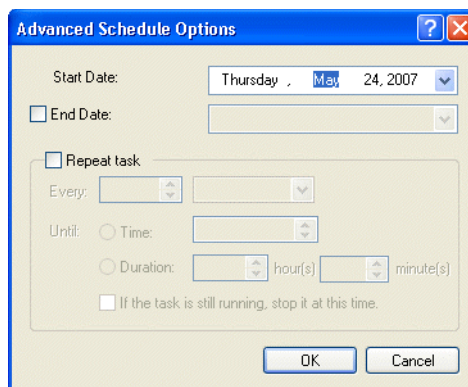
- 4 **スケジュール タスク** ダイアログの **スケジュール** タブで、**新規作成** コマンド ボタンをクリックして、2つのスケジュール設定リスト ボックスをアクティブにします。最初は **詳細** コマンド ボタンです。

<p>使用するリスト ボックス ..</p>	<p>GoVault データ プロテクション ソフトウェアで保護プランを自動実行する場合 ..</p>
<p>タスクのスケジュール</p>	<p>リスト内のいずれかのイベントで、以下の操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 日次 - 日次スケジュールを選択すると、タスクの日次スケジュール 選択ボックスが表示されます。ここで何日おき (1 ~ 9,999 日) に実行するかを指定します。 • 週次 - 週次スケジュールを選択すると、タスクの週次スケジュール ダイアログが表示されます。ここで何週おき (1 ~ 9,999 週) の何曜日に実行するかを指定できます。

<p>使用するリストボックス..</p>	<p>GoVault データ プロテクション ソフトウェアで保護プランを自動実行する場合..</p>
<p>タスクのスケジュール (続き)</p>	<p>リスト内のいずれかのイベントで、以下の操作を実行します (続き)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 月次 - 月次スケジュールを選択すると、タスクを月次スケジュール ダイアログが表示されます。ここで以下を指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • 月の何日 (1 ~ 31) に、または週の最初の営業日 / 2 日目 / 3 日目 / 4 日目 / 最後の日 • 1 年のうちどの月に、または全部の月 • 1 回だけ • システム起動時 • ログオン時 • アイドル時 - アイドル時を選択すると、アイドル時にタスクをスケジュール 選択ボックスが表示されます。ここでアイドル時間を 1 ~ 999 分の間隔で指定できます。
<p>開始時刻</p>	<p>日次、週次、月次、1 回だけのタスク スケジュールの特定の時刻</p>

- 5 日次、週次、月次、1 回だけのタスク スケジュールを選択した場合は、**詳細** コマンド ボタンをクリックして **詳細スケジュール オプション** ダイアログを表示します ([図 27](#) を参照)。

図 27 詳細スケジュール オプション ダイアログ

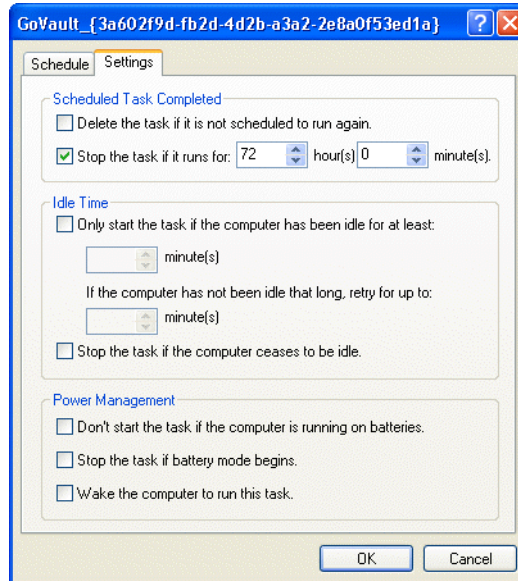


- 6 画面の指示に従って、**詳細スケジュール オプション** ダイアログのオプション ボタンを選択ボックスを使用して以下を指定します。
 - **開始日**
 - **終了日**
 - **タスクの繰り返し :**
 - **間隔** 1 ~ 9,999 の分または秒
 - **期限** 指定した時刻か、1 ~ 9,999 時間または 1 ~ 99 分の指定した時間
 - **タスクがまだ実行中の場合 .. オプション**
- 7 OK をクリックして **詳細スケジュール オプション** ダイアログを閉じて、Windows **スケジュール タスク** ダイアログに戻ります。
- 8 **スケジュール タスク** ダイアログの **設定** タブをクリックして、保護プランの詳細スケジュール タスクを指定します (図 28 を参照)。
- 9 画面の指示に従って、**選択** タブのチェック ボックスや選択ボックスを使用して以下を指定します。
 - **選択したタスクの完了** オプション :
 - 再実行がスケジュールされていない場合はタスクを削除する
 - 1 ~ 999 時間、1 ~ 99 分実行した場合にタスクを終了する
 - **アイドル時間** オプション :
 - 少なくとも 1 ~ 999 分コンピュータの操作がなかった場合にのみタスクを開始する

- コンピュータのアイドル時間がその長さに達しなかった場合は、最大 1 ~ 999 分間で再試行する
- コンピュータのアイドルでなくなったらタスクを終了する
- 電源管理オプション：
 - コンピュータがバッテリー駆動のときはタスクを開始しない
 - バッテリーモードが開始するとタスクを終了する
 - コンピュータをスリープ状態から起こしてタスクを実行する

10 OK をクリックして詳細スケジュール タスクを保存し、**スケジュール タスク** ダイアログを閉じます。

図 28 設定タブのスケジュール
タスク



保護プランの実行、編集、削除

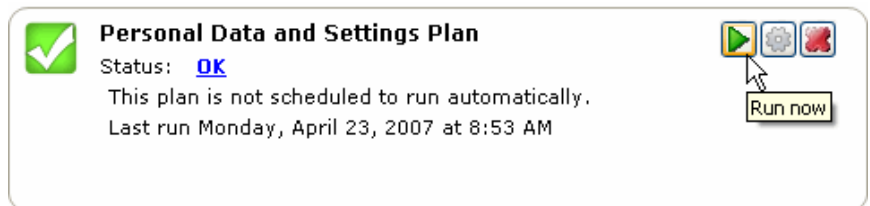
ホームページの **保存した保護プラン** 画面の3つのコマンド ボタンを使用して、保護プランの実行、編集、削除を行います。

- **今すぐ実行** - [保護プランの実行](#) を参照
- **設定の編集** - [保護プランの編集](#) (40 ページ) を参照
- **プランの削除** - [保護プランの削除](#) (42 ページ) を参照

保護プランの実行

GoVault データ プロテクション ソフトウェアは、指定した実行スケジュールに従って自動的に実行します。スケジュールを設定していても、いつでも手動でプランを実行できます。その場合は、**ホームページの保存した保護プラン** 画面で緑色の **今すぐ実行** ボタンをクリックします ([図 29](#) を参照)。

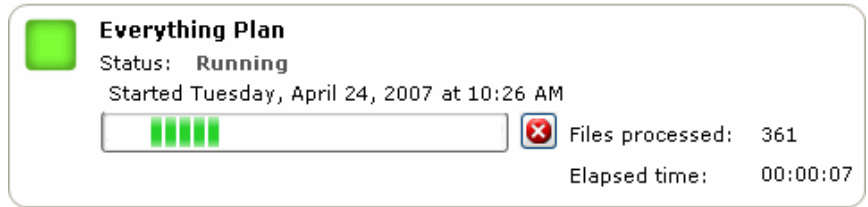
図 29 保存した保護プランの今すぐ実行ボタン



今すぐ実行 をクリックすると、保護プランのステータス画面が **OK** から一瞬 **開始中** に変わってから **実行中** に変わり、進行状況が表示されます ([図 30](#) を参照)。

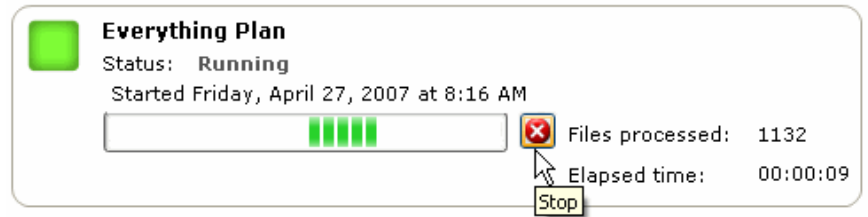
注： コンピュータのプロセッサ速度とメモリ設定や、バックアップしている総データ量によっては、保護プランの実行に長時間かかる場合があります。この間、他のアプリケーションで作業を続けることもできますが、システムの応答は通常より遅くなります。

図 30 保護プランの実行ステータス画面



完了前に実行を中止する場合は、**停止** ボタンをクリックし ([図 31](#) を参照)、**プランの中止** 確認 .? プロンプトに対して **はい** と答えます。保護プランが停止し、ステータス画面が **実行中** から **キャンセル** に変わります。

図 31 実行中止ボタン



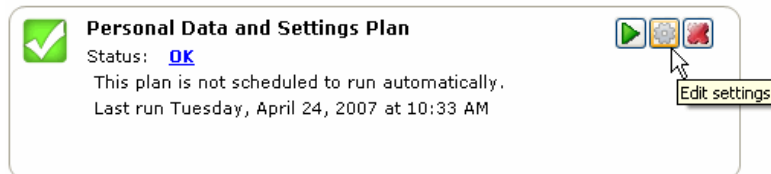
実行の終わりに、保護の詳細結果が更新され、**ホーム** ページの **保存した保護プラン** 画面に **OK** ステータスが再表示されます。

保護プランの編集

保存された保護プランを編集するには、以下の手順に従ってください。

- 1 **ホーム** ページの **保存した保護プラン** 画面で **設定の編集** ボタンをクリックします ([図 32](#) を参照)。

図 32 保存した保護プランの設定の編集ボタン

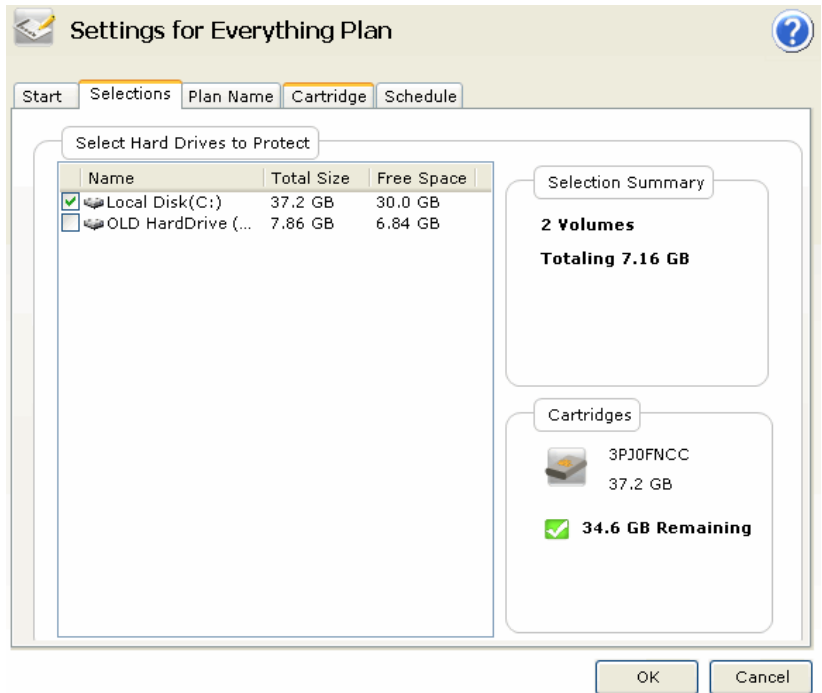


- 2 保護プランの作成に使用した **保護プランの作成** ページに似た **設定** ページの **選択** タブが表示されます ([図 33](#) を参照)。

次のタブ画面を変更して..	使用する タブ 画面	からサブセクションに戻る場合..
プランの開始点	開始	開始点の選択 (22 ページ)
保護するファイル、フォルダ、ドライブ、ユーザー	選択	保護するファイル、フォルダ、ドライブ、ユーザーの指定 (23 ページ)
プラン名または説明	プラン名	保護プラン名の指定 (29 ページ)
使用する GoVault カートリッジ	カートリッジ	使用するカートリッジの指定 (30 ページ)
プランの実行がスケジュールされた日時	スケジュール	実行スケジュールの指定 (31 ページ)

- 3 プランを編集し終えたら、OK をクリックして変更を保存し、**ホーム** ページを再表示します。

図 33 保存した保護プランの設定ページ

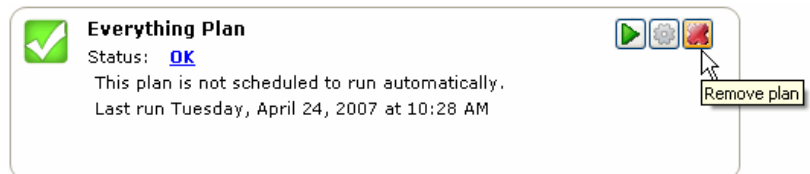


保護プランの削除

保存された保護プランを削除するには、以下の手順に従ってください。

- 1 ホーム ページの **保存した保護プラン** 画面で **プランの削除** ボタンをクリックします (図 34 を参照)。

図 34 プランの削除ボタン



- 2 **プランの削除** 確認プロンプトに対し、**はい** と答えて..? 保護プランを削除します。

注： GoVault データ プロテクション ソフトウェアのアーカイブ環境から保護プランを削除しても、保護プランによって GoVault カートリッジに保存されていたアーカイブ データは削除されません。これまで同様に、[ファイルやフォルダの検索とリストア](#) (48 ページ) の説明に従ってデータの検索や復元ができます。

保護プランの結果の確認

保護プランの実行結果を表示する方法は2通りあります。それぞれ若干異なる**結果** ページに、保存されている保護プランすべてのアクティビティが表示されます。

- **ホーム** ページのオプション パネルで**結果** コマンドをクリックすると、**結果** ページが表示され、保存したすべての保護プランとその実行回数が一覧になります ([図 35](#) を参照)。

プロンプトが表示されたら、確認したい保護プランを選択して開き、**結果の詳細** を表示します ([図 36](#) と [表 2](#) を参照)。

- **正常**、**キャンセル**、**警告**、**エラー** のいずれかが表示される **ホーム** ページ My Saved Protection Plans (**保存した保護プラン**) 画面で、大きい緑色のチェック ボックスまたは **ステータス** リンクをクリックすると、**結果** ページが開いて、前回実行したプランの **結果の詳細** が表示されます ([図 36](#) と [表 2](#) を参照)。

図 35 結果ページ

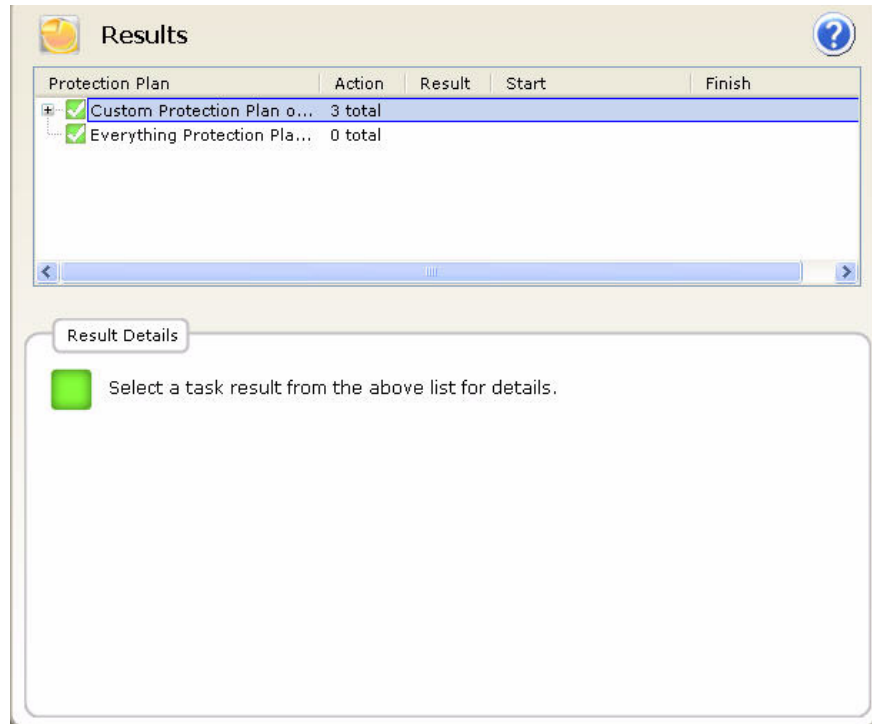


図 36 保護プランの結果の詳細画面

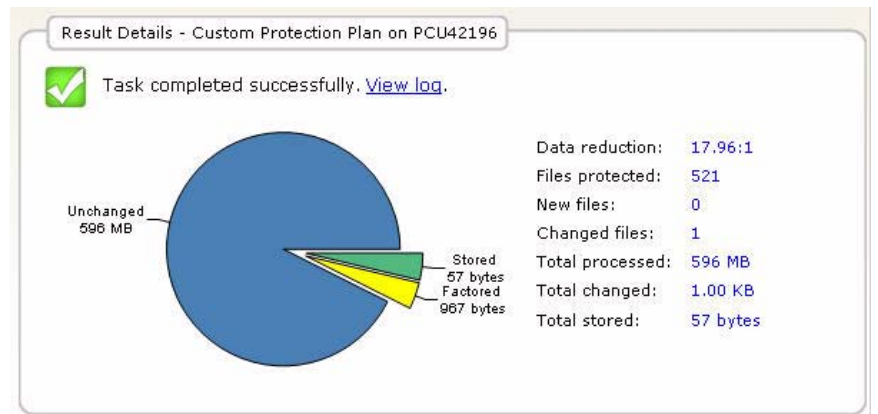


表 2 結果詳細画面の説明

結果詳細画面の表示 ..	説明 ..
円グラフ	保存 - GoVault カートリッジに保存されたデータ量。
	ファクタリング - GoVault データ プロテクション ソフトウェアの容量最適化機能によって減少したデータ量。
	変更なし - プランによって変更されなかったデータ量。 新しい保護プランの初回の実行では、変更なしデータはありません。すべてのデータが「保存」または「ファクタリング」として表示されます。
数値リスト	データ減少率 - プランによって GoVault カートリッジに保存された総データ量に対する新しいデータと変更されたデータの合計の割合。
	保護されたファイル - プランで保護された総ファイル数。
	新しいファイル - プランで保護された新しいファイルの総数。
	変更されたファイル - プランを前回実行した後に変更された古いファイルの総数。
	総処理データ量
	総変更データ量 - プランを前回実行してから変更された総データ量。
	総保存データ量 - プランで GoVault カートリッジに書き込まれたデータ量。

結果詳細画面の表示 ..	説明 ..
リンク	ログの表示 - GoVault データ プロテクション ソフトウェアによってローカルハードドライブにあるアプリケーションのインストール先フォルダ内の Logs サブフォルダに書き込まれたログファイルの一覧 (図 37 と 表 3 を参照)。

図 37 結果の詳細ログ ファイル一覧

```
ArchiveIQ for GoProtect Command Tool Version 1.0.655.1
Copyright (C) 2005-2007 Data Storage Group, LLC. All Rights Reserved.

Archive task started on Fri Mar 30 2007 at 12:24 AM.

Scanning C:\Documents and Settings\rsponse1\*
Scanning C:\GoProtect\CurrentBuild\*
Scanning C:\GoVault\SATADriver\*

Archive task completed on Fri Mar 30 2007 at 12:24 AM.
Total Transfer Time: 00:00:00.375

-----
Analysis:
Directories processed:      184
Protected files:           521 (625,425,722 bytes)
Protected data:            596 MB (625,425,722 bytes)
Unchanged:                 596 MB (100% static content)

New files:                 0
Changed files:             1

New and changed:          1.00 KB (0.000164% dynamic content)
Factored:                 967 bytes
Total stored:              57 bytes
Data reduction:           18:1 (New and changed data to Total stored)
CCF Ratio:                9999:1 (Protected data to Total stored)
Common Content:           596 MB (100% data de-duplication)

-----
Total processed:          596 MB (625,425,722 bytes)
-----
```

表 3 結果の詳細ログ ファイルの説明

ログ ファイルの項目 ..	説明 ..
総転送時間	更新されたアーカイブ情報を GoVault カートリッジに書き込むのにかかった時間。
処理されたディレクトリ	保護プランによって処理された総ディレクトリ数。
保護されたファイル	保護プランの今回の実行によって処理されたファイルの数とサイズ (バイト単位)。
保護されたデータ	プランによって保護されたデータ量。

ログ ファイルの項目 ..	説明 ..
変更なし	保護プランの前回の実行以降に変更されていない保護データの量 (と割合)。
新しいファイル	保護プランの前回の実行以降に増えた新しいファイルの数。
変更されたファイル	保護プランの前回の実行以降に変更されたファイルの数。
新規と変更	保護プランの前回の実行以降に変更された保護データの量 (と割合)。
ファクタリング	容量最適化によってサイズが減少したデータの量。
総保存データ量	保護プランの今回の実行で GoVault カートリッジに書き込まれたデータの量。
データ減少率	保護プランの今回の実行で GoVault カートリッジに書き込まれた総データ量 (総保存データ量) に対する新しいデータと変更されたデータ (新規と変更) の割合。
CCF 率	保護プランの今回の実行で GoVault カートリッジに書き込まれた総データ量 (総保存データ量) に対するプランで保護された総データ量の割合 (保護されたデータ) の割合。
共通内容	容量最適化のためのデデュープ機能の対象となる共通データの量 (と割合)。
経過時間	アーカイブ処理全体にかかった時間 (総転送時間も含む)。

ファイルやフォルダの検索とリストア

保護されているファイルやフォルダのバックアップバージョンを見つけやすくするために、GoVault データ プロテクション ソフトウェアでは、使い慣れた Windows エクスプローラに似た階層構造でそれらを表示します。

- 選択したファイルの読み取り専用表示
- 一般的なコピー / 貼り付けとドラッグアンドドロップによるファイル操作機能

さらに、カレンダー画面には、使用可能なバックアップ ファイルすべての日付を表示して、一時点の検索 / リストア (ロールバック) 操作をサポートしています。

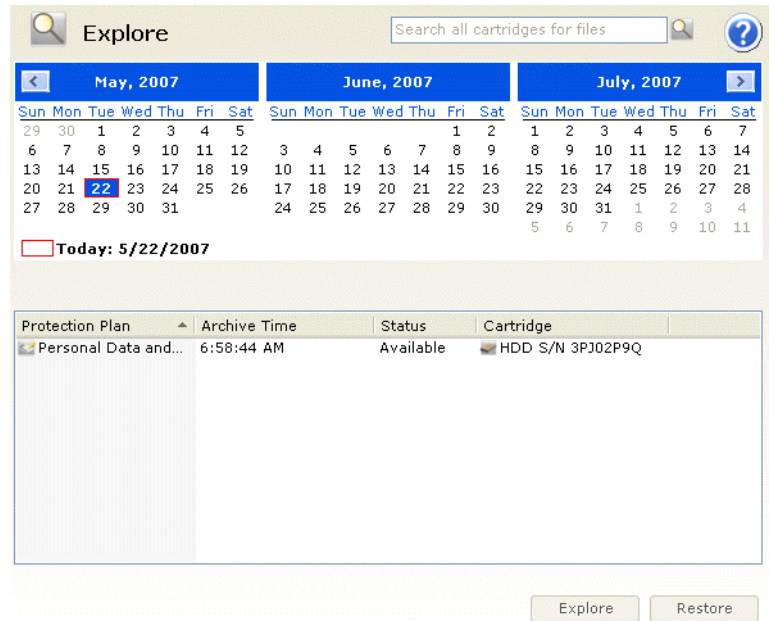
ファイルやフォルダを検索してリストアするには、GoVault データ プロテクション ソフトウェアの **ホーム** ページで **検索** をクリックして、**検索** ページを表示します ([図 38](#) を参照)。

検索 ページには以下のものがあります。

- 保護プランを実行した日を太字でハイライトするカレンダー画面
- リスト ボックスの目的：
 - 1 つのファイル名を指定する
 - 使用可能なバックアップからファイルやフォルダを選択する
- 指定した検索 / リストア機能を実行するコマンド ボタン

検索とリストアの対象 ..	移動先 ..
1 つのファイル	単一ファイルの検索とリストア .
複数のファイルとフォルダ	複数のファイルやフォルダの検索と検索とリストア (52 ページ).
特定の時点	特定の時点でのリストア (54 ページ).

図 38 検索ページ



単一ファイルの検索とリストア

リストア操作を始める前に、開いているファイルをすべて保存し、GoVault データ プロテクション ソフトウェア以外の実行中のアプリケーションをすべて終了します。

注意： 開いているファイルをリストアしようとする、データの消失や破損が生じることがあります。リストア操作を始める前に必ず、開いているファイルをすべて閉じ、実行中のアプリケーションをすべて終了してください。

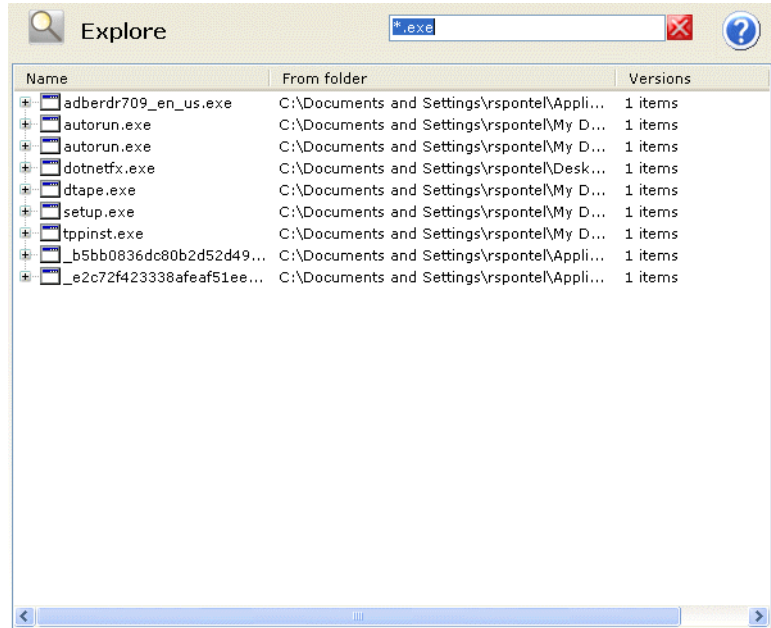
1つのファイルを見つけてリストアするには、以下の手順に従います。

- 1 GoVault データ プロテクション ソフトウェア **検索** ページの右上隅にある **すべてのカートリッジのファイルを検索** テキストボックスにファイル名またはファイル名の一部を入力します。

注： テキストボックスに入力し始めると、残りは自動表示されます。また、標準的な Windows エクスプローラのファイル検索操作と同様に、検索文字列にアスタリスク (*) を使用できます。

- 2 Enter キーを押すか、横の検索アイコンをクリックして、指定したファイルの保護されている全バージョンと、そのソース フォルダの場所とバージョンを検索して表示します (図 39 を参照)。

図 39 単一ファイルの検索結果

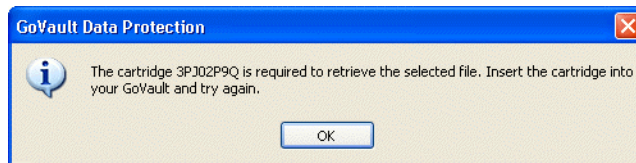


- 3 必要に応じて、表示されたファイル一覧を開き、リストアするファイルを選択します。
- 4 選択したファイルをダブルクリックしてリストア操作を開始します。

注： リストアするファイルがプログラムの実行ファイルの場合は、**検索** ページの検索結果一覧でそれをダブルクリックしても、プログラムは**起動しません**。

<p>選択したファイルの場所 ..</p>	<p>GoVault データ プロテクション ソフトウェアの表示画面 ..</p>
<p>GoVault ドック内のカートリッジ</p>	<ul style="list-style-type: none"> • アーカイブからファイルを解凍してリアセンブルする間、標準的な Windows ファイル ダウンロード ダイアログ。 • リストア操作の場所を指定する際に使用できる標準的な Windows 名前を付けて保存 ダイアログ。 <p>注： ファイルは元の場所にも他の場所にもリストアできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 標準的な Windows ダウンロード完了 ダイアログが表示され、リストア操作に成功したことを示します。
<p>別のカートリッジ、</p>	<p>必要なカートリッジを示すメッセージ (図 40 を参照)。</p> <p>この場合は、GoVault ドックから現在のカートリッジを取り出し、必要なカートリッジを挿入して、検索操作を繰り返します。</p>

図 40 必要なカートリッジメッセージ



複数のファイルやフォルダ の検索と検索とリストア

リストア操作を始める前に、開いているファイルをすべて保存し、GoVault データ プロテクション ソフトウェア以外の実行中のアプリケーションをすべて終了します。

注意： 開いているファイルをリストアしようとする、データの消失や破損が生じることがあります。リストア操作を始める前に必ず、開いているファイルをすべて閉じ、実行中のアプリケーションをすべて終了してください。

複数のファイルやフォルダを検索してリストアするには、以下の手順に従ってください。

- 1 **検索** ページで、リストアしたいバックアップが正常に処理された日付をカレンダーから選択します ([図 38](#) on page 49 を参照)。

保護プランに従って選択した日付に正常に完了したバックアップ処理がすべて表示され、それぞれにアーカイブ日時とバックアップのステータスが示されます ([図 41](#) を参照)。

リストアするバックアップ処理を生成した保護プランを選択して、**検索** と **リストア** コマンド ボタンをアクティブにします。

注： リストアするバックアップが別の GoVault カートリッジにある場合は、ステータスは「オフライン」です。**検索** および **リストア** コマンド ボタンがアクティブにならず、必要なカートリッジを示すメッセージが表示されます ([図 42](#) を参照)。この場合は、GoVault ドックから現在のカートリッジを取り出し、必要なカートリッジを挿入して、検索操作を繰り返します。

- 2 **検索** コマンド ボタンをクリックして、GoVault データ プロテクション ソフトウェアのアーカイブ検索ウィンドウを表示します ([図 43](#) on page 54 を参照)。

(**リストア** コマンド ボタンをクリックすると、[特定の時点でのリストア](#) (54 ページ) で説明したように、一時点に戻ってリストアする処理が開始します。)

- 3 Windows **エクスプローラ** と同様に、GoVault データ プロテクション ソフトウェアのアーカイブ検索ウィンドウには、選択したバックアップ処理に含まれるファイルが階層構造で表示されます。

標準的な Windows ファイル選択機能 (クリック、CTRL+ クリック、SHIFT+ クリック) を使用して、リストアするファイルやフォルダを開いて選択します。

- 4 リストア ファイルを選択した状態で、標準的な Windows コピー / 貼り付けまたはドラッグアンドドロップ機能を使用して、選択したバックアップ ファイルやフォルダをシステムのディスク ドライブにリストアします。

注： ファイルは元の場所にも他の場所にもリストアできます。

図 41 複数ファイルの検索結果



Protection Plan	Archive Time	Status
Everything Protection...	9:06:18 AM	Available
Everything Protection...	10:34:32 AM	Available

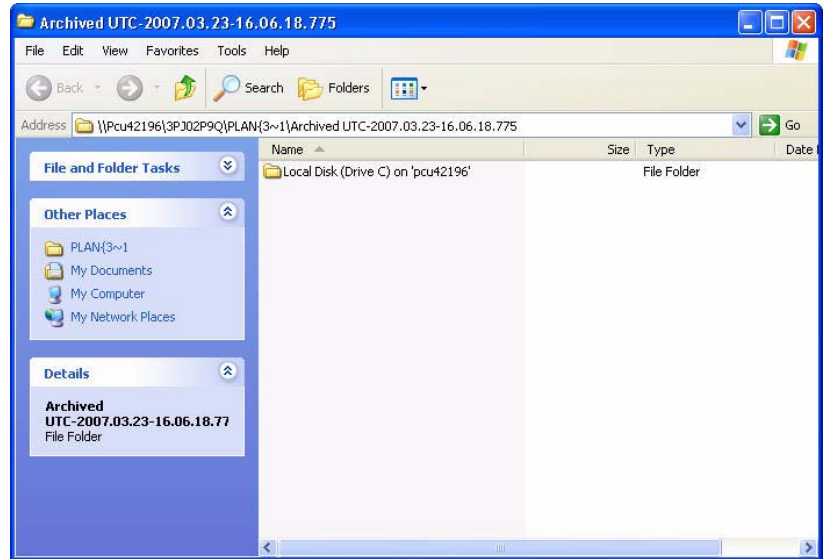
図 42 必要なカートリッジ
メッセージ

Requires cartridge:
HDD S/N 3P10FNCC

Explore

Restore

図 43 アーカイブ検索ウィンドウ



特定の時点でのリストア

リストア操作を始める前に、開いているファイルをすべて保存し、GoVault データ プロテクション ソフトウェア以外の実行中のアプリケーションをすべて終了します。

注意： 開いているファイルをリストアしようとする、データの消失や破損が生じることがあります。リストア操作を始める前に必ず、開いているファイルをすべて閉じ、実行中のアプリケーションをすべて終了してください。

特定の時点に戻ってリストアするには、以下の手順に従ってください。

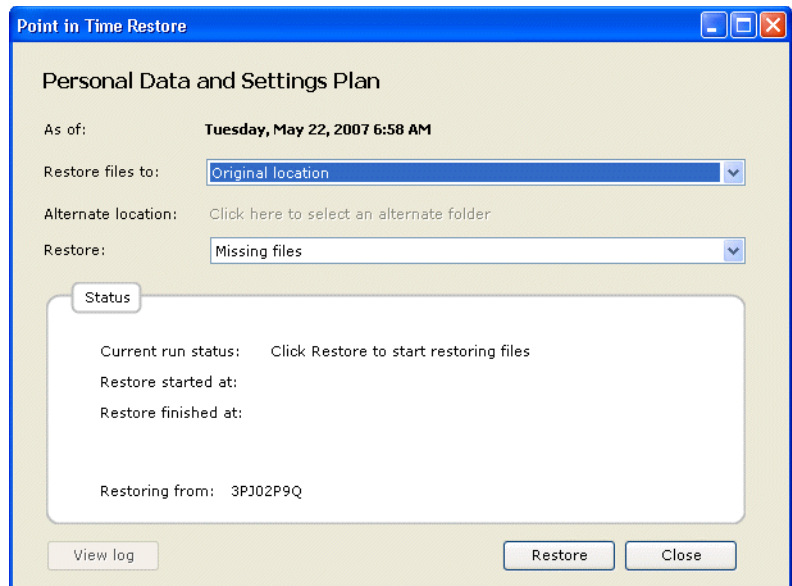
- 1 **検索** ページで、リストアしたいバックアップが正常に処理された日付をカレンダーから選択します (ページ 49 の [図 38](#) を参照を参照)。保護プランに従って選択した日付に正常に完了したバックアップ処理がすべて表示され、それぞれにアーカイブ日時とバックアップのステータスが示されます (ページ 53 の [図 41](#) を参照を参照)。

リストアするバックアップ処理を生成した保護プランを選択して、**検索** と **リストア** コマンド ボタンをアクティブにします。

注： リストアするバックアップが別の GoVault カートリッジにある場合は、ステータスは「オフライン」です。**検索** および **リストア** コマンド ボタンがアクティブにならず、必要なカートリッジを示すメッセージが表示されます ([図 42 on page 53](#) を参照)。この場合は、GoVault ドックから現在のカートリッジを取り出し、必要なカートリッジを挿入して、検索操作を繰り返します。

- 2 **リストア** コマンド ボタンをクリックして、GoVault データ プロテクション ソフトウェアの **一時点に戻ってリストア** ダイアログを表示します ([図 44](#) を参照)。

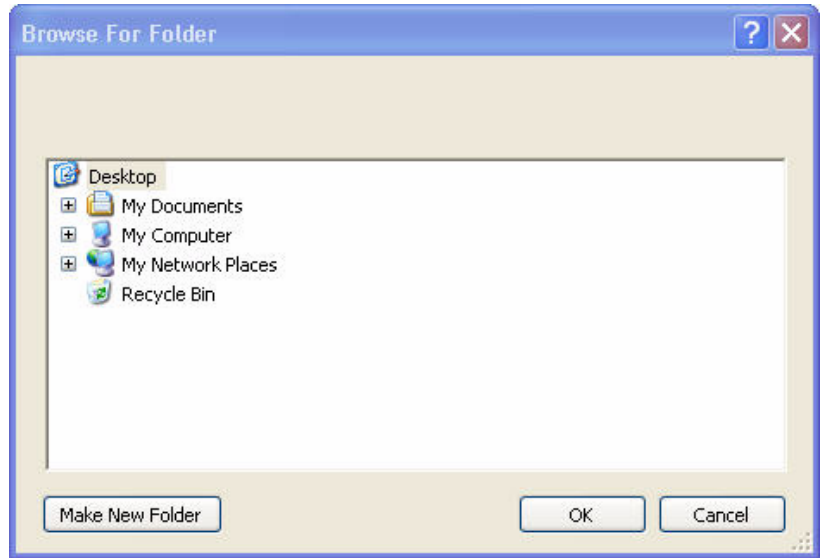
図 44 一時点でのリストア



- 3 **ファイルのリストア先** リスト ボックスを使用して、元の場所にリストアするか別の場所にリストアするかを指定します。
 - a **別の場所** を選択した場合は、別の場所のリンクがアクティブになります。プロンプトに従って、リンクをクリックして **フォルダの参照** ダイアログを表示します ([図 45](#) を参照)。

- b **フォルダの参照** ダイアログで、次のどちらかを行います。
- 既存の場所に移動する
 - **フォルダの新規作成** をクリックして新しいフォルダ名を入力する
- c OK をクリックして別の場所のパスを指定します。

図 45 フォルダの参照ダイアログ



- 4 **リストア** リスト ボックスを使用して、リストア処理の置換ルールを以下のように指定します。
- a 指定したリストア場所がないファイルだけをリストアする場合は、**欠如ファイル** を選択します。
- このオプションを選択すると、リストア場所のファイルの上書きが禁止されます。
- b 指定したリストア場所がないファイルまたは古いファイルをリストアする場合は、**欠如ファイルと古いファイル** を選択します。
- このオプションを選択すると、アーカイブ内のファイルより新しいファイルがリストア場所にある場合に、その上書きが禁止されます。
- c 指定したリストア場所がないファイルまたは異なるファイルをリストアする場合は、**欠如ファイルと異なるファイル** を選択します。

このオプションを選択すると、アーカイブ内のファイルと同じファイルがリストア場所にある場合に、その上書きが禁止されます。ファイルの古さは関係ありません。

- 5 リストア場所の置換ルールを指定した後、**リストア**をクリックしてリストア処理を開始し、表示されるステータスを監視します。
- 6 ステータス表示がリストア処理の完了を示すと、**終了**をクリックして**一時点に戻ってリストア**ダイアログを閉じます。

GoVault カートリッジとデータ保護の管理

GoVault カートリッジとデータ保護の管理タスクには、以下が含まれます。

- [カートリッジのステータスの確認](#)
- [カートリッジを取り出す](#) (58 ページ)
- [カートリッジの消去](#) (59 ページ)
- [データ暗号化の実装](#) (60 ページ)
- [新しいメディア操作オプションの設定](#) (62 ページ)
- [カートリッジ交替通知スケジュールの設定](#) (63 ページ)
- [GoVault カートリッジの追加購入](#) (64 ページ)

カートリッジのステータスの確認

GoVault カートリッジのステータスを確認するには、GoVault データ保護ソフトウェアの **Cartridges (カートリッジ)** コマンドボタンをクリックして、**カートリッジ** ページを表示します ([図 46](#) を参照)。

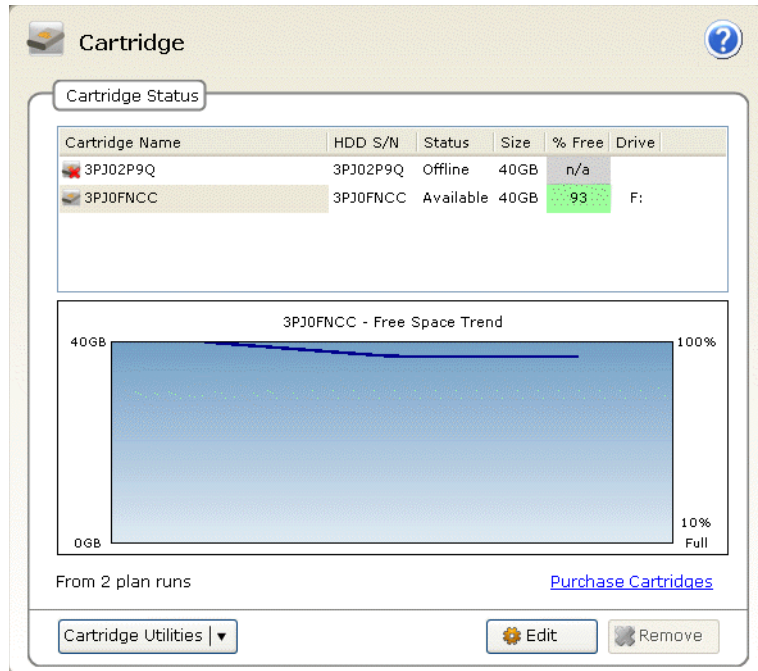
図に示したように、**カートリッジのステータス** 画面には、GoVault データ保護ソフトウェアに登録されている各 GoVault カートリッジの名前と、以下の状態が一覧表示されます。

- 各カートリッジの：
 - オンライン / オフライン ステータス
 - ハードディスク ドライブのシリアル番 (HDD S/N)

- GoVault ドックに関連付けられているドライブ文字
- オンラインカートリッジの使用可能領域の割合

また、**空き領域のトレンド**チャートは、時間の経過に伴う空き領域の消費をグラフで表しています。

図 46 カートリッジ ページ



カートリッジを取り出す

カートリッジを GoVault ドックから取り出すには、以下の手順に従ってください。

- 1 GoVault データ プロテクション ソフトウェアの **カートリッジ** コマンド ボタンをクリックして、**カートリッジ** ページを表示します (図 46 を参照)。
- 2 **Cartridge Utilities (カートリッジ ユーティリティ)** をクリックしてカートリッジ ユーティリティ メニューを開き、**カートリッジの取り出し** をクリックします。
- 3 取り出し動作が完了した後、カートリッジをドックから取り出して保護ケースに保管します。

カートリッジの消去

GoVault データ プロテクション ソフトウェアは標準的な Windows ドライブ再フォーマット機能を使用して GoVault カートリッジを消去します。

カートリッジを消去した後：

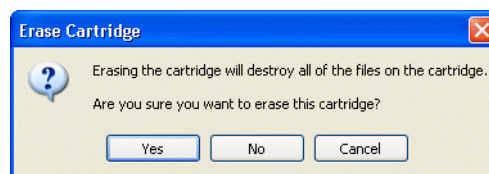
- カートリッジに保存されていた保護プランに **前回の実行** が表示されなくなります。.. テキスト
- カートリッジを使用した保護プランの結果が **結果** ページに表示されなくなります。
- カートリッジに保存されていた保護プランが **検索** ページに表示されなくなります。

この状況を避けるには、GoVault カートリッジを追加購入してストレージ容量を拡大することを検討してください。

GoVault カートリッジを消去するには、以下の手順に従ってください。

- 1 消去するカートリッジを GoVault ドックに挿入します。
- 2 GoVault データ プロテクション ソフトウェアの **カートリッジ** コマンドボタンをクリックして、**カートリッジ** ページを表示します ([図 46](#) を参照)。
- 3 挿入したカートリッジが **カートリッジのステータス** 画面で選択 / ハイライトされていることを確認し、**カートリッジユーティリティ** をクリックしてカートリッジユーティリティメニューを開きます。
- 4 **カートリッジの消去** をクリックして **カートリッジの消去** 確認プロンプトを表示します ([図 47](#) を参照)。

図 47 カートリッジ消去の確認プロンプト



- 5 はいをクリックして標準的な Windows **リムーバブル ディスクのフォーマット** ダイアログを表示し、GoVault カートリッジの再フォーマット (消去) に使用します。

注： GoVault カートリッジを消去するときは、必ず NTFS ファイルシステムを指定してください。サポートされていないフォーマットという警告が示しているように、GoVault データ保護ソフトウェアは、FAT32 など NTFS 以外のファイルシステム以外でフォーマットされたカートリッジを認識できません。

- 6 再フォーマットの処理が完了した後、カートリッジを GoVault データ保護ソフトウェア環境にします ([カートリッジの登録](#) (17 ページ) を参照)。

データ暗号化の実装

GoVault データ保護ソフトウェアは Windows ファイルシステムの暗号化 (EFS) を使用して、保護されているファイルやフォルダの暗号化と復号を自動的に実行できます。

注意： データ暗号化は、侵入者が不正にアクセスして読み取ることを防ぐ強力なツールです。カートリッジを暗号化する前に、Windows EFS の操作を理解する必要があります。EFS の仕組みを知らなければ、データを正常にリストアできない可能性があります。

Windows EFS を使ったことのない場合：

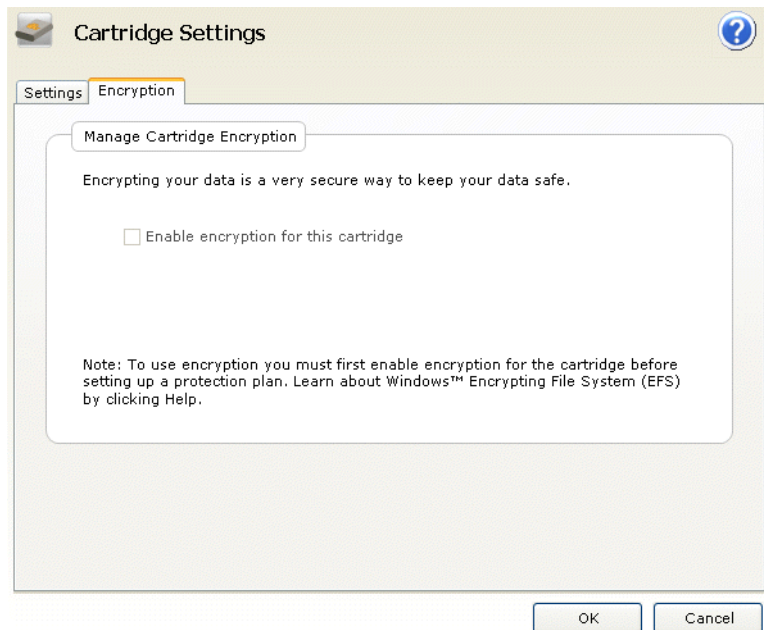
- Microsoft リソース キット、製品マニュアル、技術文書などの情報源を調べます。
- インターネット ブラウザで Microsoft のホームページを開き、**サポート** をクリックし、**サポート技術情報** でファイルシステムの暗号化を検索します。

注： 保護プランで最初に GoVault カートリッジを使う前に、データ暗号化を実装する必要があります。保護プランで使用した後で、カートリッジにデータ暗号化を実装することはできません。

保護されているファイルやフォルダにデータ暗号化を実装するには、以下の手順に従います。

- 1 必要に応じて、新しいカートリッジを GoVault ドックに挿入し、GoVault データ プロテクション ソフトウェア 環境に登録します ([カートリッジの登録](#) (17 ページ) を参照)。
- 2 GoVault データ プロテクション ソフトウェアの **カートリッジ** コマンド ボタンをクリックして、**カートリッジ** ページを表示します ([図 46](#) を参照)。
- 3 カートリッジが選択され、そのステータスが「使用可能」であることを確認します。
- 4 **Cartridge Utilities (カートリッジ ユーティリティ)** をクリックしてカートリッジ ユーティリティ メニューを開き、**暗号化の管理** をクリックして **カートリッジ設定** ページの **暗号化タブ** を表示します ([図 48](#) を参照)。
- 5 **このカートリッジの暗号化を有効にする** チェック ボックスをオンにします。
- 6 OK を選択して、データ暗号化機能を実行します。

図 48 暗号化タブ画面



新しいメディア操作オプションの設定

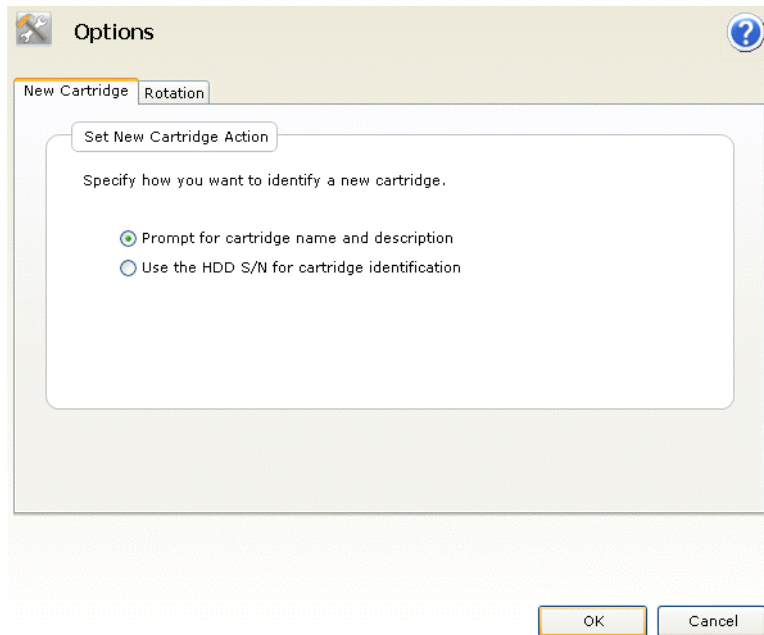
新しいカートリッジを最初に GoVault ドックに挿入すると、GoVault データ保護ソフトウェアは次のどちらかを実行できます。

- カートリッジの名前と説明を指定するプロンプトを表示する (ページ 18 の [図 10](#) を参照を参照)
- カートリッジハードディスク ドライブのシリアル番号 (HDD S/D) を使用する

Options (オプション) ページの **新しいカートリッジ** タブで選択して、どちらになるかを指定できます。

- 1 GoVault データ保護ソフトウェアの **オプション** コマンド ボタンをクリックして、**オプション** ページの **新しいカートリッジ** タブを表示します ([図 49](#) を参照)。
- 2 プロンプトに従って、新しいカートリッジの操作オプションを選択し、**OK** をクリックして選択を保存してから、**オプション** ページを閉じます。

図 49 新しいカートリッジ タブ



カートリッジ交替通知スケジュールの設定

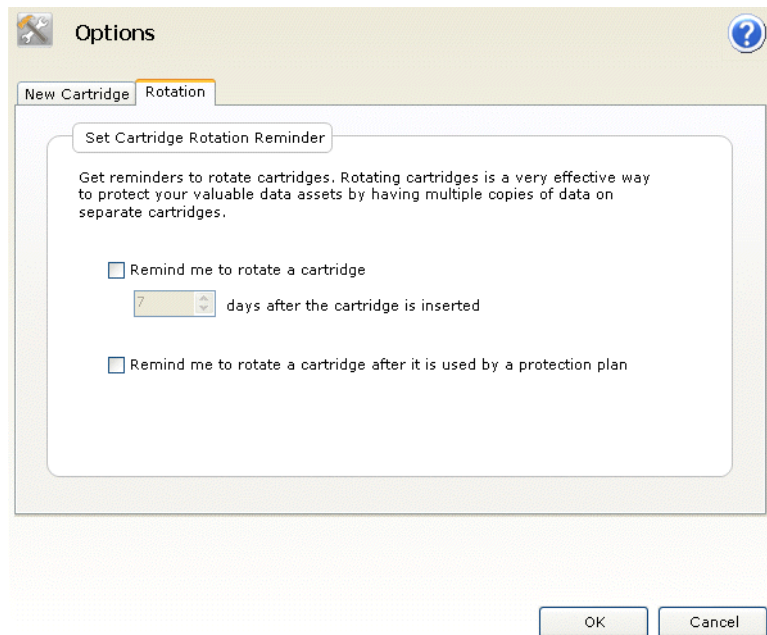
GoVault カートリッジを定期的に交替すると、データのコピーを異なるカートリッジに複数部維持して、データ保護を全般的に強化できます。次のいずれかのスケジュールでカートリッジの交替時期を通知するように GoVault データ プロテクション ソフトウェアを設定できます。

- 指定した曜日 (週に一度)
- 指定した間隔 (1 ~ 31 日に一度)
- 各バックアップ タスクが正常に完了した後

カートリッジ交替通知スケジュールを設定するには、以下の手順に従ってください。

- 1 GoVault データ プロテクション ソフトウェアの **オプション** コマンド ボタンをクリックして、**オプション** ダイアログを表示します (図 49 を参照)。
- 2 **交替** タブをクリックして **カートリッジ交替通知の設定** ダイアログを表示します (図 50 を参照)。

図 50 カートリッジ交替通知の設定ダイアログ



- 3 **カートリッジの交替を通知する** のオプションを次のいずれかから選択します。
 - ... <カートリッジを挿入してから 1 ~ 31> 日後
 - ... 保護プランが使用した後
- 4 OK をクリックして選択を保存し、**オプション** ダイアログを閉じます。

GoVault カートリッジの追加購入

GoVault カートリッジを追加購入する必要がある場合は、以下の手順を実行します。

- 1 GoVault データ プロテクション ソフトウェアの **カートリッジ** コマンド ボタンをクリックして、**カートリッジ** ページを表示します (ページ 58 の [図 46](#) を参照 を参照)。
- 2 **カートリッジ 購入** リンクをクリックします。インターネットブラウザで、次の場所にあるクアンタム ウェブサイトの **カートリッジの購入** ページが開き、カートリッジを追加購入できます。

<http://www.quantum.com/Wheretobuy/PurchaseCartridges/Index.aspx>

警告状態に対する応答

GoVault データ プロテクション ソフトウェアの警告画面には、GoVault カートリッジと保護プランの動作について警告メッセージやエラー メッセージが表示されます。

警告状態が検出されると、GoVault データ プロテクション ソフトウェアは以下を行います。

- Windows システム トレイ内の GoVault データ プロテクション ソフトウェア アイコンの上に短い警告メッセージが表示される
- **ホーム** ページの **警告** ボタンがアクティブになり、画面が **警告 (1)** に変わって警告メッセージがあることを示す

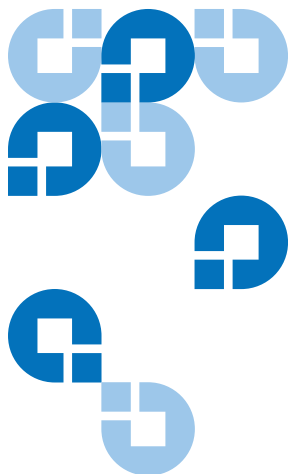
短い警告メッセージ内のリンクまたはアクティブな **警告** コマンド ボタンをクリックすると、関連付けられている **警告と通知** メッセージが表示されます。(ページ 20 の [図 13](#) を参照 の例を参照してください。)

警告メッセージには、状態の短い説明と、多数の応答オプションがある関連ダイアログへのリンクが含まれています。[表4](#)は、よく発生する警告状態と各対応処置を示しています。

表4 警告状態と対応処置

警告状態	対応処置	重大度
カートリッジ HDD S/N の形式がサポートされていません	<ul style="list-style-type: none"> • カートリッジを再フォーマットしてください • カートリッジを取り出してください 	<ul style="list-style-type: none"> • エラー
カートリッジは読み取り専用です (書き込み禁止)	<ul style="list-style-type: none"> • 無視してください • カートリッジを取り出してください 	<ul style="list-style-type: none"> • 情報通知のみ
カートリッジの空き領域が少なくなっています	<ul style="list-style-type: none"> • カートリッジを取り出してください 	<ul style="list-style-type: none"> • 警告
カートリッジの交替通知	<ul style="list-style-type: none"> • 後で通知する • カートリッジを購入する • カートリッジを取り出してください 	<ul style="list-style-type: none"> • 情報通知のみ

警告状態	対応処置	重大度
プランの実行エラー	<ul style="list-style-type: none"> • カートリッジが入っていることを確認してください • カートリッジが使用可能であることを確認してください • カートリッジが書き込み禁止でないことを確認してください • カートリッジに少なくとも5%の空き領域があることを確認してください 	<ul style="list-style-type: none"> • エラー
カートリッジ “XYZ”のインポート	<ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ • カートリッジを取り出してください 	<ul style="list-style-type: none"> • 情報通知のみ
GoVault 装置が検出されません	<ul style="list-style-type: none"> • GoVault ドックとカートリッジディスクドライブが設置されていることを確認してください • 『GoVault for Windows ユーザーズガイド』(20013264-001)の「動作エラー状態の対応処置 E」に記載されているトラブルシューティング手順を読んでください 	<ul style="list-style-type: none"> • 警告



第 4 章 機能の説明

この章には、GoVault™ データ プロテクション ソフトウェアの画面例と各機能要素の短い説明が掲載されています。

- [ホーム ページの機能](#)
- [保護プランの作成ページの機能](#) (71 ページ)
- [検索ページの機能](#) (92 ページ)
- [カートリッジ ページの機能](#) (98 ページ)
- [オプションページの機能](#) (103 ページ)
- [結果ページの機能](#) (106 ページ)
- [警告ページの機能](#) (109 ページ)
- [ヘルプ ページの機能](#) (110 ページ)

ホーム ページの機能

GoVault データ プロテクション ソフトウェアをインストールしてアプリケーションを初めて開くと、[図 51](#) に示すように、最初の **ホーム** ページ画面には、保存されたプランが含まれていません。

[表 5](#) は、最初の **ホーム** ページから実行できる操作について簡単に説明しています。

図 51 最初のホーム ページ画面

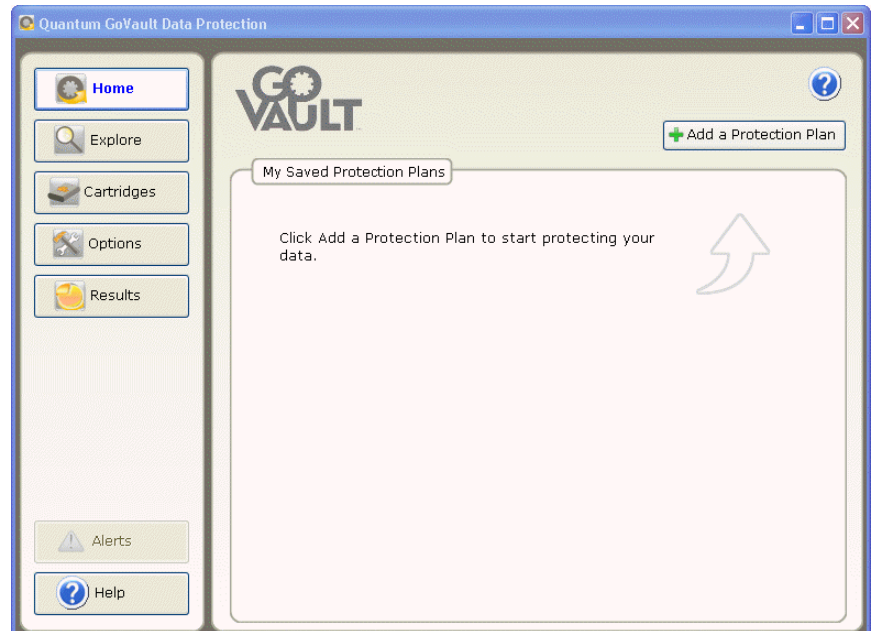



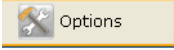
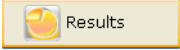
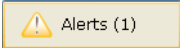
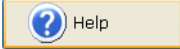



表 5 ホーム ページの機能

クリックする ...	表示画面 ... ページ	可能な操作 ...
	保護プランの作成	保護プランを作成します (保護プランの作成ページの機能 (71 ページ) を参照)。
	エクスプローラ	保護プランのアーカイブからファイルを検索してリストアップします (検索ページの機能 (92 ページ) を参照)。

クリックする ...	表示画面 .. ページ	可能な操作 ..
 Cartridges	カートリッジ	GoVault カートリッジのステータスを確認するか、カートリッジユーティリティにアクセスして、カートリッジの取り出し、カートリッジの消去、カートリッジのデータ暗号化の設定などを行います (カートリッジページの機能 (98 ページ) を参照)。
 Options	オプション	新しいカートリッジの取り扱いを変更したり、カートリッジの交替スケジュールを設定します (オプションページの機能 (103 ページ) を参照)。
 Results	結果	保護プランの結果を確認します (結果ページの機能 (106 ページ) を参照)。
 Alerts (1)	警告	警告の状態や処置の通知について詳細を表示します (警告ページの機能 (109 ページ) を参照)。
 Help	Help (ヘルプ)	GoVault データ プロテクション ソフトウェアの使用法に関するオンライン情報にリンクします (ヘルプページの機能 (110 ページ) を参照)。

クリックする ...	表示画面 ... ページ	可能な操作 ..
	オンライン ヘルプ ファイルの「GoVault GUI の概要」	GoVault データ プロテクション ソフトウェアのグラフィカル ユーザー インターフェイスに関するオンライン ヘルプ トピックを表示または印刷します。

以降、保護プランを作成するたびに、ホーム ページの **保存した保護プラン** 画面にステータス / コントロールパネルが追加されます (図 52 を参照)。

表 6 は、**保存した保護プラン** 画面から実行できる操作について簡単に説明しています。

図 52 保存した保護プラン画面

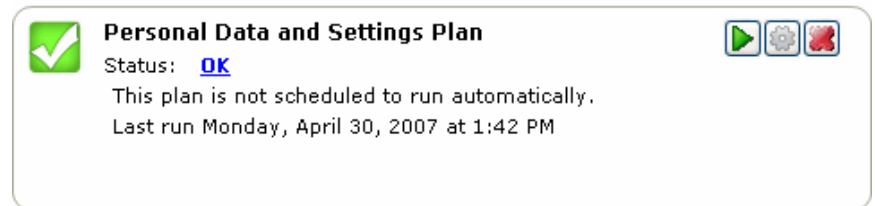







表 6 保存した保護プランの機能

クリックする ...	実行する機能 ...
 または : OK	選択した保護プランの結果を確認できる 結果 ページを開きます (結果ページの機能 (106 ページ) を参照)。
 操作 :	設定した実行スケジュールを無視して、保護プランの実行を今すぐ開始します。
	プランの実行を停止します。

クリックする ...	実行する機能 ...
	設定項目 を開きます。.. 選択 タブが選択された プラン ページ。このページは、選択したプランの 保護プランの作成 ページと同じで、プランの機能の 設定を変更する場合に使用できます (次のセク ションの「 保護プランの作成ページの機能 」を参 照)。
	プランの削除 確認メッセージが表示され、選択し た保護プランを削除するかどうかを尋ねます。

保護プランの作成ページの機能

ホーム ページの + 保護プランの追加 ボタンをクリックすると、保護プラン の作成 ページが開き、新しい保護プランを作成できます。1 ~ 5 の番号が 付いたタブは、新しいプランを作成する正しい順序を示しています ([図 53](#) を参照)。

- [1. 開始](#)
- [2. 選択](#)
- [3. プラン名](#)
- [4. カートリッジ](#)
- [5. スケジュール](#)

注： 保護プランを作成した後は、**Create a Protection Plan (保護プランの作成)** ページの全機能が、ほとんど同じ **Settings for (設定項目)** として使用可能です。.. プランの設定を変更する場合に使用する **プラン** ページ。

開始タブの機能


プロンプトに従って、**開始** タブを使用してプランの開始点 - 保護するファイルやフォルダを指定します ([図 53](#) と [表 7](#) を参照)。

図 53 開始タブ画面



表 7 開始タブの機能

クリックする ...	表示される指示に従って、この機能を実行します。...
個人のデータと設定 オプション	システムに設定されている各ユーザー名に関連付ける生産性ファイルの固定グループを指定します。 選択 タブでユーザー名の指定を解除することはできますが、個々のファイルやフォルダの指定は解除できません。
カスタム オプション	選択 タブで個々のファイルやフォルダを手動で指定できます。

クリックする ...	表示される指示に従って、この機能を実行します。...
すべて オプション	システムのハードドライブにあるすべてのファイルを指定します。 選択 タブでドライブの指定を解除することはできますが、個々のファイルやフォルダの指定は解除できません。
<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; display: inline-block;">2. Selections</div> または： <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; display: inline-block; margin: 5px;">Next</div>	選択した開始点に応じて、ユーザー名やディスク ドライブの指定を解除する 選択 タブを開くか、個々のファイルとフォルダを指定します。
<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; display: inline-block; margin: 5px;">Cancel</div>	プラン作成機能をキャンセルして、 ホーム ページを再表示します。
	オンライン ヘルプ ファイルを表示し、「保護プランの作成」というトピックを開きます。

選択タブの機能

選択 タブの機能は、**開始** タブで指定した開始点によって異なります。

指定した開始点 ...	選択タブの機能 ...
個人のデータと設定	保護するユーザーの選択
カスタム	保護するファイルやフォルダの選択
すべて	保護するハードドライブの選択

保護するユーザーの選択機能

保護するユーザーの選択 画面には、システムで設定されている各ユーザーのチェック ボックスと、選択したユーザーのファイルが消費しているディスク容量の概要が表示されます ([図 54](#) を参照)。

[表 8](#) は、保護するユーザーの選択機能について簡単に説明しています。

図 54 保護するユーザーの選択画面

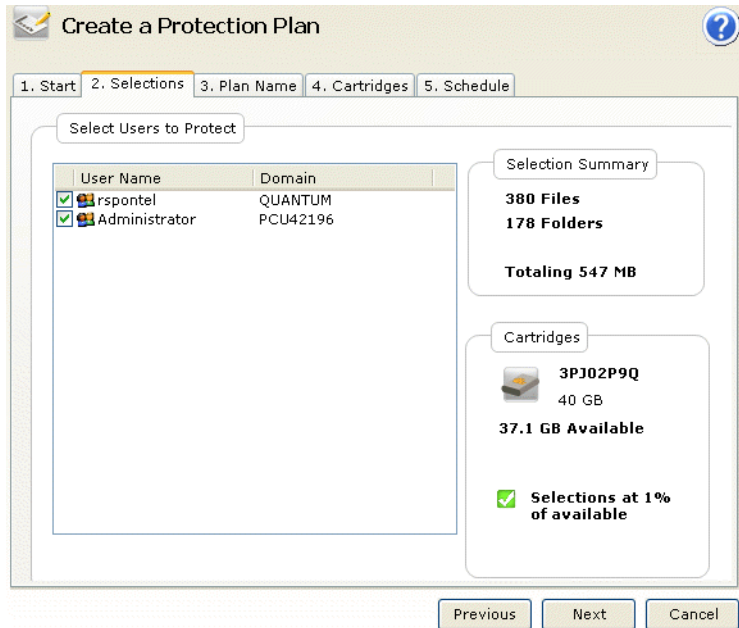



表 8 保護するユーザーの選択機能

クリックする ...	実行する機能 ...
<input checked="" type="checkbox"/> Administrator 例 :	管理者 チェック ボックスをオフにして、関連付けられているユーザー ファイルを保護プランから削除します。
<input type="checkbox"/> Administrator 例 :	管理者 チェック ボックスをオンにして、関連付けられているユーザー ファイルを保護プランに追加します。
3. Plan Name または : <input type="button" value="Next"/>	Plan プラン名 タブを開いて、プランの名前と短い説明を指定します。
1. Start または : <input type="button" value="Previous"/>	プランの開始点を変更する場合は、 開始 タブをもう一度開きます。
<input type="button" value="Cancel"/>	プラン作成機能をキャンセルして、 ホーム ページを再表示します。

クリックする ...	実行する機能 ...
	オンライン ヘルプ ファイルを表示し、「保護プランの作成」というトピックを開きます。

保護するファイルやフォルダの選択機能

保護するファイルやフォルダの選択 画面には、システムのローカル ハードドライブとネットワーク接続ハードドライブの完全なファイル構造、各ドライブ、フォルダ、ファイルのチェック ボックス、および選択したドライブ、フォルダ、ファイルが消費しているディスク容量の概要画面が表示されます ([図 55](#) を参照)。

[表 9](#) は、保護するファイルやフォルダの選択機能について簡単に説明しています。

図 55 保護するファイルやフォルダの選択画面

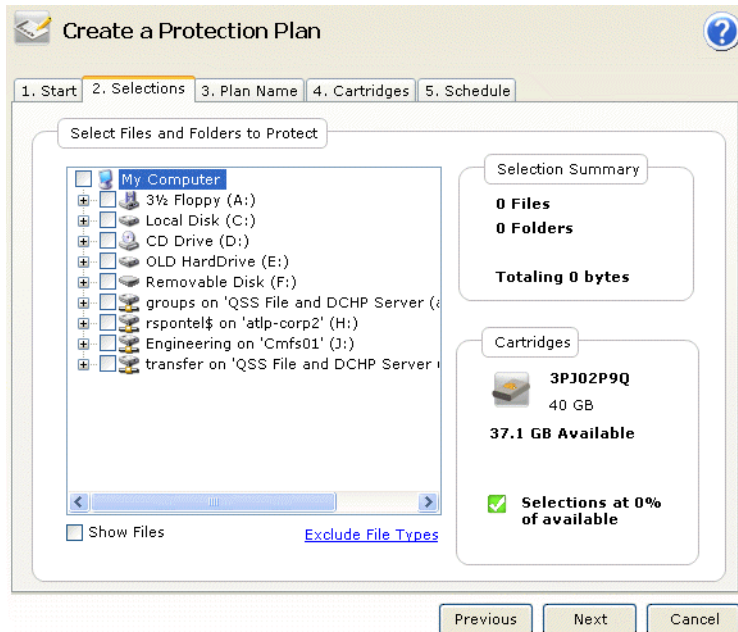


表 9 保護するファイルやフォルダの選択機能

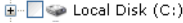
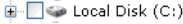

クリックする ...	実行する機能 ...
<p>たとえば、次のような展開 (+) ボックス :</p> 	<p>表示されたファイル構造を展開して、ドライブのすべてのフォルダ、フォルダのすべてのサブフォルダ、および ファイルを表示 チェック ボックスが選択されている場合は、フォルダのすべてのファイルを展開します。</p>
<p>たとえば、次のような折り畳み (-) ボックス :</p> 	<p>表示されたファイル構造を折り畳んで、ドライブのすべてのフォルダ、フォルダのすべてのサブフォルダ、および ファイルを表示 チェック ボックスが選択されている場合は、フォルダのすべてのファイルを隠します。</p>
<input type="checkbox"/> Show files	<p>表示されたファイル構造を個々のファイルレベルに展開します。</p>
Exclude file types...	<p>除外するファイル タイプの選択 ダイアログを表示して、特定のファイルタイプを保護プランから除外します (図 56 を参照)。</p> <p>表 10 は、ファイルタイプの除外機能について簡単に説明しています。</p>
<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; width: fit-content;">3. Plan Name</div> <p>または :</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">Next</div>	<p>プラン名 タブを開いて、プランの名前と短い説明を指定します。</p>
<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; width: fit-content;">1. Start</div> <p>または :</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">Previous</div>	<p>プランの開始点を変更する場合は、開始 タブをもう一度開きます。</p>
<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">Cancel</div>	<p>プラン作成機能をキャンセルして、ホーム ページを再表示します。</p>
	<p>オンラインヘルプ ファイルを表示し、「保護プランの作成」というトピックを開きます。</p>

図 56 除外するファイル タイプの選択画面

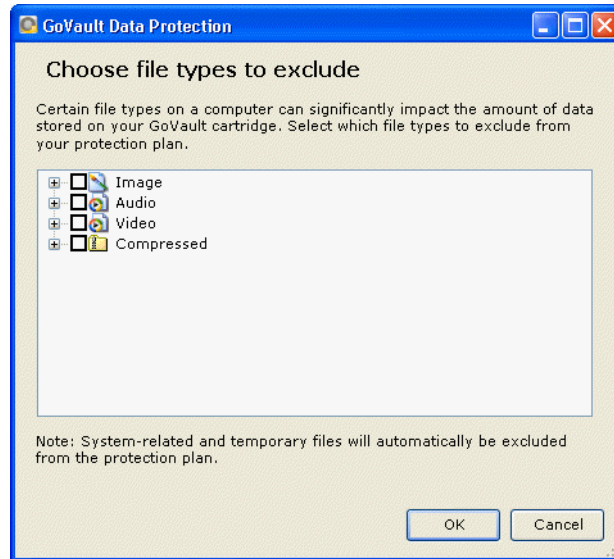


表 10 除外するファイル タイプの選択機能

クリックする ...	実行する機能 ...
たとえば、次のような展開 (+) ボックス： <input type="checkbox"/> Image	選択したファイル タイプを展開して、除外するファイル タイプで最も一般的な特定のインスタンスを表示します。
たとえば、次のような折り畳み (-) ボックス： <input checked="" type="checkbox"/> Image	選択したファイル タイプを折り畳んで、除外するファイル タイプで最も一般的な特定のインスタンスを隠します。
<input type="button" value="OK"/>	選択を保存して、 除外するファイル タイプの選択 ダイアログを閉じます。
<input type="button" value="Cancel"/>	除外するファイル タイプ機能をキャンセルして、 除外スフファイル タイプの選択 ダイアログを閉じます。

保護するハードドライブの選択

保護するハードドライブの選択 画面には、システムのハードドライブのチェックボックスがあり、それぞれのサイズと空き容量、および選択したドライブが消費しているディスク容量の概要画面が表示されます ([図 57](#) を参照)。

[表 11](#) は、保護するハードドライブの選択機能について簡単に説明しています。

図 57 保護するハードドライブの選択画面

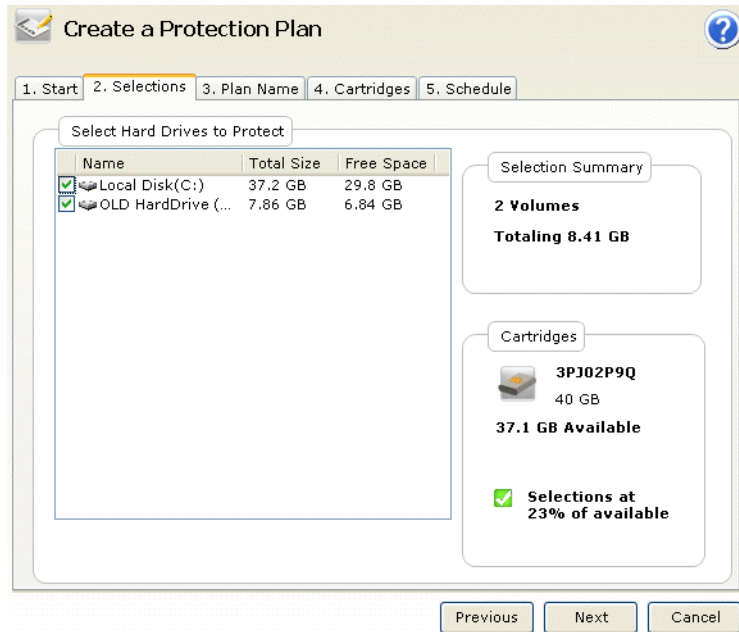



表 11 保護するハードドライブの選択機能

クリックする ...	実行する機能 ...
<input checked="" type="checkbox"/> Local Disk(C:) 例 :	ローカル ディスク (C:) チェック ボックスをオフにして、すべてのドライブのフォルダとファイルを保護プランから削除し、 選択概要 画面を自動更新します。

クリックする ...	実行する機能 ...
<input type="checkbox"/> Local Disk(C:) 例：	ローカル ディスク (C:) チェック ボックスをオンにして、すべてのドライブのフォルダとファイルを保護プランに追加し、 選択概要 画面を自動更新します。
3. Plan Name または： <input type="button" value="Next"/>	プラン名 タブを開いて、保護プランの名前と短い説明を指定します。
1. Start または： <input type="button" value="Previous"/>	プランの開始点を変更する場合は、 開始 タブをもう一度開きます。
<input type="button" value="Cancel"/>	プラン作成機能をキャンセルして、 ホーム ページを再表示します。
	オンライン ヘルプ ファイルを表示し、「保護プランの作成」というトピックを開きます。

プラン名タブの機能

プランの名前と説明の設定 画面には、保護プランの名前と短い説明を指定するためのテキスト ボックスが表示されます ([図 58](#) を参照)。

[表 12](#) は、プランの名前と説明の設定機能について簡単に説明しています。

図 58 プランの名前と説明の設定画面

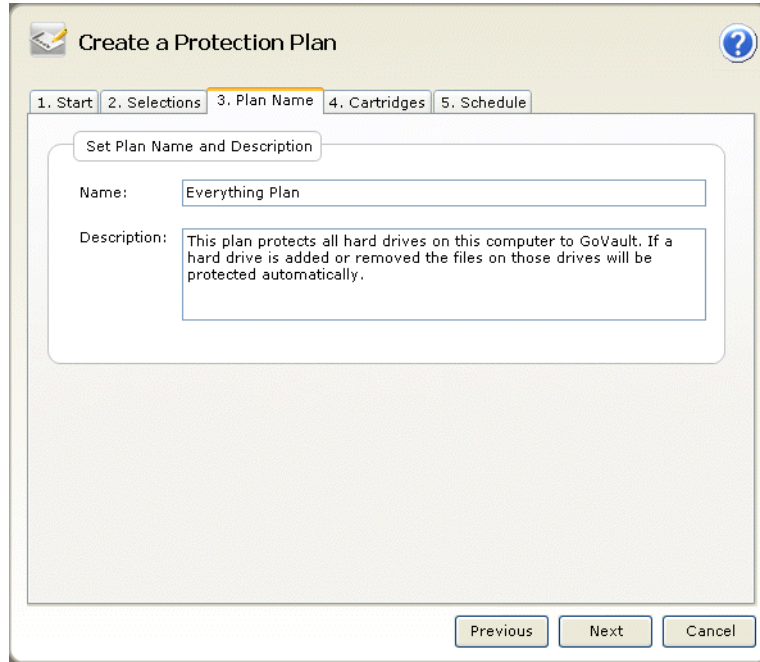
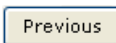
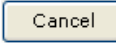



表 12 プランの名前と説明の設定機能

クリックする ...	実行する機能 ...
名前 テキスト ボックス	プランのデフォルトの名前を置き換えることができます。
説明 テキスト ボックス	プランのデフォルトの説明を置き換えることができます。
4. Cartridge または : 	カートリッジ タブを開いて、プランで使用する GoVault カートリッジを指定します。
2. Selections または : 	プランの名前や説明を変更する場合は、もう一度 (選択) タブを開きます。
	プラン作成機能をキャンセルして、 ホーム ページを再表示します。

クリックする ...	実行する機能 ...
	オンライン ヘルプ ファイルを表示し、「保護プランの作成」というトピックを開きます。

カートリッジ タブの機能

GoVault カートリッジの選択 画面には、保護プランで使用されるカートリッジを指定するためのオプション ボタンとテキスト ボックスが表示されます (図 59 を参照)。

表 13 は、GoVault カートリッジの選択機能について簡単に説明しています。

図 59 GoVault カートリッジの
選択画面

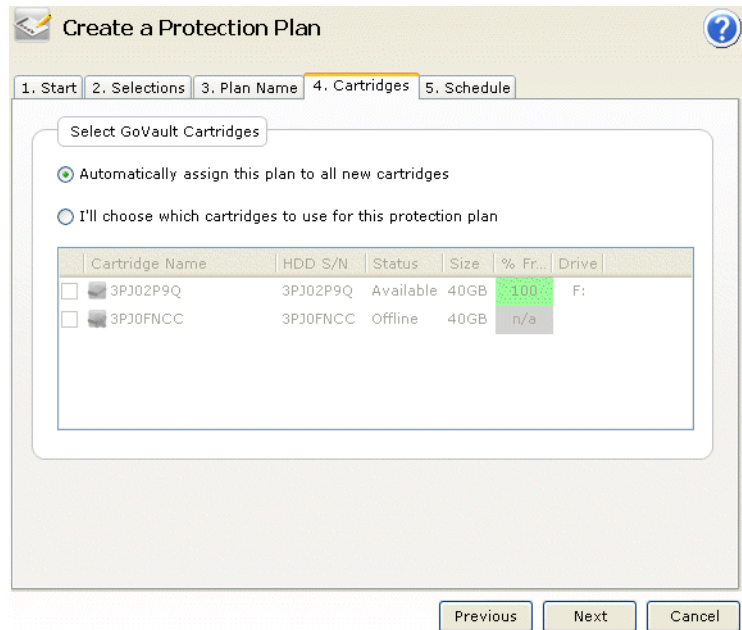

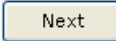
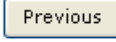
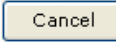



表 13 GoVault カートリッジの
選択機能

クリックする ...	実行する機能 ...
デフォルトの 自動割り当て ... オプション ボタン	プロンプトに従って、新しい GoVault カートリッジのすべてに保護プランを自動的に割り当てます。
手動で選択 ... オプション ボタン	GoVault データ プロテクション ソフトウェア環境に登録されている GoVault カートリッジをすべて示すリスト ボックスをアクティブにします。
<input type="checkbox"/>  3PJ02P9Q 例 :	選択した GoVault カートリッジに保護プランを割り当てます。
5. Schedule または : 	スケジュール タブを開いて、いつプランを実行するかを指定します。
3. Plan Name または : 	プランの名前や説明を変更する場合は、もう一度 Plan プラン名 タブを開きます。
	プラン作成機能をキャンセルして、 ホーム ページを再表示します。
	オンライン ヘルプ ファイルを表示し、「保護プランの作成」というトピックを開きます。

スケジュールタブの機能

保護プラン実行スケジュールの選択 画面には、保護プランを定期的に行うスケジュールを指定するためのオプション ボタンと選択ボックスが表示されます ([図 60](#) を参照)。

[表 14](#) は、保護プラン実行スケジュールの選択機能について簡単に説明しています。

図 60 保護プラン実行スケジュールの選択画面

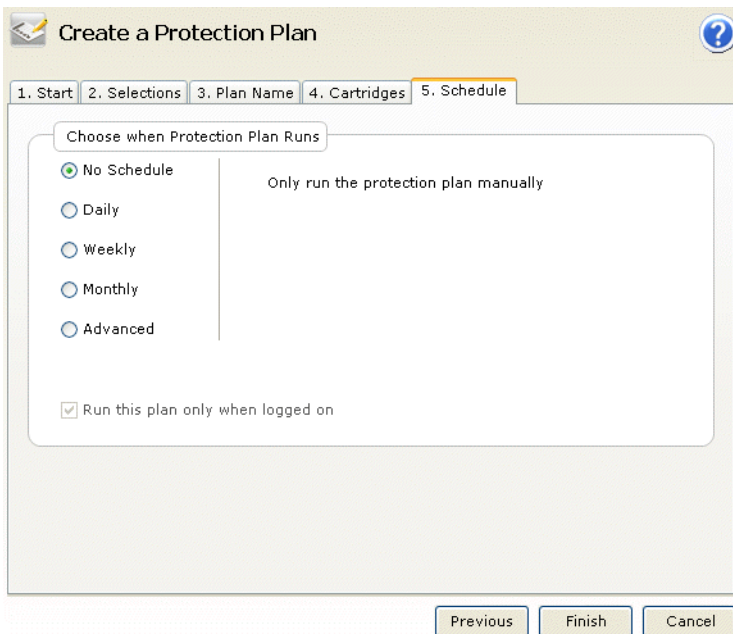




表 14 保護プラン実行スケジュールの選択機能

クリックする ...	実行する機能 ...
<input type="radio"/> No Schedule	保護プランのスケジュールを設定しないデフォルト操作を指定します。
<input type="radio"/> Daily	保護プランが毎日実行されるように指定し、実行する時刻を指定できる 時刻 リスト ボックスが表示されます。 At: <input type="text" value="1:00 AM"/>
<input type="radio"/> Weekly	保護プランが毎週実行されるように指定し、実行する曜日と時刻を指定できる 時刻 と 曜日 リスト ボックスが表示されます。 At: <input type="text" value="1:00 AM"/> On: <input type="text" value="Monday"/>

クリックする ...	実行する機能 ...
<p> Monthly</p>	<p>保護プランが毎月実行されるように指定し、実行する日付と時刻を指定できる 時刻 と 日付 リストボックスを表示します。</p> <p>At: <input type="text" value="1:00 AM"/></p> <p>Day: <input type="text" value="4"/> of each month</p>
<p> Advanced</p>	<p>保護プランのスケジュールの詳細タスク機能にアクセスして実装できる追加ダイアログへの 実行ユーザー リンクと 次回実行時 リンクを表示します。各メニュー項目を選択した場合に表示される内容を次の表に示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクティブな 実行ユーザー リンクをクリックすると、ユーザー名とパスワードのダイアログが表示されます。ここで、ログインしていないときに GoVault データ プロテクション ソフトウェアが保護プランを実行するためのログオン情報を指定できます (図 23 on page 33 を参照)。 • アクティブな 次回実行時 リンクをクリックすると、Windows 標準の タスクのスケジュール ダイアログが表示されます。ここで、保護プランの詳細スケジュールタスク機能にアクセスして実装できます (図 61 と 表 15 を参照)。 <p>表 16 は スケジュール タブの機能、表 18 は 設定 タブの機能について簡単に説明しています。</p>
<p><input checked="" type="checkbox"/> ログオン時にのみこのプランを実行</p>	<p>ユーザー名とパスワードのダイアログが表示されます。ここで、ログインしていないときに GoVault データ プロテクション ソフトウェアが保護プランを実行するためのログオン情報を指定できます (図 23 on page 33 を参照)。</p>

クリックする ...	実行する機能 ...
<p>4. Cartridge</p> <p>または :</p> <p>Previous</p>	<p>プランで使用される GoVault カートリッジの指定を変更する場合は、もう一度 カートリッジ タブを開きます。</p>
<p>Finish</p>	<p>保護プランを保存して、ホーム ページの 保存した保護プラン 画面に追加します。</p>
<p>Cancel</p>	<p>プラン作成機能をキャンセルして、ホーム ページを再表示します。</p>
<p>?</p>	<p>オンライン ヘルプ ファイルを表示し、「保護プランの作成」というトピックを開きます。</p>

図 61 スケジュール済みタスクダイアログ

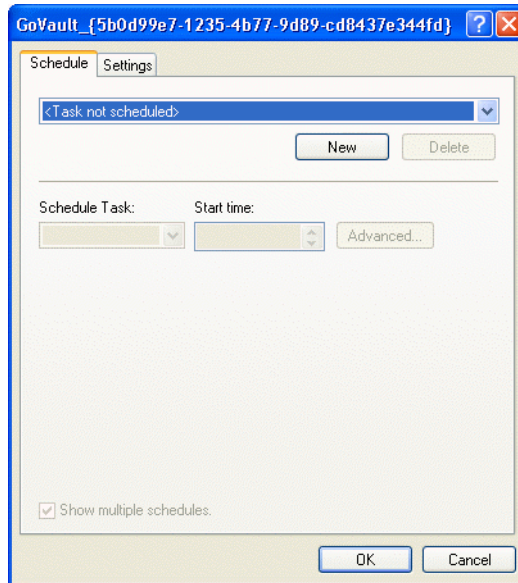


表 15 スケジュール済みタスクダイアログの機能


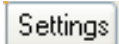
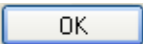
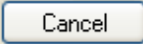
クリックする ...	実行する機能 ...
	<p>保護プランの詳細スケジュール タスクの実装に使用できる スケジュール タブの以下の要素をアクティブにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • タスクのスケジュール および 開始時刻 選択ボックス • 詳細 コマンド ボタン • 複数のスケジュールを表示 チェックボックス <p>(図 62 と 表 16 を参照してください。)</p>
	<p>保護プランのタスクの詳細スケジュール タスクのオプションを指定できる 設定 画面を開きます (図 64 と 表 18 を参照)。</p>
	<p>選択を保存して Windows スケジュールタスク ダイアログを閉じます。</p>
	<p>選択を破棄して Windows スケジュールタスク ダイアログを閉じます。</p>

図 62 スケジュール タスクの
スケジュール タブ画面

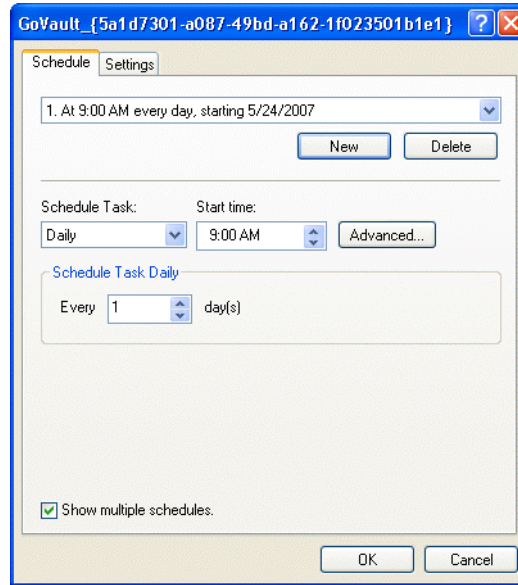


表 16 スケジュール タスクの
スケジュール タブ機能

クリックする ...	実行する機能 ...
<p>タスクのスケジュール リストボックス :</p> <p>Daily</p>	<p>スケジュール タスクの選択を表示します。</p> <p>Daily Weekly Monthly Once At System Startup At Logon When idle</p>
<p>開始時刻 選択ボックス :</p> <p>9:00 AM</p> <p>Advanced...</p>	<p>タスクの開始時刻を変更します。</p>
<p>タスクの日次スケジュール 選択ボックス :</p> <p>Every 1 day(s)</p>	<p>詳細スケジュール オプション ダイアログ (図 63 と 表 17 を参照)。</p> <p>タスクの日次スケジュールを変更します。</p>

クリックする ...	実行する機能 ...
<input checked="" type="checkbox"/> Show multiple schedules.	スケジュール タブ画面の複数スケジュールリストボックスと単一スケジュール画面を切り替えます (図 62 を参照)。 
<input type="button" value="Delete"/>	選択したタスク スケジュールを削除します。
<input type="button" value="OK"/>	選択を保存して Windows スケジュールタスク ダイアログを閉じます。
<input type="button" value="Cancel"/>	選択を破棄して Windows スケジュールタスク ダイアログを閉じます。

図 63 詳細スケジュール オプション ダイアログ

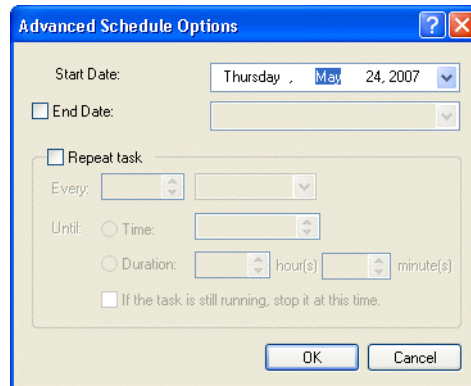


表 17 詳細スケジュール オプション ダイアログ


クリックする ...	実行する機能 ...
<p>開始日 リスト ボックス :</p> <p>Friday , May 25, 2007 ▼</p>	<p>タスクの開始日をスケジュールするためのカレンダーを表示します。</p>  <p>Today: 5/25/2007</p>
<p>終了日 チェック ボックス :</p> <p><input type="checkbox"/> End Date:</p>	<p>今度は 終了日 リスト ボックスを有効にして、タスクの終了日を指定するためのカレンダーを表示します。終了日のカレンダーは開始日のカレンダーと同じです。</p>
<p>タスクの繰り返し チェック ボックス :</p> <p><input type="checkbox"/> Repeat task</p>	<p>タスクの繰り返しの指定要素をアクティブにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 毎...分 / 時間の選択ボックス • 終了時刻 と 持続時間 オプション ボタンと選択ボックス • タスクがまだ実行中の場合 .. チェックボックス
<p>OK</p>	<p>選択を保存して 詳細スケジュール オプション ダイアログを閉じます。</p>
<p>Cancel</p>	<p>選択を破棄して 詳細スケジュール オプション ダイアログを閉じます。</p>

図 64 スケジュール タスク設定タブ画面

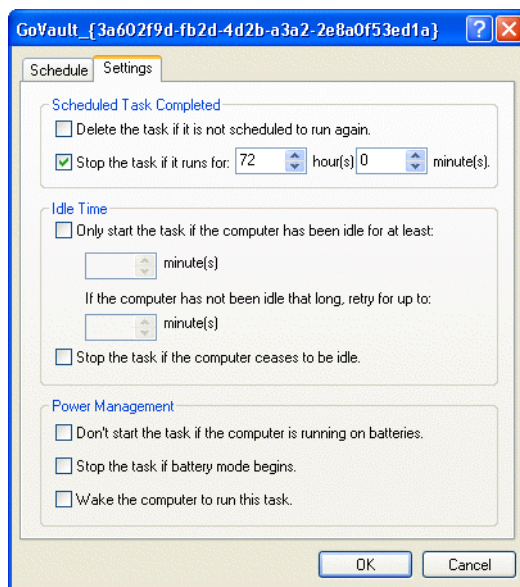




表 18 スケジュール タスク設定タブ機能

クリックする ...	実行する機能 ...
タスク完了スケジュール 設定用の タスクの削除 ... チェック ボックス	タスクの再実行がスケジュールされていない場合にタスク ファイルを削除するオプションをオンまたはオフにします。 1 回しか実行しないタスクでは、このオプションをオンにします。
タスク完了スケジュール 設定用の タスクの停止 ... チェックボックス	指定した時間後にタスクを停止するオプションをオンまたはオフにします。 このオプションを選択すると、 時間 および 分 の選択ボックスがアクティブになります。

クリックする ...	実行する機能 ...
<p>アイドル時間 設定用の タスク開始待ち時間 ... チェックボックス</p>	<p>コンピュータのアイドル状態が指定時間経過するまでタスクの実行を禁止するオプションをオンまたはオフにします。</p> <p>このオプションを選択すると、アイドル時間と再試行待ち時間を指定するための2つの 分 選択ボックスがアクティブになります。</p>
<p>タスク完了スケジュール 設定用の タスクの停止 ... アイドル時間 設定用のチェックボックス</p>	<p>タスクの実行中に誰かがコンピュータを使用し始めた場合にタスクを停止するオプションをオンまたはオフにします。</p>
<p>電源管理 設定用の タスクを開始しない .. チェックボックス</p>	<p>コンピュータがバッテリーで駆動しているときにタスクの開始を禁止するオプションをオンまたはオフにします。</p> <p>このオプションは、過剰に電力を消費するディスク アクセス操作を防いで、バッテリーを長持ちさせるために使用します。</p>
<p>Power Management (電源管理) 設定用のタスク完了スケジュール設定のチェックボックス</p>	<p>コンピュータがバッテリー電源に切り替わったときにタスクを停止するオプションをオンまたはオフにします。</p>
<p>Power Management (電源管理) 設定用のコンピュータをウェイクアップする ... のチェック</p>	<p>スケジュールされた実行時間にコンピュータがスリープ状態の場合にウェイクアップするオプションをオンまたはオフにします。</p>
<p></p>	<p>選択を保存して Windows スケジュールタスク ダイアログを閉じます。</p>
<p></p>	<p>選択を破棄して Windows スケジュールタスク ダイアログを閉じます。</p>

検索ページの機能

GoVault データプロテクションソフトウェアの **ホーム** ページで **検索** コマンドボタンをクリックすると、保護プランのアーカイブからリストアップするファイルを見つけるための **検索** ページが表示されます ([図 65](#) を参照)。

[表 19](#) は、検索機能について簡単に説明しています。

図 65 検索ページ画面

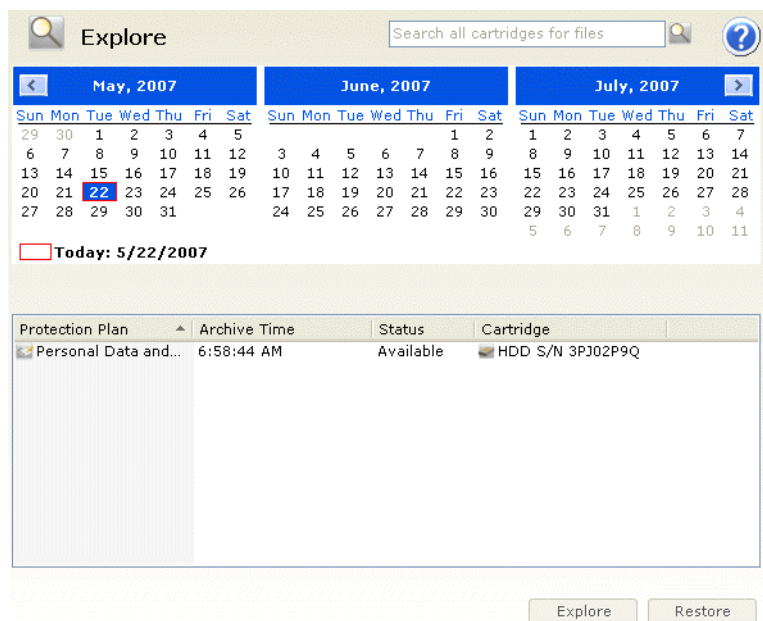



表 19 検索ページの機能

クリックする ...	実行する機能 ...
	<p>すべてのカートリッジのファイルを検索 テキスト ボックスをアクティブにします。ここで、GoVault カートリッジにアーカイブされている可能性のあるファイルの検索文字列を入力できます。</p> <p>ワイルドカードのアスタリスク (*) 文字やファイル タイプの拡張子を含め、ファイル名の全部または一部を入力した後、検索アイコンをもう一度クリックするか、Enter キーを押すと、検索結果が表示されます (図 66 を参照)。</p> <p>表 20 は、検索結果機能について簡単に説明しています。</p>
<p>太字フォントで表示されるカレンダーの日付</p>	<p>その日付に実行された保護プランのリストと、アーカイブが作成された日時、およびアーカイブが使用可能かオフラインかを示すステータスが表示されます (図 67 on page 95 を参照)。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 使用可能 は、アーカイブが現在ロードされている GoVault カートリッジに保存されていることを示します。 • オフライン は、アーカイブが別の GoVault カートリッジに保存されていることを示します。
<p>使用可能な任意の保護プランアーカイブ</p>	<p>選択したアーカイブからファイルを見つけてリストアできる 検索 ボタンと リストア ボタンをアクティブにします。</p>

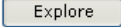
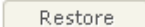

クリックする ...	実行する機能 ...
<p style="text-align: center;"></p>	<p>選択した保護プランの実行によって生成されたアーカイブのファイル構造を表す Windows エクスプローラ形式の画面を表示します (図 68 on page 96 を参照)。</p> <p>このウィンドウから、使い慣れた Windows エクスプローラの全機能を使用して、ファイル構造を展開したり折り畳んだりしながら特定のファイルやフォルダを探します。</p> <p>使い慣れた Windows エクスプローラのファイル操作機能を使用して、保護プランのアーカイブからコピー / 貼り付けやドラッグアンドドロップのリストア機能を実行できます。</p>
<p style="text-align: center;"></p>	<p>選択した保護プランのアーカイブから一時点に戻るリストア操作を実行できる 一時点に戻ってリストア ダイアログを表示します (図 69 on page 96 を参照)。</p> <p>97 ページの図表 21 は、一時点に戻ってリストアの機能について簡単に説明しています。</p>
<p style="text-align: center;"></p>	<p>オンライン ヘルプ ファイルを表示し、「検索とリストア」というトピックを開きます。</p>

図 66 すべてのカートリッジ検索結果画面

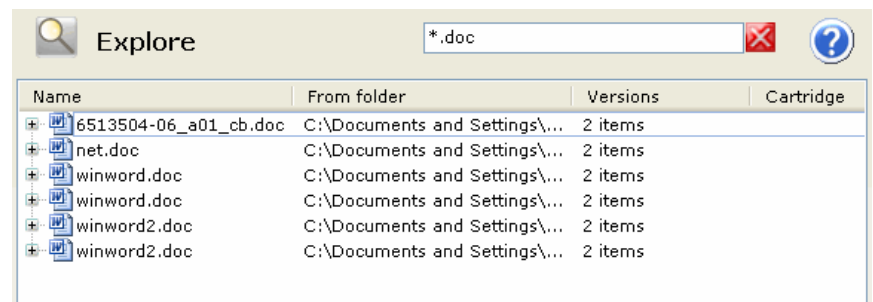


表 20 すべてのカートリッジ
検索結果機能







クリックする ...	実行する機能 ...
展開 (+) ボックス (例：   net.doc)、または折り 畳んだファイル一覧をダブル クリック	選択したファイル一覧を展開して、 ファイルの使用可能な各バージョンと、 それがアーカイブされている GoVault カートリッジを表示します。
折り畳み (-) ボックス (例：   net.doc)、または展 開したファイル一覧をダブル クリック	選択したファイル一覧を折り畳みます。
特定のファイルバージョン のダブルクリック、右ク リック、 名前を付けて保存 の選択	次のどちらを表示します。 <ul style="list-style-type: none">• アーカイブ内のファイルをどの場所 にでもリストアできる標準的な Windows 名前を付けて保存 ダイアロ グ• 必要なカートリッジの挿入を指示す る カートリッジの挿入 画面
	すべてのカートリッジ検索結果機能を キャンセルして、 検索 ページを再表示 します。
	オンライン ヘルプ ファイルを表示し、 「検索とリストア」というトピックを開 きます。

図 67 保護プランのステータス
表示




Protection Plan	Archive Time	Status
 Personal Data and...	7:32:15 AM	Available
 Personal Data and...	8:17:36 AM	Available
 Personal Data and...	8:22:49 AM	Available

図 68 アーカイブ検索ウィンドウ

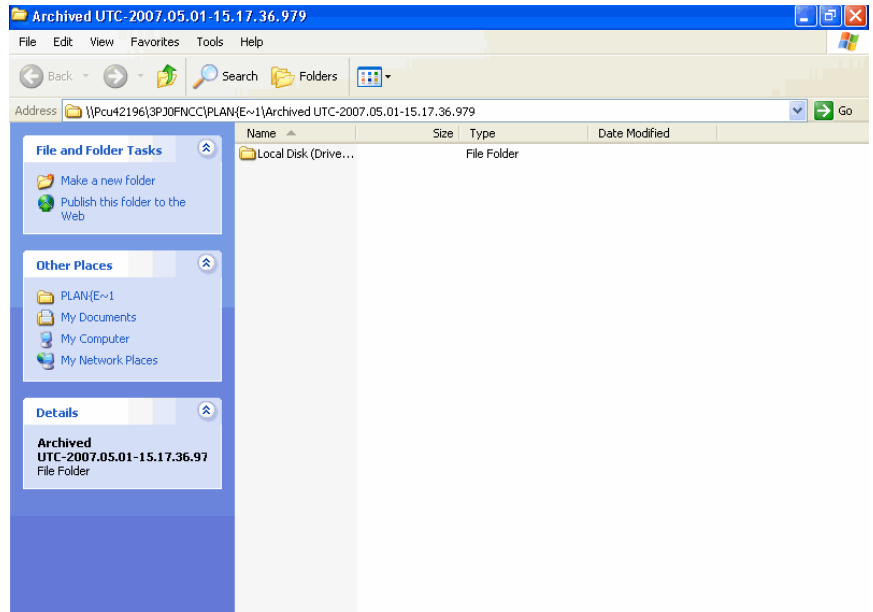


図 69 一時点に戻ってリストアダイアログ

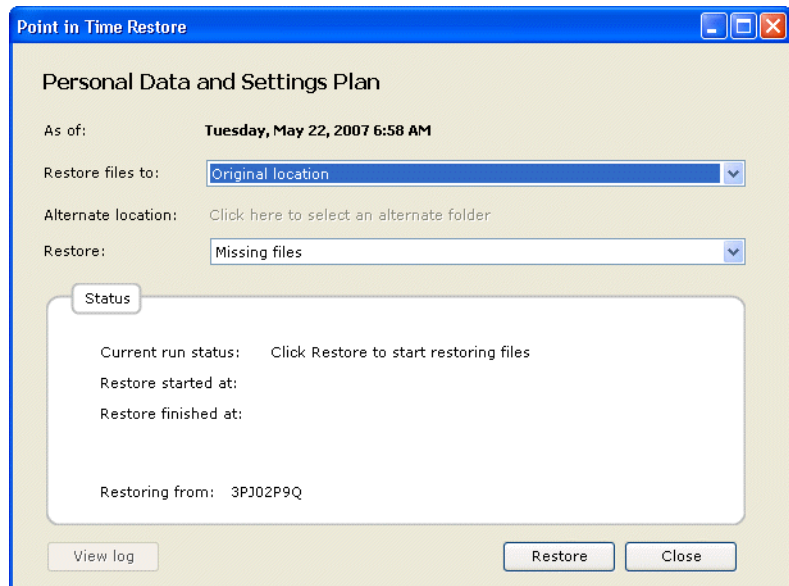


表 21 一時点に戻ってリストア機能

クリックする ...	実行する機能 ...
<input checked="" type="checkbox"/> ファイルのリストア先 リスト ボックス用	<p>ファイルのリスト先 リスト ボックスを開いて、別の場所 オプションを表示します。</p> <p>別の場所 オプションを選択すると、こちらから別のフォルダを選択する リンクがアクティブになります。</p>
Click here to select an alternate folder	<p>リストア処理の別の場所を指定できる標準的な Windows フォルダの参照 ダイアログが表示されます。</p>
<input checked="" type="checkbox"/> 既存ファイルの置換 リスト ボックス用	<p>2 つの追加オプションを表示する 既存ファイルの置換 リスト ボックスを開きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> アーカイブのファイルより古い場合にのみ、既存のファイルを置換する 常に既存のファイルをアーカイブのファイルで置換する
<input type="button" value="Restore"/>	<p>選択したオプションに従ってリストア処理を起動し、処理が進むと ステータス 表示を更新して、処理が完了したときに ログの表示 ボタンをアクティブにします。</p>
<input type="button" value="View log"/>	<p>リストア処理の終わりに生成されるログ ファイルのテキスト ファイル一覧を開きます (図 70 を参照) 。</p>

図 70 リストア処理ログ ファイル一覧

```

ArchiveIQ for Govault Command Tool Version 1.0.691.2 [windows 5.1]
Copyright (C) 2005-2007 Data Storage Group, Inc. All rights reserved.

Restore task started on Fri May 4 2007 at 11:15 AM.
Restoring files from '3PJ0FNCC'

Restore task completed on Fri May 4 2007 at 11:16 AM.

-----
Analysis:
Directories processed:      214
Restored files:             35
Restored data:              18.2 MB (19,095,005 bytes)

-----

Elapsed Time: 9.406 seconds
  
```

カートリッジページの機能

GoVault データ プロテクション ソフトウェア **ホーム** ページで **カートリッジ** コマンド ボタンをクリックすると、**カートリッジ** ページが表示されます ([図 71](#) を参照)。ここで以下の操作ができます。

- GoVault カートリッジのステータスを調べる
- 次の目的でカートリッジユーティリティにアクセスする
 - カートリッジの取り出し
 - カートリッジの消去
 - カートリッジのデータ暗号化を有効にする
- カートリッジの名前と説明を変更する
- カートリッジを追加購入する
- カートリッジを GoVault データ プロテクション ソフトウェアのアーカイブ環境から削除する

[表 22](#) は、カートリッジの機能について簡単に説明しています。

図 71 カートリッジ ページ画面

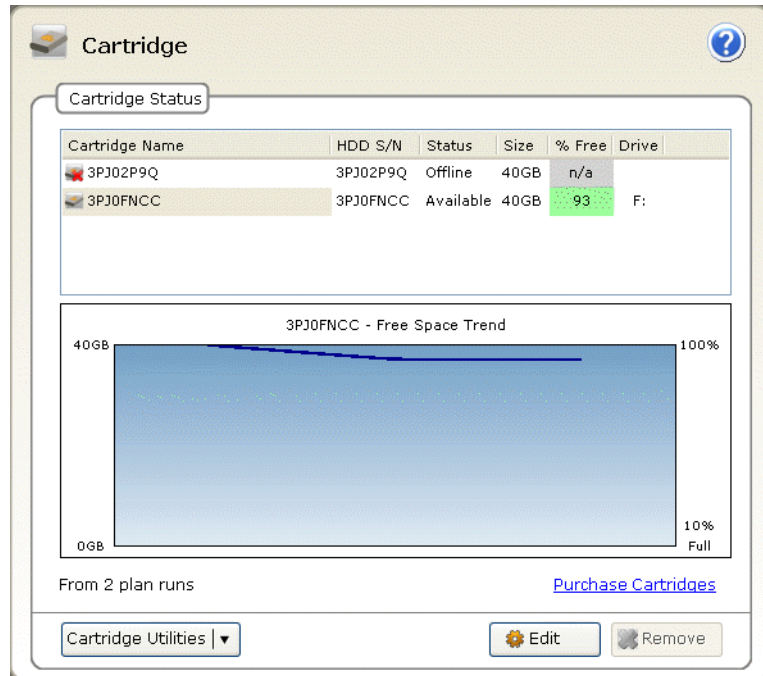


表 22 カートリッジ ページの機能

クリックする ...	実行する機能 ...
リスト内の任意のオフラインカートリッジ	<p>削除 ボタンをアクティブにし、編集 ボタンと カートリッジユーティリティ ボタンをアクティブにし、選択したカートリッジのステータスを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用可能なディスク領域をグラフで示す 空き領域トレンド アーカイブに関連付けられた保護プランの実行回数

クリックする ...	実行する機能 ...
<p>現在使用可能なカートリッジ</p>	<p>編集 ボタンと カートリッジ ユーティリティ ボタンを有効にし、削除 ボタンを無効にして、選択したカートリッジのステータスを表示します。次のものが含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 使用可能なディスク領域をグラフで示す 空き領域トレンド • アーカイブに関連付けられた保護プランの実行回数
<p>Cartridge Utilities または現在使用可能なカートリッジを右クリックする</p>	<p>以下のカートリッジユーティリティメニューを表示します。</p> <div data-bbox="836 696 1300 887" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Eject Cartridge</p> <p>Erase Cartridge</p> <p>Manage Encryption</p> </div>
<p>カートリッジの取り出し</p>	<p>カートリッジを GoVault ドックから取り出します。</p>
<p>カートリッジの消去</p>	<p>最初に、カートリッジを消去するかどうかの確認メッセージが表示されます。選択：</p> <ul style="list-style-type: none"> • いいえ または キャンセル は消去機能を中止します • はい は、標準的な Windows リムーバブル ディスクのフォーマット ダイアログを表示します。ここで、GoVault カートリッジを再フォーマット (消去) できます

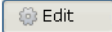
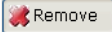

クリックする ...	実行する機能 ...
<p>暗号化の管理</p>	<p>ワークステーションのバックアップ設定 ページの 暗号化 タブに カートリッジ暗号化の管理 ダイアログを表示します。ここで GoVault カートリッジの暗号化を有効にできます (図 72 を参照)。</p> <p>注： プロンプトに従って、保護プランによって使用されていない新しいカートリッジの暗号化のみ有効にできます。カートリッジが保護プランによって使用されている場合は、このカートリッジの暗号化を有効にする チェック ボックスが無効になるため、暗号化を指定できません。</p>
<p></p>	<p>ワークステーションのバックアップ設定 ページの 設定 タブに カートリッジの名前と説明の設定 ダイアログを表示します (図 75 on page 106 を参照)。</p> <p>103 ページの i 23 は、設定 タブの機能について簡単に説明しています。</p>
<p></p>	<p>最初に、カートリッジを削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。選択：</p> <ul style="list-style-type: none"> • いいえ または キャンセル を選択すると、削除機能が停止します。 • はい を選択すると、選択したカートリッジが GoVault データ プロテクション ソフトウェア環境から削除され、カートリッジのステータス 画面のリストから消えます。
<p>Purchase cartridges</p>	<p>インターネット ブラウザを使ってクアンタム ウェブサイトの カートリッジの購入 ページにリンクすると、GoVault カートリッジを追加注文できます。</p>
<p></p>	<p>オンライン ヘルプ ファイルを表示し、「カートリッジのステータス」というトピックを開きます。</p>

図 72 カートリッジの暗号化ダイアログ

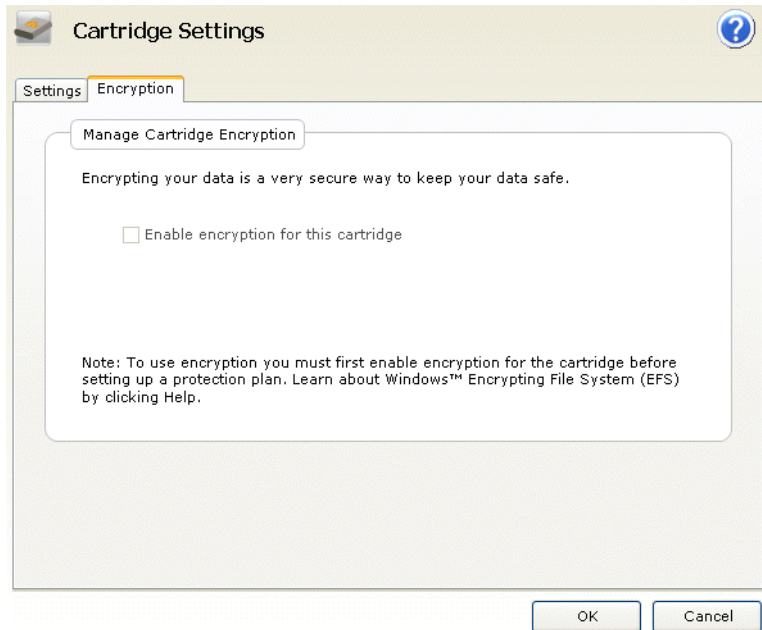


図 73 設定タブ画面

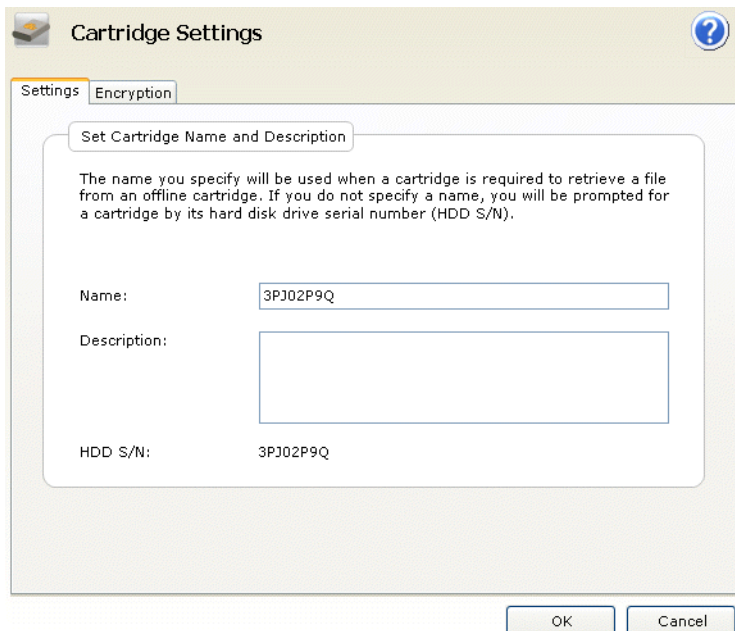



表 23 設定タブの機能

クリックする ...	実行する機能 ...
名前 テキスト ボックス	カートリッジ名の入力または変更ができます。
説明 テキスト ボックス	カートリッジの説明の入力または変更ができます。
<input type="button" value="OK"/> または : <input type="button" value="Apply"/>	変更を保存して カートリッジ ページを再表示します。
<input type="button" value="Cancel"/>	変更を破棄して カートリッジ ページを再表示します。
	オンライン ヘルプ ファイルを表示し、「カートリッジの編集オプション」というトピックを開きます。

オプションページの機能

GoVault データ プロテクション ソフトウェア ホーム ページの **オプション** コマンド ボタンをクリックすると、**オプション** ページが表示されます。ここで、新しいメディア検出とカートリッジ交替通知の動作オプションを設定できます ([図 74](#) を参照)。

[表 24](#) は、オプションの機能について簡単に説明しています。

図 74 オプション ページ画面

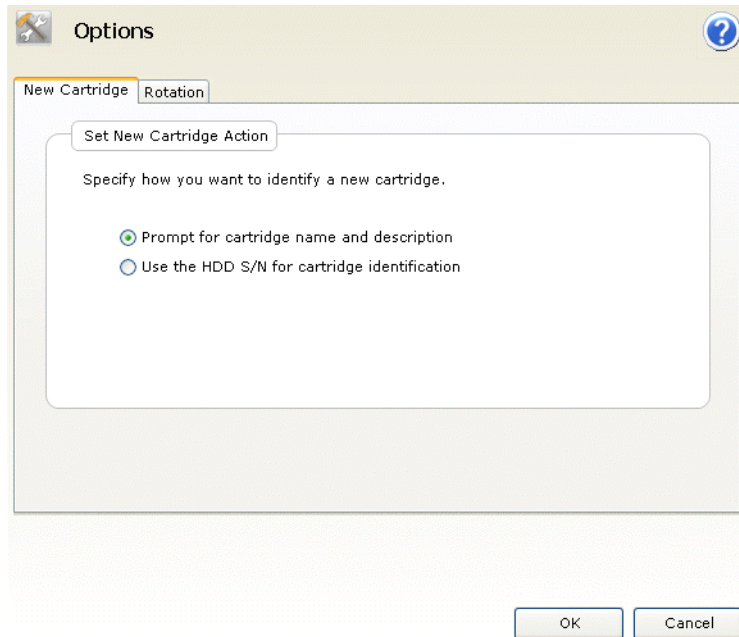


表 24 オプションページの機能

クリックする ...	実行する機能 ...
New Cartridge	<p>新しいカートリッジが GoVault ドックに挿入されたことが検出されたときのデフォルト動作を指定できる 新しいカートリッジ操作の設定 ダイアログが表示されます (図 74 を参照)。</p> <p>次のどちらかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • カートリッジの名前と説明のプロンプト • カートリッジの識別にハードディスクドライブのシリアル番号を使用する



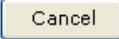

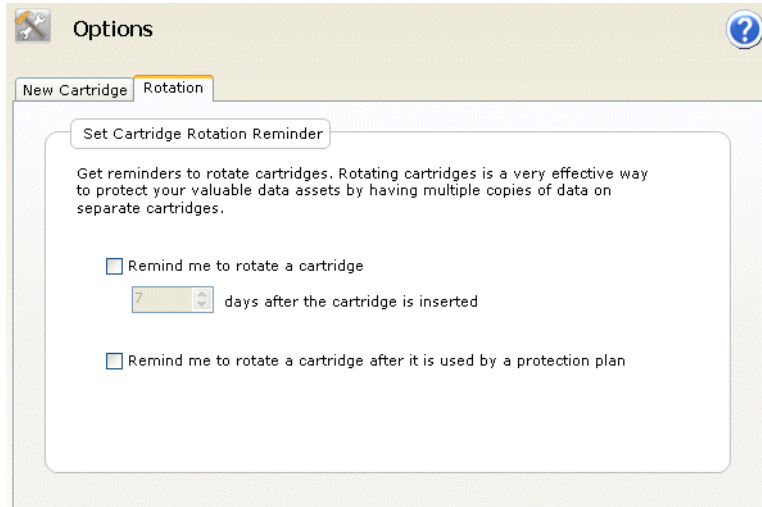
クリックする ...	実行する機能 ...
	<p>GoVault カートリッジの交替時期を通知するメッセージを生成できる カートリッジ交替通知の設定 ダイアログを表示します (図 75 を参照)。</p> <p>選択：</p> <ul style="list-style-type: none"> • カートリッジの交替を通知する を選ぶと、選択ボックスがアクティブになります。ここで、カートリッジの挿入後の日数を指定できます (1 ~ 31)。 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> 7 days after the cartridge is inserted </div> <ul style="list-style-type: none"> • 保護プランで使用された後カートリッジの交替を通知する を選ぶと、保護プランがカートリッジにアクセスするたびに通知メッセージが生成されます。
	<p>選択を保存して ホーム ページを再表示します。</p>
	<p>選択を破棄して ホーム ページを再表示します。</p>
	<p>オンライン ヘルプ ファイルを表示し、「オプション」というトピックを開きます。</p>

図 75 カートリッジ交替通知の
設定ダイアログ



結果ページの機能

GoVault データ プロテクション ソフトウェアの **ホーム** ページで **結果** コマンド ボタンをクリックすると、保護プランの結果を確認できる **結果** ページが表示されます ([図 76](#) を参照)。

[表 25](#) は、結果の機能について簡単に説明しています。

図 76 結果ページ画面

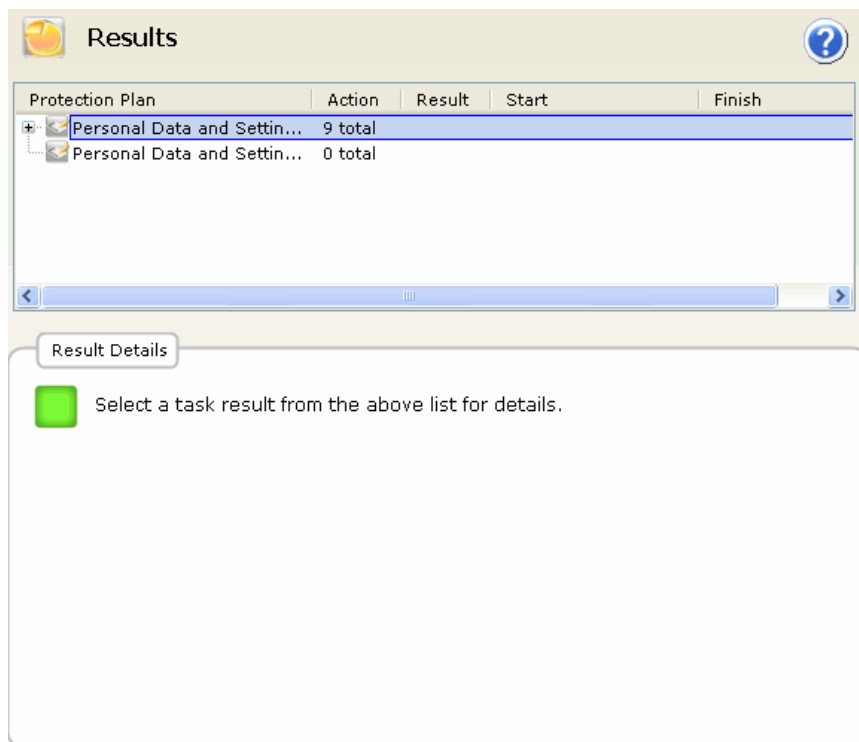


表 25 結果ページの機能

クリックする ...	実行する機能 ...
展開 (+) ボックスまたは折り畳んだプラン一覧のダブルクリック	選択したプラン一覧を展開して、保護プランの実行ごとの結果を表示します。
折り畳み (-) ボックスまたは展開したプラン一覧のダブルクリック	選択した保護プラン一覧を折り畳みます。
保護プランの特定の実行	プランの 結果の詳細 画面を更新します。この画面には、結果のログファイルへのリンクや、アーカイブアクションが成功した場合に結果を表すグラフが含まれています (図 77 を参照)。


クリックする ...	実行する機能 ...
View log	選択した保護プランの操作の終わりに生成されるログ ファイルのテキスト ファイル一覧を開きます (図 78 を参照)。
	オンライン ヘルプ ファイルを表示し、「結果」というトピックを開きます。

図 77 アーカイブ処理結果の詳細

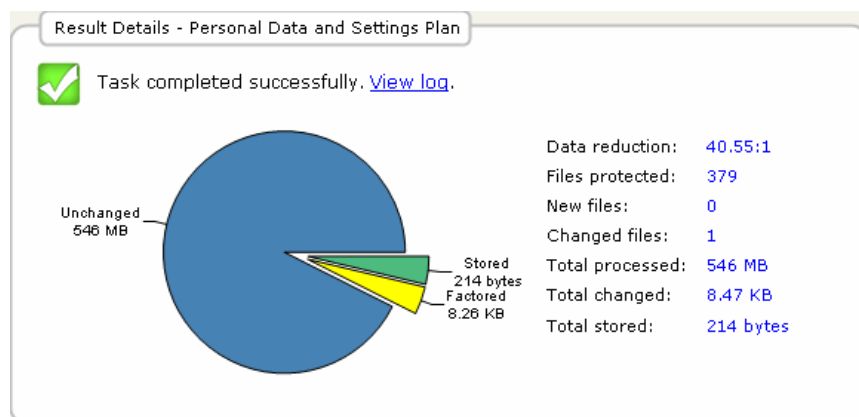


図 78 アーカイブ処理ログ
ファイル一覧

```

ArchiveIQ for GoVault Command Tool Version 1.0.691.2 [Windows 5.1]
Copyright (C) 2005-2007 Data Storage Group, Inc. All rights reserved.

Archive task started on Mon Apr 30 2007 at 1:41 PM.
Archiving files to '3PJ0FNCC'

Scanning C:\Documents and Settings\rsponse\Application Data\*
Scanning C:\Documents and Settings\rsponse\Desktop\*
Scanning C:\Documents and Settings\rsponse\Local Settings\Application Data\*
Scanning C:\Documents and Settings\rsponse\My Documents\*
Scanning C:\Documents and Settings\rsponse\Templates\*
Scanning C:\Documents and Settings\rsponse\Favorites\*
Scanning C:\Documents and Settings\Administrator\Application Data\*
Scanning C:\Documents and Settings\Administrator\Desktop\*
Scanning C:\Documents and Settings\Administrator\Local Settings\Application Data\*
Scanning C:\Documents and Settings\Administrator\My Documents\*
Scanning C:\Documents and Settings\Administrator\Templates\*
Scanning C:\Documents and Settings\Administrator\Favorites\*

Archive task completed on Mon Apr 30 2007 at 1:42 PM.

Total Transfer Time: 00:00:00.390

```

```

Analysis:
Directories processed:      213
Protected files:           379 (573,476,368 bytes)
Protected data:            546 MB (573,476,368 bytes)
Unchanged:                  546 MB (99.998% static content)

New files:                  0
Changed files:              1

New and changed:           8.47 KB (0.00151% dynamic content)
Factored:                  8.26 KB (8,464 bytes)
Total stored:              214 bytes
Data reduction:            40.6:1 (New and changed data to Total stored)
CCF Ratio:                 9999:1 (Protected data to Total stored)
Common Content:            546 MB (100% data de-duplication)

Total processed:           546 MB (573,476,368 bytes)

```

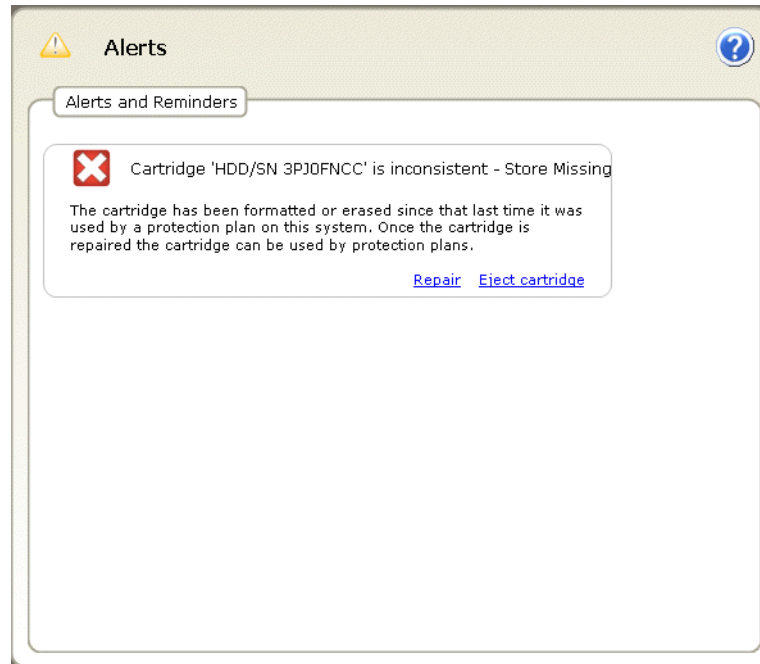
Elapsed Time: 12.594 seconds

警告ページの機能

GoVault データ プロテクション ソフトウェア **ホーム** ページの **警告** コマンド ボタンは、警告状態またはオプションの状態通知が発生するまでは無効になっています。そのような場合は、アクティブ状態の **警告** コマンド ボタンをクリックすると、**警告** ページが表示されます。ここで、状況を読んでそれに対応できます ([図 79](#) を参照)。

この図のように、**警告と通知** 画面の各メッセージには、状況への適切な対応が記載されています。一般的な警告状態と対応処置のリストについては、[警告状態に対する応答](#) (64 ページ) の [表 4](#) を参照してください。

図 79 警告ページ画面



ヘルプ ページの機能

GoVault データ プロテクション ソフトウェア **ホーム** ページの **ヘルプ** コマンド ボタンをクリックすると、**ヘルプ** ページが表示されます。ここには次の2種類のオンラインヘルプがあります(図 80 を参照)。

- 全般
- バージョン情報

表 26 と表 27 は、「全般」と「バージョン情報」のヘルプ機能について簡単に説明しています。

図 80 ヘルプ ページ画面

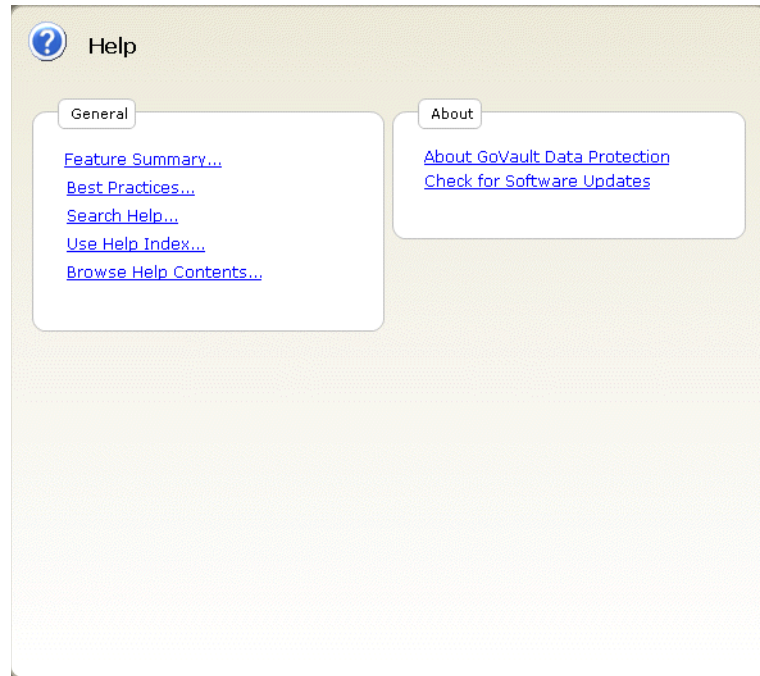
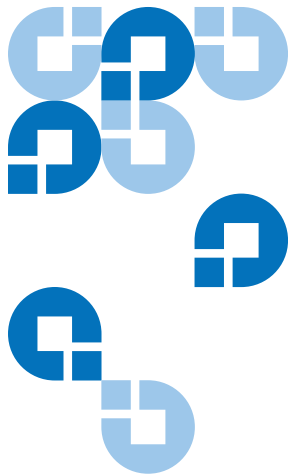


表 26 全般ヘルプ機能

クリックする ...	実行する機能 ...
Feature Summary...	オンライン ヘルプ ファイルを表示し、「GoVault データ プロテクションの機能」というトピックを開きます。
Best Practices...	オンライン ヘルプ ファイルを表示し、「推奨される実践方法」というトピックを開きます。
Search Help...	オンライン ヘルプ ファイルを表示し、「GoVault データ プロテクションによるこそ」というトピックを開きます。
Use Help Index...	オンライン ヘルプ ファイルの 索引 タブを表示します。
Browse Help Contents...	オンライン ヘルプ ファイルの 目次 タブを表示します。

表 27 「バージョン情報」ヘルプ機能

クリックする ...	実行する機能 ...
About GoVault Data Protection	GoVault データ プロテクション ソフトウェアと、インストールされているソフトウェア モジュールすべてのバージョン番号がわかる GoVault Data Protection のバージョン情報 画面を表示します。
Check for Software Updates	インターネットを使用してクアンタムウェブサイトの GoVault 製品ページ、 http://www.quantum.com/govault を開きます。



推奨される実践方法

この章では、保護プランの作成するとき、GoVault™ データプロテクションソフトウェアの性能を最大化するために考慮すべき点、たとえば、以下のような事項について説明します。

- [GoVault カートリッジの選択](#)
- [保護プランの作成](#) (116 ページ)
- [Windows システム復元の使用](#) (118 ページ)

GoVault カートリッジの選択

GoVault カートリッジの容量と必要数を決定するときに考慮する 4 つのキー要素：

- 保護するデータセットの総サイズ
- データセットの構成 - ファイルの静的コンテンツと動的コンテンツの比率、ファイルの圧縮可能容量
- カートリッジ交替スケジュール
- 長期にわたるアーカイブ要件

データ セット サイズの考慮

ほとんどの場合、データセットの総サイズとほぼ等しいカートリッジサイズを選択すると、ファイルの静的コンテンツと動的コンテンツが普通の割合で混在し、圧縮不可能なファイルが多くない標準的なデータセットを保護するのに十分です。

注： 静的ファイルとは映像、音楽、画像などのファイルを指します。一度作成すると、変更や編集はめったにありません。動的コンテンツとは、ワードプロセッサで作成した文書、スプレッドシート、プロジェクト企画、プレゼンテーションなどのファイルを指します。これらは頻繁に改訂や更新が加えられます。

このような場合、たとえば 80 MB のデータセットの保護に 80 MB の GoVault カートリッジを選択すると、最初のバックアップではデータセット全体をサポートできますが、数か月毎日バックアップするうちに、カートリッジの最大容量に達してしまいます。

データ セットの構成の考慮

80 MB のデータをバックアップするには、平均的に最初の基本バックアップでは約 2:1 のデータ圧縮率となり、40 MB のディスク領域が使用されます。ただし、それ以降のバックアップでは新しいデータと、前回のバックアップ以降に元のセットから変更された部分のみが圧縮されて保存されます。

既存のファイルを変更することが多い場合や、同じファイルの複製コピーが複数のフォルダに入っている場合は、長期にわたって何度もバックアップを重ねると、仮想データの圧縮率は 20:1 以上になる可能性があります。

新しいファイルを追加することが多く、既存のファイルをめったに変更しない場合は、正味の圧縮率は全体として最初の 2:1 に近い状態が続きます。

GoVault カートリッジを選択するときは常に、保護するデータの構成を調べ、既に圧縮されているファイルの割合が大きい場合や、既存のファイルよりも新しいファイルを加える頻度が高い場合は、大きいカートリッジサイズを選んでください。

カートリッジ交替の考慮

貴重なデータを保存するには複数カートリッジを使用するのが最良の実施策で、データ保護の計画には不可欠です。

最も単純な形態では、カートリッジの交替を、基本となるシステムアーカイブの第 2 のコピーを入れた第 2 の GoVault カートリッジで構成し、これを別の安全な場所に保管します。そして、定期的にこの 2 つを交換します。これは最小限のデータ保護にはなりますが、交替中に加えられた新しいファイルや更新操作が含まれないというリスクがあります。

これをさらに強化するには、カートリッジの数と交替頻度を増やします。頻繁に変わるファイルの旧バージョンへのアクセスが欠かせないアクティブで変動の早い環境では、1 日 1 度のカートリッジ交替スケジュールも珍しくありません。

どのカートリッジ交替スキームが必要な場合も、カートリッジの交替時期を通知するように保護プランを設定できます。さらに、どのファイルがどのカートリッジにあるかを心配する必要はありません。GoVault データプロテクションソフトウェアが自動的に管理し、ファイルを見つけてリストアする時が来ると、どのカートリッジが必要かを知らせてくれます。

長期アーカイブの考慮

GoVault カートリッジの容量が満杯になり、これ以上の保護プランを実行できない場合は、次の 2 通りのオプションがあります。

- カートリッジを消去 / 再フォーマットして最初から始める
- 新しいカートリッジに交換し、満杯になったカートリッジはアーカイブの長期保護用に保管する

カートリッジを消去して再使用すると、交換コストを節約できますが、カートリッジの内容を永久に破棄することになります。

カートリッジを消去して再使用する前に、カートリッジに保存されているデータの価値を評価します。つまり、特定のファイルバージョンがいつか必要になる可能性や、そのようなロスがビジネスに与える影響を考慮してください。これらが重要な要素であれば、常にカートリッジを追加購入し、満杯のカートリッジをアーカイブの長期保護用に保管してください。

保護プランの作成

最初の保護プランを作成する前に考慮すべき重要な要素は、GoVault データ プロテクション ソフトウェアが提供する操作の柔軟性です。1 つだけ保護プランを作成するのではなく、複数の保護プランを何度でも必要なだけ作成できます。各保護プランで以下のことが可能です。

- 固有の名前と説明を付ける
- ファイル、フォルダ、ハードディスク ドライブ (ローカルとネットワーク接続) などを自由な組み合わせで (1 つのファイルやフォルダから、すべてのドライブのすべてのファイルまで) 保護する
- 時刻、曜日、日付、月、年などを指定して自動実行をスケジュールする (同日に複数回の実行も可能)
- 特定のカートリッジや任意 / 全部のカートリッジにアクセスする

このような柔軟性を備えていますが、最初は、すべてのハードドライブのすべてのファイルとフォルダを保護する「すべて E のプランを作成して実行するのが一般的に賢明と見なされています。このプランを必要な頻度で実行するようにスケジュールします。

次に、コンピュータのファイル構成、ファイル タイプ、および更新頻度と新しいファイルの作成頻度を考慮して、業務運営に合う複数の保護プランを作成します。

2 回目以降のリストア操作のサポート

復元操作に必要な事項をすべて考慮し、新しいプランがそれらの要件を満たすように調整します。

「すべて E のタイプのバックアップからは常にどんなファイルでも復元できますが、特定のファイルやフォルダ タイプをターゲットとする保護プランでは、静的ファイル タイプをすべてスキャンして変更を検出しなくても済むため、高速に実行できます。

複数の GoVault カートリッジのサポート

1 つのカートリッジに入りきれないデータを保護する必要がある場合や、別々のカートリッジに割り振りできるような異なる種類のデータの集合であるような場合は、それぞれに別々の保護プランを作成します。たとえば、次のようなバックアップを検討してみてください。

- 主に静的コンテンツのファイルを 1 つのカートリッジに、主に動的コンテンツのファイルをもう一つのカートリッジにバックアップ
- 特定の製品、プロジェクト、顧客や顧客グループに関連するファイルを特定のカートリッジにバックアップ

ネットワーク接続ファイルの保護

ネットワーク接続しているリモート コンピュータ上のファイルを保護する必要がある場合は、まずそのコンピュータへの管理者レベルのアクセスを設定します。次に、ローカル ドライブをリモート コンピュータ上の共有フォルダにマッピングします。特定の間隔でプランが自動実行されるようにスケジュールする場合は、マッピングしたドライブがログオン時に再接続するように設定してください。その後、ネットワーク接続しているリモート ファイルを保護するカスタム プランを作成します。

セキュリティ情報を保存し、ユーザーが暗号化したファイルを (そのユーザーの代わりに) リストアできるようにするには、リモート コンピュータがローカル ホスト コンピュータと同じドメインにあるか、信頼できるドメインにあることが必要です。

注： GoVault データ プロテクション ソフトウェアによるリモート アクセス用に空白パスワードの管理者アカウントを作成しないでください。リモートリソースにアクセスする保護プランを作成する場合は、有効なユーザー名 / パスワードの組み合わせを提供する必要があります。空白パスワードの管理者アカウントはリモート システムで認証できず、ファイル作成者とアクセス制御リスト (ACL) のセキュリティ情報を書き込む権限がありません。

Windows システム復元の使用

GoVault データ プロテクション ソフトウェアは、データ保護のアプリケーションで、重要なデータファイルのバックアップと復元を行うのが目的です。システム復元ツールとしての目的や機能は果たしません。

コンピュータのオペレーティング システムとインストールされているアプリケーションをリストアするには、常に Windows システム復元ユーティリティを使用してください。

また、「すべて E タイプのリストア操作を実行した後でオペレーティング システムやアプリケーションに不整合が発生した場合は、Windows システム復元を使用してください。



付録 A よくある質問

この付録では、GoVault データ プロテクション ソフトウェアについてよくある質問の回答を提供します。

- [これはどんなソフトウェアですか。どうやって使うのですか？](#)
- [「個人のデータと設定」、「すべて」、「カスタム」プランなどの保存オプションは、どのように使い分けますか。各オプションは何を保護しますか。\(121 ページ\)](#)
- [どうやってファイルをリストアしますか？\(122 ページ\)](#)
- [「すべて」のリストアを実行するとどうなりますか？\(123 ページ\)](#)
- [いつカートリッジを交替させればよいでしょうか？\(123 ページ\)](#)
- [カートリッジが満杯に近づくと、どうすればよいでしょうか？\(124 ページ\)](#)
- [GoVault データ プロテクション ソフトウェアではなく、Windows のシステム復元機能を使用するのは、どんな時ですか？\(125 ページ\)](#)
- [GoVault データ プロテクション ソフトウェアは Microsoft Outlook のファイルやその他のオープン ファイルをどのように処理しますか？\(126 ページ\)](#)
- [Outlook .pst ファイルはどのようにリストアしますか？\(126 ページ\)](#)
- [別のコンピュータにあるファイルは、どのように保護してリストアしますか？\(127 ページ\)](#)

- [GoVault データ プロテクション ソフトウェアはデータの整合性をどのようにして維持していますか? \(127 ページ\)](#)
- [GoVault Manager サービスと ViewStor サービスの ArchiveIQ とは何ですか? \(128 ページ\)](#)
- [インストール中、「ArchiveIQ ViewStor サービスの開始に失敗しました」というメッセージが表示されます。\(128 ページ\)](#)
- [インストールの完了後に「GoVault カートリッジを検索するには、複数のサービスを開始する必要があります」というメッセージが表示されます。\(129 ページ\)](#)
- [\[はい\] をクリックしてサービスを開始しましたが、「ArchiveQ for GoVault ViewStor サービスの開始に失敗しました。このサービスがなければ、アーカイブしたファイルの参照や検索ができません。」というメッセージが表示されます。\(129 ページ\)](#)

これはどんなソフトウェアですか。どうやって使うのですか？

GoVault データ プロテクション ソフトウェアは、リムーバブルな GoVault カートリッジに使用して、アーカイブと容量の最適化を図るソフトウェアです。デジタルコンテンツの長期保管を最適化するために、GoVault データ プロテクション ソフトウェアは、特定のデータセットに保存された重複する情報をほぼ完全になくす革新的なテクノロジーです。

GoVault データ プロテクション ソフトウェアは、データを最適にセグメント化するヒューリスティックなアプローチと、各セグメントを一意に識別して 1 度だけ保存する **Common Content Factoring™** を使用しています。特定のデータセットバージョンで、新しいセグメントは、これらの新しいセグメントと、それ以前に保存された他のセグメントからこのバージョンを再構築するために使用するメタデータと一緒に保存されます。

共通データを分析して除去することで、GoVault カートリッジの有効容量が著しく増え、機能性を失うことなく、アーカイブ システムの性能が向上します。つまり、GoVault データ プロテクション ソフトウェアによって、ディスクベースのアーカイブが高速、簡単、経済的にできるようになります。

「個人のデータと設定」、「すべて」、「カスタム」プランなどの保存オプションは、どのように使い分けますか。各オプションは何を保護しますか。

GoVault データ プロテクション ソフトウェアで次のような基準で保存を行うように、保護プランはいくつでも作成できます。

- 最重要のファイルのみ
- すべてのハードディスク ドライブ上のすべてのファイル
- その中間

保護プランは初回の実行後、選択したすべてのファイルを追跡管理し、その後は重複しない新しいデータのみを保存します。プランを実行するたびに、フルリカバリ ポイントが作成されます。どのファイルもカートリッジに1度しか保存されないので、ファイルの重複を心配する必要はありません。

週に1度、または月に1度すべてのファイルを保存するようにシステムを設定してから、最重要ファイルを1日に数回保存して、過失による削除やウイルス攻撃から守る別の保護プランを作成することができます。

また、保護プラン別にカートリッジを指定することもできます。これは、データが1つのカートリッジに入りきらない場合や、種類別に複数のカートリッジに分割できるようなデータがある場合に便利です。

たとえば、1つのカートリッジに顧客 A～L のファイル、別のカートリッジに顧客 M～Z のファイルを保存します。GoVault データ プロテクション ソフトウェアは、どのカートリッジが挿入されており、どのプランを実行すべきかを常に判別できます。

新しい保護プランを作成するとき、データを復元しなければならない場合、何が必要かを考慮し、それに従ってプランに含めるファイルやフォルダを限定するとよいでしょう。

「個人のデータと設定」は事前に組み込まれている保護プランで、**Documents and Settings** フォルダ (Windows XP SP2 と Windows Server 2003) または **Users\UserName** (Windows Vista) にデータが保存されます。デフォルトでドキュメントを **My Documents (マイ ドキュメント)** フォルダに保存している場合は、このプランを使用すると、ドキュメントファイルのバックアップとリカバリが簡単にできます。

「個人のデータと設定」の保護プランでは Microsoft Outlook のファイルも保存されます。このプランは、**デスクトップ** フォルダや、Internet Explorer の **お気に入り** など、システム固有の設定を **Documents and Settings** に保存して、深刻なシステムエラーによってシステムの再構築が必要になった場合に備えます。電子メール ファイルや、システムの **ルック アンド フィール** を復元できます。

カスタム保護プランを選択すると、ファイルは GoVault データ プロテクト ソフトウェアで自動的にアーカイブされません。どのフォルダとファイルをアーカイブするかを選択する必要があります。保護するファイルの選択を全面的に制御したい場合は、このオプションを使用してください。

「すべて」の保護プランは、自動的に PC 上のすべてのローカルハードディスク ドライブを選択して保護します。ローカルハードディスク ドライブ上のすべてのファイルとフォルダが GoVault カートリッジにアーカイブされます。最初に「すべて」のバックアップを実行し、その後、他の保護プランを作成して最重要データの変更のみを保存するというアプローチをお勧めします。

どうやってファイルをリストアしますか？

ホーム ページの左パネルにある **エクスプローラ** ボタンをクリックし、**エクスプローラ** ダイアログでアーカイブの内容を確認してファイルをリストアできます。GoVault データ プロテクト ソフトウェアでは、リムーバブル GoVault カートリッジのランダム アクセスによってアーカイブしたデータに瞬時にアクセスできます。GoVault データ プロテクト ソフトウェアでは、Windows と同じ方法でデータを表示できるため、データの検索とリストアは簡単です。

ファイルをリストアするには、次の 3 通りの方法があります。

- 検索機能を使用して、1 つのファイルを検索してリストアできます。
必要なファイルが 1 つだけで、どのバージョンか確信がないときは、ファイル名かその一部を入力すると、ロードされていないカートリッジにある場合でも、適合するファイルが直ちに見つかります。

- 使い慣れた Windows エクスプローラ と同じインターフェイスを使用してプランを検索できます。カートリッジにあるファイルを直接表示して探し出し、そこからドラッグアンドドロップしてリストアできます。
- 簡単なリストア インターフェイスを使用して、プラン全体をリストアできます。

安全対策として、GoVault データ プロテクション ソフトウェアでは特に指示がない限り、新しいファイルを古いバージョンで置き換えることはありません。

「すべて」のリストアを実行するとどうなりますか？

GoVault データ プロテクション ソフトウェアは、空のシステム ディスクにフルリカバリを行うためのものではありません。システム ファイルを含むすべてのファイルを既存のディスクにリストアすることにした場合、安全のため、現在開いているファイルはリストアされません。そのため、リストア タスクの完了後、不整合が生じる可能性があります。

その影響を受けるファイル数を減らすために、ディスクをリストアする前に、GoVault データ プロテクション ソフトウェア以外のアプリケーションをすべて終了してください。

欠如しているファイルだけ、古いファイルだけ、あるいは内容が異なるファイルだけをリストアすることもできます。一部のファイルがウイルス攻撃で変更された疑いがある場合や、以前のバージョンに戻す必要がある場合は、後者のオプションを使用してください。

いつカートリッジを交替させればよいでしょうか？

貴重なデータを保存するには、複数のカートリッジを使用するのが賢明です。カートリッジは少なくとも週に 1 度交替することをお勧めします。アクティブなカートリッジを GoVault ドックから取り出して、別のカートリッジと交換し、取り替えたカートリッジを次の交替時まで安全なオフサイト場所に保管します。

より頻繁にカートリッジを交替させ、予備のカートリッジを複数枚使用することで、より高度なデータ保護を提供できます。GoVault データプロテクション ソフトウェアを使うと、これが簡単にできます。新しいカートリッジを挿入するたびに、新規のファイルと変更されたファイルがカートリッジに追加されます。カートリッジの交替頻度によっては、カートリッジ間でリカバリ ポイント数に差が生じる場合があります。

ニーズに対応できそうなカートリッジ数だけに基づいて、カートリッジ交替スケジュールを作成することもできます。たとえば、ローカルハードドライブ上の全データを1つのカートリッジに保存する「すべて £ の保護プランを作成してから、毎日異なるカートリッジを使って必要なバックアップを行うことが考えられます。このようにすると、毎日完全なバックアップが作成されます。

もう一つのオプションは、3 カートリッジ交替制にし、バックアップ周期の開始日と最終日にそれぞれその日専用のカートリッジを使用し、3 番目のカートリッジはその間の日に使用する方法です。

カートリッジ交替プランを、ローカルおよびネットワーク システムに保存されているファイルの種類に応じて作成し、特定のカートリッジを特定の保護プランに指定することもできます。これは、いくつかの種類の異なるデータが保存されており、複数のカートリッジに自然に分割できる場合に便利です。たとえば、音楽、画像、映像などの静的コンテンツデータが大量にある場合、それらのファイルタイプの保存専用 に1つずつのカートリッジを使用します。これらのファイルタイプに追加したり変更を加える頻度によっては、このカートリッジの使用は週に1度あるいはそれ以下で済む可能性があります。他のカートリッジは動的コンテンツのファイルに使用できます。たとえば、顧客 A ~ L に1つのカートリッジ、顧客 M ~ Z に別のカートリッジを使用します。

カートリッジが満杯に近づくと、どうすればよいでしょうか？

通常は、カートリッジが一杯になると、新しいカートリッジを購入する時期です。

使用した保護プランセットの結果を見て、実際に保護されているデータ量と、使用されている領域を確認します。これを目安に、次回使用する GoVault カートリッジのサイズを適切に調整します。

常に、圧縮前の元のファイルすべてを格納できる大きさのカートリッジを購入してください。GoVault データ プロテクション ソフトウェアは、ファイルを圧縮してからカートリッジに保存し、その後はファイルの変更された部分のみを保存します。したがって、ファイルをどれだけ圧縮できるかにもよりますが、通常は元のファイルすべてのサイズより若干大きいカートリッジが必要です。

場合によっては、複数のプランを作成して、ディスクを部分的に複数のカートリッジに保存することも考えられます。元のファイルセットが GoVault カートリッジ 1 枚の容量よりも大きい場合は、この方法をお勧めします。

GoVault データ プロテクション ソフトウェアではなく、Windows のシステム復元機能を使用するのは、どんな時ですか？

Windows のシステム復元はオペレーティング システムと、インストールされているアプリケーションのほとんどを保護して、システム ファイルを過去の一時点に戻します。オペレーティング システムをリストアする場合は常に、GoVault データ プロテクション ソフトウェアではなく、Windows のシステム復元を使用してください。

また、「すべて」のリストアタスクを実行した後でオペレーティング システムやインストールされているアプリケーションの不整合が疑われる場合も、Windows のシステムの復元を使用する必要があります。

GoVault データ プロテクション ソフトウェアは Microsoft Outlook のファイルやその他のオープン ファイルをどのように処理しますか？

Microsoft Outlook のファイルは、次の 2 つの理由から、大半のバックアップ アプリケーションに問題をもたらすことで知られています。

- 通常 Outlook のファイルは非常に大きい
- ファイルの内容が常に変化している

GoVault データ プロテクション ソフトウェアは、保護プランがファイルのバックアップを開始するときに、まず Microsoft Volume Shadow Copy Service (VSS) を使用して、バックアップするオープン ファイルの「スナップショット」を作成します。次に、ファイルの変更された部分を識別し、これらの変更を元のファイルの情報と一緒に保存します。これにより、特定の時点でのファイルのバックアップに必要な領域が著しく軽減され、事実上 GoVault カートリッジのストレージ容量が拡大される効果が得られます。

リストア時になると、該当時点におけるファイルやフォルダのすべてがコピーされ元の状態に復元されます。

Outlook .pst ファイルはどのようにリストアしますか？

ビルトインの「個人のデータと設定」のプランが自動的にローカルの Outlook 電子メール ファイルをすべてバックアップします。Outlook の .pst ファイルを別のフォルダにリストアし、そこで開いてその時点の電子メールを表示できます。

.pst ファイルは、他のファイルと同様に **ホーム** ページの **検索** ボタンをクリックしてリストアできます。**検索** ページが開くと、画面上部の検索ボックスに「*.pst」と入力して **Enter** を押します。リストアする .pst ファイルを見つけて右クリックし、**名前を付けて保存** を選択して、C:\ のようにフォルダを指定します。その後 Outlook を起動するときに、**ファイル** ==> **開く** ==> **Outlook データ ファイル** をクリックします。リストアした .pst ファイル、OK の順にクリックして、リストアした .pst ファイルを Outlook で表示します。

別のコンピュータにあるファイルは、どのように保護してリストアしますか？

GoVault データ プロテクション ソフトウェアを使用すると、自分のコンピュータでアクセス可能なディスクのファイルを保護してリストアできます。

リモート コンピュータからファイルを保存するには、まず管理者アクセス権のあるリモート コンピュータの共有フォルダにドライブをマッピングしてから、新しくマッピングしたドライブ文字のフォルダを含めた保護プランを作成します。

特定の間隔でプランが実行されるようにスケジュールする場合は、マッピングしたドライブがログオン時に再接続するように設定してください。

セキュリティ情報を保存し、ユーザーが暗号化したファイルを (そのユーザーの代わりに) リストアできるようにするには、リモート コンピュータがホスト コンピュータと同じドメインにあるか、信頼できるドメインにある必要があります。

また、特定のリカバリ ポイントを選択して、ホスト コンピュータからファイルやフォルダを探すこともできます。Windows ファイルアクセス チェックはすべて、元のディスクで探す場合と同じように実行されます。

ユーザーが暗号化したファイルやフォルダは、緑色のフォントで表示され、有効な証明書のある暗号化ファイルにアクセスできます。

GoVault データ プロテクション ソフトウェアはデータの整合性をどのようにして維持していますか？

GoVault データ プロテクション ソフトウェアは、ディスク書き込み操作中にバッファのフラッシュを有効にして、データが安全に保存されるようにしています。このため、初回アーカイブの実行速度が遅くなりますが、高度なデータ整合性が提供されます。

GoVault データ プロテクション ソフトウェアはレコードをコミットする前に、すべてが物理メディアに書き込まれたことを確認します。データの破損が検出された場合は、破れたデータを隔離し、元のファイルの情報から破損した部分の再構築を試みます。

GoVault Manager サービスと ViewStor サービスの ArchiveIQ とは何ですか？

ArchiveIQ™ は GoVault データ プロテクション ソフトウェアを支えるテクノロジーの名称です。このテクノロジーは Data Storage Group, Inc. と共同開発されたものです。このテクノロジーによって提供されるサービスは、GoVault データ プロテクション ユーザー アプリケーションのシステム監視とデータ保護の管理機能を統合します。

ユーザー インターフェイスはこれらのサービスと連動して、システムのデータを保護します。

ViewStor™ サービスはアーカイブされたデータに簡単なインターフェイスを提供することで、Windows エクスプローラを使用して、保存した時点のファイルやフォルダをすばやく見つけることができるようになっています。

インストール中、「ArchiveIQ ViewStor サービスの開始に失敗しました」というメッセージが表示されます。

GoVault データ プロテクション ソフトウェアは Windows WebClient サービスを使用して、バックアップするファイルを Windows エクスプローラで表示します。WebClient サービスが実行されていない場合は、「ArchiveIQ ViewStor サービスの開始に失敗しました」というメッセージが表示されます。これは単なる情報通知メッセージです。WebClient サービスが実行されていない場合でも、ソフトウェアのインストールに影響はありません。OK を押してソフトウェアのインストールを続けてください。

インストールの完了後に「GoVault カートリッジを検索するには、複数のサービスを開始する必要があります」というメッセージが表示されます。

このメッセージは次のような場合に表示されます。

- GoVault データ プロテクション ソフトウェアのユーザー インターフェイスが起動される時に、Windows WebClient サービスが実行されていない
- オペレーティング システムが一時的にサービスの開始を許可していないため、ソフトウェアがサービスを開始できなかった

はい をクリックして、ソフトウェアが Windows と連携してソフトウェアのサービスを開始できるようにしてください。

[はい] をクリックしてサービスを開始しましたが、「ArchiveQ for GoVault ViewStor サービスの開始に失敗しました。このサービスがなければ、アーカイブしたファイルの参照や検索ができません。」というメッセージが表示されます。

このメッセージは、バックアップしたファイルを Windows エクスプローラで表示するためにソフトウェアが使用するポートが競合している可能性を示しています。

WebClient サービスがアクティブで実行されているかどうかを判断するには、Windows デスクトップ (Windows XP および Windows 2003) で **マイ コンピュータ** アイコンを右クリックするか、Windows Vista でデスクトップの左下隅にある Windows ログををクリックして **スタート** メニューを表示し、右側のパネルで **コンピュータ** を右クリックします。**管理** を左クリックし、**サービス** をクリックします。

名前列で **WebClient** を見つけます。**ステータス** 列で [開始] チェック ボックスをオンにします。「開始」という語が表示されていない場合は、**WebClient** をダブルクリックします。次のウィンドウが表示されたら、[開始タイプ] を探し、テキスト ボックスに「自動」と表示されていることを確認します。表示されていない場合は、テキスト ボックスをクリックして **自動** を選択します。

[サービスのステータス] を探し、「開始」と表示されていることを確認します (例 : **サービスのステータス : 開始**)。「開始」という語がまだ表示されない場合は、**スタート** ボタンをクリックし、**OK** をクリックしてウィンドウを閉じます。

ArchiveIQ for GoVault ViewStor サービスはコンピュータのポート 80 にアクセスする必要があります。これは、Web クライアントから要求を受信するポートで、通常はデフォルト設定として開いています。

稀に、アプリケーションや Windows OS の設定もポート 80 を使用して競合を引き起こす場合があります。

ArchiveIQ for GoVault ViewStor サービスの開始に失敗しました。このサービスがなければ、アーカイブしたファイルの参照や検索ができません というメッセージがまだ表示される場合は、ポート 80 が競合している可能性があります。この場合は、コマンドプロンプト ウィンドウ (DOS ウィンドウ) を開き、

「netstat -ano > port80.txt」と入力します。

ファイルを保存し、Quantum テクニカル サポートまで連絡してください。

注 : Common Content Factoring、ArchiveIQ、および ViewStor は Data Storage Group, Inc. の米国およびその他の国における商標です。ここに記載した実際の会社名や製品名が、それぞれの所有者の商標になっている場合もあります。